

秋田市外旭川地区まちづくり基本計画 素案（案）に対する意見募集結果

○1章 基本計画の位置付け

No.	意見	回答
1	<p>1ページ 目的1 持続可能な社会基盤の構築とあるが、その言葉の意味の本質を理解しているのか？ その言葉の意味をそのままに都市計画を行うのであれば、既存のインフラを生かし発展させることでは無いのか？ つまり秋田駅周辺への投資こそが今後の秋田市の持続可能な社会基盤の構築では無いのか？</p> <p>1ページ 目的2 地域資源を生かした交流人口の拡大とあるが、現地の地域資源とは何か？ 水田のことでしょうか？ また、交流人口の拡大とありますが、秋田市では秋田市内や近隣の自治体から数時間程度訪れる人々をもって交流人口の拡大としているのでしょうか？ 秋田駅や秋田空港を経由して秋田市を訪れる人々こそが交流人口の中心であり、人口減少が続く秋田市が大切にすべきものです。</p> <p>目的1 人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築 目的2 交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくり 上記の二つの文言は単なる言葉遊びやひらめきの組み合わせであり、都市計画の目的というのでは稚拙である。</p>	<p>秋田駅周辺をはじめとする中心市街地についても、引き続き活性化に向けて取り組んでまいりますが、外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、ホテルなど滞在型の観光・集客施設も計画されており、モデル地区における官民連携による様々な取組により、海外からの観光客をはじめ、県内外から多くの人々に足を運んでもらえる魅力あるエリアにすることで、そこを起点として、広く市内、県内を周遊してもらいたいと考えています。</p>
2	<p>1ページ "泉外旭川駅が開業し、都市計画道路泉外旭川線の整備も進められており、今後、利便性がさらに向上することが見込まれています。" 泉外旭川駅から現地まではおよそ2キロメートルほど離れており、計画と結びつけるには無理があります。 都市計画道路泉外旭川線にしても不要な道路で、すでに整備に着手しているようだがどの区間を整備しているのか、いつ完成するのかも不明な道路を関連付けても意味が無いし、今すぐに道路の整備を見直すべきだ。 いずれ、ろくにバスも走らないような地域を利便性があるとする秋田市の見解は理解ができない。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しており、また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果を目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。</p> <p>モデル地区には、相当数の来場者が訪れると見込んでおり、交通の面では、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>
3	<p>p 1の「4 官民連携の手法」から未来投資促進法の活用を前提とした記載を削り、一般的な法の手続きを前提とした整備の記載にあらためる必要があると考えます。 計画は、本来整備が規制されるべき地域に企業と市が共同で大規模商業施設を恣意的に整備しようとする単なる開発事業です。事業は全国的に行われているものを寄せ集めたにすぎず、先駆性もモデル性もなく、新たな開発を行わなくとも都市計画上の既存エリアですぐにでも実施できるものばかりです。仮にこのような計画で農地法や都市計画法の都市開発規制をくぐり抜けられるのであれば、今後、全国どこにでも大規模商業施設の整備が可能となってしまいます。市はモデルとして波及させるとしていますが、農地への大規模商業施設の整備を促進するための悪質なモデル事業として波及するおそれがあります。</p>	<p>地域未来投資促進法は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的波及効果を及ぼす事業を実施する民間事業者等を支援することにより、地域の成長発展の基盤強化を図ることを目的としています。</p> <p>外旭川地区のまちづくりは、大規模商業施設の整備ではなく、官民連携による将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備し、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築や交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的としており、高い公共性・公益性を有し、地域の成長発展の基盤として地方自治法の定める住民福祉の増進を図るものであることから、その方向性を同じくする地域未来投資促進法を活用し、モデル地区の実現を目指すことを検討しているものです。</p>
4	<p>P1 1章-1 「人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築」とあるが、当該計画はイオンタウンを中心とする商業施設に依存しており、根本的に人口減を食い止める事には結び付けられない。</p>	<p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
5	<p>P1 1章-2 泉外旭川駅周辺の道路は狭隘であり、仮に鉄道利用による利用者を見込んでいたとしても交通量過多による交通事故等の可能性が高いと思われる。</p>	<p>現在検討が進められている卸売市場再整備事業とも歩調を合わせながら、交通渋滞の緩和と安全で安心な道路交通の確保に向け、現況交通量調査の結果や民間施設と新スタジアムの整備により新たに発生する交通量の増加分を勘案した上で、モデル地区内の交差点への影響を把握し、道路整備の必要性を検討してまいります。</p>
6	<p>P1 1章-3 イオン土崎港店、イオン秋田中央、イオンモール秋田等自動車30分圏内の近隣にイオンがこれだけあるのにも関わらず、これ以上イオン系列を増やしてどうするのか？周辺は地元資本のスーパーが多く、若干のシナジー効果も期待できなくはないが、それ以上に売上の減少という悪影響が予想され、それに伴う閉店等の事態が発生する可能性があり、到底看過できない。</p>	<p>モデル地区整備により、市内の既存商業施設等においては、売り上げや来店客数の減少などマイナスの影響も懸念されますが、こうした影響を最小限にするため、モデル地区の民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しています。</p> <p>また、既存商業施設等との一定の棲み分けや連携を図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p>

7	<p>1P 1章基本計画の位置付け</p> <p>1 外旭川地区まちづくりの目的</p> <p>目的1の『人口減少に...』とありますが、今後は高齢化社会にもなります。持続可能な社会基盤の構築をしなければならない事も理解できますが、卸売市場と新スタジアムの整備は理解できますが、税金を利用して民間施設の整備は必要でしょうか？相乗効果はうまれるのでしょうか？</p> <p>税収も減少が想定されるだけに本当に必要なものだけでシンプルなものよいと思います。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>そのため、民間施設については、民間事業者が負担し整備や管理、運営を担うことを基本としており、モデル地区の目的を踏まえながら、事業パートナーが様々な事業者と交渉を進めているところです。</p>
8	<p>1 頁・まちづくりの目的</p> <p>・本素案では「モデル地区」という言葉が何度も使用されております。“モデル”と称するからには、「これからも同じ形で繰り返していく」趣旨を含むものと考えられますが、目的にあるような「人口減少下にあつても持続可能」や「交流人口拡大による活力」などを期待できる、次に続くべき地区はどこを想定しているのでしょうか（そうでなければ“モデル”という文言を使用すべきではありません）。具体的にご教示ください。</p> <p>・そもそも「人口減少」を前提としているのに、いたずらに商業集積の箇所を増やすことは、それぞれの地域の顧客奪い合いを助長し、共倒れの危険を増やすことは必定です。そういう趣旨で「コンパクトシティ」という考えを打ち出していたはずですが、これが市民からも一番の疑問とされているところです。「コンパクトシティの趣旨を損ねずに本モデル地区が成り立つ」とする理由を、わかりやすくご説明ください。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。</p> <p>そのため、モデル地区そのものを他の地域につくるわけではなく、モデル地区で実証された技術や取組のほか、官民連携のあり方や民間のノウハウの活用手法等についても波及させ、それぞれの地域における課題や実情に合わせて活用していくことを目指しています。</p>
9	<p>P 1 基本計画</p> <p>秋田市人口の30万人割れと今後の人口減少ニュースを知り、外旭川地区まちづくりの計画を今一度見直すべき時期と思います。卸売市場・新スタジアム・まちづくりモデル地区整備を一体とせず、各々個別の計画とする。</p> <p>①卸売市場は現在地で整備する。</p> <p>②新スタジアムは卸売市場余剰地に建設する。</p> <p>③大手資本による農業振興地域の開発は見直しする。</p> <p>人口減少が進む見通しの中で市街化区域の拡大は、インフラの維持管理に課題を残すのみです。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果も生かし、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>卸売市場は、卸売市場再整備基本計画の検討状況に基づき、現卸売市場敷地の南側とし、また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
10	<p>1 章</p> <p>人口減少下でも、継続持続を可能とする、官民一体の対策、活動を提起することは、非常に高く評価されるべきものと思料します。交流人口を拡大させる、施策、造営工事の計画も必要な事柄と理解します。</p>	<p>引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
11	<p>P 1 1 章 基本計画の位置付け 1 外旭川地区まちづくりの目的</p> <p>①「先端技術の導入により…様々な取り組みを進めたい…」とあり、“先端技術”が当該基本計画の要かと思いますが、“先端技術”の説明は何処にあるのでしょうか。3章の個々の説明に散りばめられていると思いますが、想定している“先端技術”とは何か、その内容等の総括的説明を書き加えては如何でしょうか。</p>	<p>モデル地区では、農業や観光、スポーツ、環境、防災などの幅広い分野で、積極的に先端技術の活用に取り組み、また、それぞれの取組を連携させることで、市民の利便性の向上を図るほか、新たなビジネスの創出にもつなげていきたいと考えています。</p> <p>モデル地区で導入する先端技術については、現時点で想定しているものを記載していますが、今後、民間事業者が作成する地域経済牽引事業計画も踏まえ、より具体的にお示ししていきたいと考えています。</p>

12	<p>2 外旭川地区を選定した理由</p> <p>②「交通・物流機能に優れた地域性」「今後、利便性がさらに向上する」とありますが、「先端技術」と外旭川地区の関連性はどのようなものでしょうか。同地区の交通・物流機能は分かるものの、地域特性を生かして地域未来投資促進法にいう“高い付加価値の創出”をどのようにして実現するのでしょうか。有力なIT企業なら駅前や大町等に進出していると思いますが…。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しています。また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
13	<p>4 官民連携の手法</p> <p>③地域未来投資促進法の活用が前提となっていますが、同法第1条(目的)には「地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、かつ、…相当の経済効果を及ぼす…地域経済けん引事業」とあります。具体的には「地域未来投資促進法における基本計画のガイドライン」P3(1)地域特性の活用に「地域の特性及びその活用戦略と整合的に記載」、(2)高い付加価値に「付加価値創出額が、都道府県別1事業所あたり付加価値額を上回る見込み」とありますが、「高い付加価値」の記載が不明で、どれ位の付加価値創出額なのか、素案(案)にその数値も示さなくて良いのでしょうか。</p> <p>【参考：地域未来投資促進法】</p> <p>第一条 この法律は、地域における産業の集積、観光資源、特産物、技術、人材、情報その他の自然的、経済的又は社会的な観点からみた地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、かつ、地域内の取引の拡大、受注の機会の増大その他の地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼすものである地域経済けん引事業の促進のために地方公共団体がその地域の経済社会情勢を踏まえつつ行う主体的かつ計画的な取組を効果的に支援するための措置を講ずることにより、地域の成長発展の基盤強化を図り、もって国民経済の健全な発展に資することを目的とする。</p>	<p>地域未来投資促進法に基づく基本計画には、付加価値創出額等を記載する必要があり、現在、共同で計画を作成する秋田県と協議をしているところです。</p> <p>一方、パブリックコメントの対象としている「外旭川地区まちづくり基本計画」では、モデル地区整備による本市への経済波及効果を示すこととしていますが、よりわかりやすい内容となるよう工夫してまいります。</p>

○2章 モデル地区の範囲

No.	意見	回答
14	<p>3ページ建設場所について</p> <p>秋田市街から大きく外れ、JRにもアクセスが悪い。シャトルバスを出すと記載があるが、運転手不足の今では現実的でない。無人でのバスなどの自動運転も確立されていない現段階では夢物語ではないか？できなかった場合はどうするかまで検討しているのか？</p> <p>建設場所については騒音などのハードルはあると思うが秋田駅東口にある大きい駐車場付近に建設するべき。</p> <p>アクセスも良く、駅付近も宿泊客で潤うし良いことしかない。モンテディオ山形で成功している山形県を見習うべきではないか。</p> <p>新幹線や電車でのアクセスが可能のため駐車場も現行の案ほど不要。</p> <p>新たな需要が生まれるためホテルや商業施設も建設され税収が見込まれる。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しており、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。</p> <p>モデル地区には、相当数の来場者が訪れると見込んでおり、交通の面では、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p> <p>なお、秋田駅東口周辺は民有地であり、スタジアムに必要な面積を確保することは困難と考えております。</p>
15	<p>P4 2 モデル地区の範囲</p> <p>田んぼのところに建設を行うようだが、周囲の田んぼに悪影響はないか。</p>	<p>モデル地区の周辺農地への影響を考慮しながら検討を進めてまいります。</p>
16	<p>(3ページ 2章モデル地区の範囲)</p> <p>サッカー等の試合を行う場合の車でのアクセスについて。現在のソースタジアムでは、観客は周辺の駐車場（土日祝日には市役所・県庁駐車場）に駐車してスタジアムに向かっているという（https://blaublitz.jp/stadium/yabase より）。</p> <p>新しいスタジアムでサッカー等の観客を招き入れる際に、イオン利用者との区別が難しく、駐車場や道路が車で溢れかえってしまう可能性があるのではないかと。前売り券制などによる台数規制も考えられるが、前売り券を購入していない観客に「イオンの利用者」と言い張られてしまうと難しいのではないだろうか。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウプリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところであり、駐車場の規模等については、卸売市場や民間施設の駐車場の活用、自家用車以外のアクセス方法の充実などと併せて検討してまいります。</p>
17	<p>4 ページ</p> <p>モデル地区の範囲に秋田駅、泉外旭川駅、土崎駅などが明示されているが、そもそも自家用車で訪れる人々を対象とした施設であるのに離れたJRの駅を範囲に含むのは詐欺的な行為だ。</p>	<p>モデル地区として検討している範囲は、外旭川地区まちづくり基本計画素案（案）の4ページに示した青色の実線で囲んだ部分であり、秋田駅、泉外旭川駅、土崎駅は含まれておりません。</p> <p>モデル地区へのアクセス方法については、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>
18	<p>外旭川地区を選択した理由について</p> <p>平成30年に今後の人口減少・少子高齢化を見据え、都心・中心市街地と6つの地域中心を対象に、生活に必要なサービス機能を集約し、それぞれの地域に住む人が地域内で容易にサービスを受けられるようにする「多核集約型のコンパクトシティの形成」を目指すとしていたが、いまさらなぜ郊外に都市計画を新たに作る理由がよくわからない。</p> <p>選定理由として掲げている「秋田自動車道秋田北インター秋田港から近いというが、秋田駅中心部、八橋地区であっても流通経路、物流機能もそれほど不便ではない。</p> <p>また、泉外旭川駅が開業し、都市計画道路泉外旭川線の整備も進められているとあるが、近くには医療機関、教育施設等があり、ただでさえ新国道からアンバス付近の交通量が多くなると通行の安全性や緊急車両の通行に支障をきたすのは間違いない。</p> <p>また、卸売市場再整備、新スタジアムの検討が進められているが、土地開発としては切り離して考えるのが妥当と考える。</p> <p>秋田市のコンパクトシティ化はどうなったのか？</p> <p>そもそも秋田市は何がしたい？どういう都市を目指すのか明確なビジョンが見えてこない。市長は早急に市民の理解を得るべきと考える。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。</p> <p>卸売市場周辺は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しており、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を外旭川地区に整備することとしたものです。</p>
19	<p>P3 2章-1</p> <p>この地域の道路は東西南北いずれも混み合う事が多く、付け焼き刃程度の道路計画では当該計画の交通量を捌ききれないのは自明である。</p>	<p>現在検討が進められている卸売市場再整備事業とも歩調を合わせながら、交通渋滞の緩和と安全で安心な道路交通の確保に向け、現況交通量調査の結果や民間施設と新スタジアムの整備により新たに発生する交通量の増加分を勘案した上で、モデル地区内の交差点への影響を把握し、道路整備の必要性を検討してまいります。</p>
20	<p>P3 モデル地区の範囲</p> <p>モデル地区までのアクセスkmを明記しているが直線距離で表示。近いように感じるが実際は直線ではないのもっと距離があるのではないのでしょうか。走行の時間明記があれば良いと思う。</p>	<p>モデル地区までのアクセス距離については、おおよその距離感を示すための目安として記載したものです。</p>

21	<p>P3 2章モデル地区の範囲 1 外旭川地区の概況</p> <p>外旭川をモデル地区にした理由に、アクセスの良さが上げられていますが、これだけ広い場所に多くの施設を作るに当たって心配されるのがアクセスです。公共交通がどのくらいの市民の移動に貢献できるかわかりませんが、自家用車の利用が多いと考えると、秋田昭和線と秋田北インター線が主要な道路となり、混雑や渋滞が予想されます。</p> <p>特に新スタジアムが出来て、サッカー等の試合があるときの混雑が心配されます。基本計画の中にはありませんが、道路整備との連携もよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>	<p>現在検討が進められている卸売市場再整備事業とも歩調を合わせながら、交通渋滞の緩和と安全で安心な道路交通の確保に向け、現況交通量調査の結果や民間施設と新スタジアムの整備により新たに発生する交通量の増加分を勘案した上で、モデル地区内の交差点への影響を把握し、道路整備の必要性を検討してまいります。</p>
22	<p>4頁・モデル地区の範囲</p> <p>・今回のモデル地区の範囲に「秋田中央卸売市場」が含まれておりますが、これは他の部分と用途地域が異なる上に、既に別途、単独で再整備計画が進められております。これはこれで進めるのが筋であり、本素案にそれを含める必要はありません。それなのに、別計画である卸売市場再整備計画を含めて素案とする意味を明確にご説明ください。</p> <p>・同様に、卸売市場整備の際に生ずる余剰地に、サッカーの新スタジアムを「検討中」となっております。これも、前の案では北側の民間施設（現農園・チャレンジラボ）の中に組み込まれていたものが、県から批判が出ると、たまたま余剰地が出たからと、今回便宜的に場所を移し替えて実施しようとしているようにみえます。しかしながら、これも卸売市場の余剰地を利用する以上は（上で述べたのと同様）本素案とは切り離すのが筋であり、これをも含める意味がわかりません。今回の素案において、以前の計画とはまったく異なる場所にスタジアム予定地を移動した経緯と、本素案に含めて検討する理由をご説明ください。</p>	<p>物流拠点としての役割を担う卸売市場については、本市が主体となって再整備を進めるものであり、本年6月の再整備基本計画策定に向け、現在、検討作業を進めています。</p> <p>新スタジアムの整備候補地については、卸売市場再整備の検討を進める中で、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなったこともあり、ブラウブリッツ秋田から、市場余剰地を候補地としたい旨の提案を受けたことから、県とともに検討しているところです。</p> <p>このような状況を踏まえ、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有している本地域において、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたことから、卸売市場再整備基本計画と新スタジアム整備計画の内容も踏まえつつ、それぞれの連携などについても検討しているものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上を図るとともに、全市の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
23	<p>2章</p> <p>モデル地区について、既に秋田市は、今現在の状況下を前提とするならば、当面は人口集積のピークを徒過しておると謂わなければなりません。予定地は秋田から50年近く離れていた人間としては、高校時代に一度通行したことがありますが、現在一部宅地化が進んだのを認められますが、市街化調整地区とあって、面影は殆んど変わってはおられません。</p> <p>農振地区として、保護温存すべき地所と謂うべきかどうかは別にして、そんなに妥当性のある地理条件なのだろうか。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しています。また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。</p>
24	<p>2章4モデル地区の概要</p> <p>現在の農用地区＝水田を壊して商業施設を建設するのは県内各地で行われている。このやり方を地域交流・体験・観光・医療等の言葉を用いて取り繕うみたいで、理由の後付け感が目立つ。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しています。また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。なお、本市内の既成市街地や農業振興地域以外には、整備可能な遊休地等は存在しません。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を外旭川地区に整備することとしたものです。</p>
25	<p>P4 モデル地区の範囲</p> <p>・地区の南東側に泉外旭川線（未着手区間）がありますが、自動運転車で泉外旭川駅の行き来がある以上、泉外旭川線の整備の必要があると思ひます。</p>	<p>現在、都市計画道路泉外旭川線の整備が進められており、今後、まちづくりの進捗状況を踏まえ、計画的に整備する必要があると考えています。</p>

○3章 官民連携による取組

No.	意見	回答
26	<p>最後に7ページの”官民連携による取組”の事業の中でイオングループが8つすべて関わっていますが、秋田市とイオングループには何か特別なことでもあるのですか？ 私の考えが普通なのかは分かりませんが、普通ならこれほどの事業をひとつの企業体と行うのはリスク管理の問題があります。イオングループが破綻でもしたらどうするのか？</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新たな活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>このようなまちづくりを進めるに当たり、令和4年3月に実施した公募型プロポーザルにより、本市と協働でまちづくりを進める事業パートナーとしてイオンタウン株式会社を選定し、同社の支援を受けて、令和5年3月に本市がまちづくりの基本構想を策定しました。</p> <p>モデル地区では、イオングループ以外にも様々な事業者が参画する予定であり、同社は、引き続き、本市とともに公共的な役割を担う代表事業者の立場として関連する民間事業者との調整を行うほか、事業主体としても参画することとしています。</p>
27	<p>p7の「本市が抱える課題」を削除するか、少なくとも秋田市総合計画の記載と同一のものとするべきと考えます。計画に記載されている市としての課題は、企業側がやろうとしているものを市側の課題として単に置き換えただけです。市と企業が共同で大規模商業施設を整備したいだけとしか感じられません。</p> <p>本計画の構想からの検討の過程で、市の人口が30万人を割り込み、中心市街地では百貨店の撤退騒動があり、大規模な水害等にも見舞われました。このような新たな困難な課題への対応を求められている中で、いまだにこのような計画に市の貴重な財源を充てている場合ではないのではないのでしょうか。</p>	<p>「本市が抱える課題」については、第14次秋田市総合計画の基本構想を踏まえて記載したものです。</p> <p>外旭川地区における将来を見据えたまちづくりのモデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>なお、秋田駅周辺をはじめとする中心市街地については、引き続き活性化に向けて取り組んでいくとともに、昨年発生した水害の対策は、国や県とともに検討しているところです。</p>
28	<p>秋田市を活性化させる取組が必要であることは十分理解できますが、この計画を実行する必要があるのか分かりません。秋田市が税金を使って事業をするのであれば、以下の観点を明らかにする必要があると思います。</p> <p><7ページ 本市が抱える課題></p> <p>本計画を実行することにより防災、移動、教育、医療福祉のサービスを受受するのは近隣の住民が中心となると思います。公平性の観点から他の地域の住民も同じようなサービスを受受できるようにしなければなりません。そのためにどのような施策を行うのか明示してください。もし一部地域だけに恩恵があるような計画では納得しかねます。</p>	<p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
29	<p>3章</p> <p>官民連携については、官は能くその地を把握していると思われまし、民は商い採算に明るいと思われましので補完し合うのは充分な事と思ひます。起爆剤については、具体化した内容になつては来まし。こうゆう事でこうし、あーしと列挙されてお、かなり具体的にはなつては来まし。行政側の夢を如何にしてルールを敷設し、汽車を走らせるか、燃料切れを起こさず、寂び付かせず継続させられるかが秋田にとっては一大課題となろう。素朴にスポーツに門外漢の私には、野球とフットボールの動員力の大いなる違ひが判りませんが、東北の地理的なものと、人口構成から何かをしなければ、脅迫的思考が、スタジアムに駆り立てられていることはないのであらうか。</p> <p>唯でさえ、商店街の衰退、賑わいを求めている秋田で、都会並みの副都心構想とならないのだろうか。御所野には影響はないのか。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えており、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果なども目指しています。</p> <p>また、モデル地区の整備により、中心市街地や御所野地区などの既存商業施設等においては、売上や来店客の減少など、マイナスの影響も懸念されますが、こうした影響を最小限にするため、民間施設については交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存商業施設等との棲み分けを図ることとしています。</p>
30	<p>3章官民提携による取組 P7</p> <p>4 イメージパース P14</p> <p>5 基本計画図 P15</p> <p>屋根付きの駐車場もあれば雨の日も施設に入るまで濡れずに利用できる。</p> <p>計画を見ると大掛かりだと思ひ一方、これだけの規模の施設を将来にわたつて維持することはできるのか気になります。</p>	<p>屋根付きの駐車場などについては、事業パートナーや参画する事業者等と検討してまいります。</p> <p>また、モデル地区における官民連携による取組を継続させていくためには、ハード、ソフト両面における不断のエリアマネジメントが必要となることから、エリアマネジメントに関する体制等についても、引き続き検討してまいります。</p>
31	<p>p7、</p> <p>スタジアムはただのサッカースタジアムではなく健康や世代を問わず運動ができるといった内容は素晴らしいと思ひました。ただ「多目的」といった表現から地域の方々の意見を加えて、より具体的なものにしていけることができればよいなと思ひました。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、市民の皆様のご意見を伺ひながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

32	<p>P 7 官民連携による取組</p> <p>④「本市が抱える課題」と「課題解決に向けた官民連携による取組」が記載されていますが、個々の課題と課題解決に向けた取組の関係が一括りで記載され、個々の各課題にどの取組が対応するのか分かりにくいのでは。</p> <p>産業・観光等の個々の課題とそれに対応する取組との関係を図示するなど、分かり易く示しては如何でしょうか。</p> <p>その際は、取組や個々の事業の必要性を示す根拠となるデータ・数値・議事録等もリンクを張るなど示して、市民が判断できる根拠を明確にいただければと思います。</p> <p>(あるべき姿－現状＝課題)ですから、数値化・定量化を進め、何故その課題に対してその取組なのか、個々の取組は細かく記載されていますが、その大前提となる必要性・妥当性を判断できるよう、データや数値等を含め、分かり易く示してもらえれば、市民は適切に判断されるかと思います。素案のせいか、一般的に数値が不足しています。</p>	<p>「課題解決に向けた官民連携の取組」が1つ1つの課題に対応したのではなく、様々な取組を連携させることによる相乗効果により「本市の抱える課題」の解決につなげていきたいと考えておりますので、いただいたご意見も参考にしながら、検討してまいります。</p>
33	<p>1章 基本計画の位置づけ、目的、イオンタウンを事業パートナーとする官民連携に賛同する前提で以下記載いたします。</p> <p>・3章2(2) 取組を展開するフィールドについて、特に(5)の新スタジアムを活用した防災機能の強化と(6)のEV自動運転シャトル導入を支持します。</p> <p>特にシャトルは、利用者低迷が続くJR泉外旭川駅の状況打開、住民の買い物利便性、観光面でもプラスと考えます。</p>	<p>新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設(店舗、温浴施設、保健福祉施設等)、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p> <p>また、EV自動運転シャトルについては、エリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指しており、将来的なモデル地区へのアクセス性の向上が見込まれるほか、自動運転の普及にも寄与するものと考えています。</p>
34	<p>意見というより、P8の図を見てワクワクしてきました。秋田でこんな夢のあるまちづくりが実現したらどれだけ活気がつくのか。J1に上がれば1万人は来場すると思います。今のJ2でも屋根があれば来場者は増えます。なでしこジャパンに選ばれている石川選手もいるし、なでしこジャパンの試合も組まれるのではないかと思います。海外との試合もあれば、子ども達に夢を与えられるし希望の場になると感じました。大袈裟に感じるかもしれませんが人口減少であっても、やはり人を集められる場所は必要だと感じます。</p>	<p>引き続き、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指し、まちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
35	<p>3-1・2 本市課題・取組・フィールド</p> <p>このモデル地区内だけでの検討に感じられ、市全域への波及・課題解決へと向かっていない。</p>	<p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えており、波及のイメージについても計画に盛り込むことを検討してまいります。</p>
36	<p>P 9 (1) 地域交流の場の創出と起業支援</p> <p>私は将来秋田の地において起業すると志しており、以前から「(仮称)チャレンジ・ラボ(起業家の町)」の構想に興味を抱いていました。そこで、それらの内容に関する意見を挙げさせていただきます。</p> <p>・現段階からチャレンジオフィスあきた等の知名度の伝播のための活動を行っておく。→現在、市民のほんの少しの人にしか存在を知られていないと思う。実際に私の周りの方々も、起業や開業などを目指している人しか存在を認知していない。現在の秋田県の開業率は全国最下位と、起業に対して評価がたいへん低い人々が多いという現状がある。そのような状況下で起業や新規事業への支援活動を進めていっても、反対の声が多数飛んでくることが予想され、実現可能性が低くなる恐れがある。そのため、秋田市民(県民)が起業・新規事業などに肯定的な思いを抱くことのできるような機会の提供や仕組みの設計が重要になると考えられる。そのために、チャレンジオフィスあきたの知名度拡散はもちろん、その他県内の取り組みや先行県内事業例などを参考に、起業という選択の有効性についてアピールしていくことが、市民からの賛成意欲の獲得に繋げるために重要になるのではと考える。</p> <p>・「大学等と連携したIT人材の育成」とあるが、大学生の移動手段は限られているため、多くの協力学生を獲得するためにも、市内(県内)の各大学から外旭川への安価な交通手段を提供する必要があると考える。</p> <p>・DXやITなど情報通信技術に関する内容ばかりが前に出ている。確かに、これからの時代で大いに発展するのは情報通信技術に関する職であると考えられ</p>	<p>「(仮称)チャレンジ・ラボ」では、市民が先端的なサービスやデータの活用を気軽に楽しむことができる環境を整え、データサイエンティストやIT人材育成の機運を醸成し、将来的には本施設を中心に、「子どものIT教育」「大学と連携したIT人材の育成」「企業への優秀な人材の輩出」など、起業や地元企業の成長・発展を後押しするサイクルの形成を目指すこととしています。</p> <p>また、開業を希望する若者等を支援するチャレンジショップなども検討しており、モデル地区の他のエリアとも連携しながら、幅広い分野の方々にも活用してもらえるよう検討してまいります。</p> <p>モデル地区へのアクセスについては、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p> <p>なお、創業相談については、今後、取組をより具体化していく過程において、幅広い利用者ニーズに応えられる相談員を配置できるよう、検討してまいります。</p>

	<p>る。しかし、教育などの他の職種での起業や開業は支援してもらえないのかと、勘違いしてしまう人も現れる可能性がある。課題先進県である秋田県は、諸課題の解決のモデルとなり得るフィールドとしては注目されているので、情報通信技術を中心に幅広い分野の起業家や新事業を企画する人々を集める価値があると考ええる。</p> <p>・創業相談の相談員について、個人情報保護など可能な範囲でどのような方々が就任する予定なのか公開してほしい。</p>	
37	<p>9ページ</p> <p>”地域交流の場の創出と企業支援” ”農業を通じた交流人口の拡大と次世代型農業の実践”</p> <p>チャレンジラボ等という意味不明なものはなんですか？ ITやデジタルを理解していない人が考えたカフェとレンタルオフィスと言う認識しかできません。たかだかイチゴ狩りができる程度の農園で交流人口の拡大と謳っていますが、大げさすぎます。スマート農業についても県と県立大が既存の施設で研究をすれば良いだけです。</p> <p>秋田市による企業支援とはイオングループに対してのものなのか？</p>	<p>「(仮称)チャレンジ・ラボ」では、市民が先端的なサービスやデータの活用を気軽に楽しむことができる環境を整え、データサイエンティストやIT人材育成の機運を醸成し、将来的には本施設を中心に、「子どものIT教育」「大学と連携したIT人材の育成」「企業への優秀な人材の輩出」など、起業や地元企業の成長・発展を後押しするサイクルの形成を目指すこととしています。</p> <p>また、開業を希望する若者等を支援するチャレンジショップなども検討しており、モデル地区の他のエリアとも連携しながら、幅広い分野の方々にも活用してもらえよう検討してまいります。</p> <p>また、農園については、農業を通じた交流人口の拡大やスマート農業などの実証を行うフィールドを想定しており、産学官連携による取組や栽培する品目についても、引き続き検討してまいります。</p>
38	<p>(9、15ページ3章 官民連携による取り組み基本計画図)</p> <p>観光農園について、きゅうり、トマト、いちごを栽培するとしているが、これらと秋田との関連を現時点ではあまり感じない。</p> <p>例えば栃木で観光農園を行うなら、いちごを栽培することは知名度とリンクし利用者増加などの相乗効果があると思うが、いちごのイメージがあまりないと考えられる秋田でやる場合はそのような効果が生じにくいのではないだろうか。</p> <p>観光農園で農業体験、冬のコンテンツ作りを行うならば、秋田で新しく有名な品種を開発するとか、秋田にちなんだ別のものを栽培するとか、冬にもいちごが収穫できるメリットを市の内外に効果的に訴求するなどの取り組みが別途必要であると考ええる。</p>	<p>モデル地区での実証による成果は、広く他の地域にも波及させていきたいと考えており、農園については、農業を通じた交流人口の拡大や、スマート農業などの実証を行うフィールドとすることを想定し、産学官連携による取組や栽培する品目についても、引き続き検討してまいります。</p> <p>観光農園では、収穫体験を通じて、子どもたちの食育や農業に関心を持ってもらう機会を提供したいと考えており、栽培する品目についても、引き続き検討してまいります。</p>
39	<p>8ページについて</p> <p>市場とスタジアム、民間施設を一つの場所にする理由がわからない。確かに広いスペースが確保出来るのは分かるが、スタジアム周辺は渋滞が予想される。ショッピングモールと市場は現状で良いとしてもスタジアムは別の場所にした方が良いと思います。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備しようとするものです。</p> <p>現在検討が進められている卸売市場再整備事業とも歩調を合わせながら、交通渋滞の緩和と安全で安心な道路交通の確保に向け、現況交通量調査の結果や民間施設と新スタジアムの整備により新たに発生する交通量の増加分を勘案した上で、モデル地区内の交差点への影響を把握し、道路整備の必要性を検討してまいります。</p>
40	<p>9ページ</p> <p>チャレンジラボに若者が訪れるのか疑問です。中高生にとっては駅から距離があり、秋田大学からも秋田駅を挟んで対角に位置しているためです。</p> <p>また、冬季観光として農園が位置づけられています。本当にニーズがあるのか疑問です。</p>	<p>モデル地区へのアクセスについては、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p> <p>また、本市において、冬期間は観光の閑散期になっていることから、収穫体験のできる農園は一定程度需要があるものと捉えており、産学官連携による取組や栽培する品目についても、引き続き検討してまいります。</p>
41	<p>”エリア内電力供給の最適化と災害時の電力供給システムの構築”</p> <p>たいそうなことを謳っているが今後は当たり前の技術だ。しかしショッピングセンターに必要なのか？</p>	<p>技術の進歩に合わせ、取組内容も変化していくものと捉えていますが、モデル地区内の各エリアで設備の最適制御を行うことにより、エネルギーコストの削減やゼロカーボンの実現に向けた取組を進めたいと考えています。</p>
42	<p>10ページ</p> <p>”リアルとバーチャルを融合した体験施設による交流人口の拡大”</p> <p>もはや意味不明です。物産の宣伝なら最初から秋田市と秋田県が連携して既存のネット上のバーチャル空間で行えば良いし、販売なら今でも秋田駅近郊で行われている企画を拡大して行えば良いだけ。</p>	<p>モデル地区では、秋田県が誇る伝統的な発酵食品に焦点を当てたテーマ型体験施設や地元食材を活用したレストランをはじめとした交流拠点施設における「食」などのリアルな体験と、XR等の技術による映像体験などのバーチャル空間での利用者交流や魅力発信により、「リアル」と「バーチャル」の双方で人と人とが交流することで、地域への愛着を高めるとともに、交流人口の拡大やにぎわい創出につなげたいと考えています。</p>
43	<p>P10 3章 官民連携による取り組み</p> <p>身近な地域にアクティビティのような施設ができることは非常に賛成である。学生も多いため、遊べる施設が増えることは若者にとってもいい影響である。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、若者が将来に希望を持ち、「これからをこのまちで暮らしていきたい」と感じられるような新しい活力や魅力を創出することを目的の一つとしており、引き続き、実現に向けて取り組んでまいります。</p>

44	<p>10ページ</p> <p>観光誘客ブースについて、映像体験に需要はあるのか疑問です。わざわざ他県から秋田に来てイオンタウンに行こうと思うのか、ニーズ調査すべきではないでしょうか。</p> <p>個人的には、東京や大阪などの都市ではアミューズメント施設に行こうとも思いますが、例えば北陸や四国などでは地域の自然や食、文化を楽しみたいと思うため、他県から秋田へ来る方も同様ではないかと思えます。</p> <p>外旭川地区で観光誘客しようとする視点はなくても良いのではないのでしょうか。現在、いろいろな施設を詰め込みすぎている感があるため、ターゲット層も絞りやすくなると思います。</p>	<p>モデル地区では、秋田県が誇る伝統的な発酵食品に焦点を当てたテーマ型体験施設を中心としたリアルな体験や、デジタル技術を活用した秋田の自然や観光地の映像提供によって、交流人口の拡大やにぎわい創出につなげたいと考えています。</p> <p>また、秋田港に寄港するクルーズ船をはじめ、県内外から多くの方に来場していただけるモデル地区を目指してまいります。</p>
45	<p>P10 体験施設による交流人口の拡大</p> <p>EVシャトルの実用化が望まれますが、実証実験の計画はどこまで進んでいるのか。</p> <p>秋田県内の来訪者は自家用車を利用する人が大半だと思いますが、渋滞はまぬがれないと想像します。</p> <p>卸売市場の物流とは時間帯が異なるかとも思うのですが、周辺住民の生活や病院などのアクセスに影響が及ばないようにしていただきたいです。</p> <p>発酵ツーリズムについては、海外からの観光客も見込まれると思いますが、ライドシェアなども検討されていますか。宿泊施設はスタジアム利用客などを対象にしているかと思いますが、サッカーだけでなく、いろんなイベントを誘致できたら良いと思います。</p> <p>秋田市にしてはめずらしく、大々的な計画だと思いますが、一度に計画が多岐に渡るため、全てを同時進行で進めていくには時間がかかるかと思えます。</p> <p>最近気候による問題など予測外の課題が多いので安心・安全を基に、出来る事から進めていってほしいです。</p>	<p>EV自動運転シャトルの運行については、エリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指しており、将来的なモデル地区へのアクセス性の向上が見込まれるほか、自動運転の普及にも寄与するものと考えています。</p> <p>現在検討が進められている卸売市場再整備事業とも歩調を合わせながら、交通渋滞の緩和と安全で安心な道路交通の確保に向け、現況交通量調査の結果や民間施設と新スタジアムの整備により新たに発生する交通量の増加分を勘案した上で、モデル地区内の交差点への影響を把握し、道路整備の必要性を検討してまいります。</p> <p>なお、モデル地区における課題解決に向けた様々な官民連携による取組については、見直しを図りながら、施設の整備後約3年程度の実証期間を経て実装に移行することを想定しており、可能なものから順次取組を進めてまいりたいと考えております。</p>
46	<p>●(4) エリア内電力供給の最適化と災害時の電力供給システムの構築について</p> <p>●(5) スタジアムを活用した健康づくりと防災機能の強化について</p> <p>再生可能エネルギーを最大限に活用して、外旭川地区の融雪システムを構築してください。住んでいる人が便利になり、県内や他県の人にうらやましがられるような町にしてほしいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
47	<p>11ページ</p> <p>スタジアムを活用した防災機能の強化</p> <p>人が住んでいる地域から離れた場所に建設するスタジアムを防災の施設とするのは、無理があると思いますし、スタジアムでなければならない理由は見当たりません。補助金ありきの計画に見えます。</p> <p>また、健康づくりで、スタジアムの施設内を走るの、何人走れるのか疑問です。そもそも、住宅地から離れているため、施設内を走る意味も無いと思います。</p> <p>結局のところ一般のお客さんが天然芝でトレーニング出来るとか、スタジアムでしか出来ない提案がなければ、補助金をもらうための計画にしかないとはいえないと思います。</p>	<p>モデル地区は、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指しており、新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設（店舗、温浴施設、保健福祉施設等）、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
48	<p>p11【多目的利用】</p> <p>「天然芝のフィールドでサッカー以外の競技やイベントを開催するとともに、インナーコンコースにすることで、季節や天候に左右されずに年間を通してウォーキングやランニングができるスタジアムとします。</p> <p>スポーツ立県、スポーツ振興を掲げる秋田県、秋田市において年間を通して、安全に誰もがスポーツができる施設がほとんどない。シニア世代の人たちが健康に留意し、手軽に気軽に行えることで、県内、市内で最も多くの高齢者が行っているものがウォーキングやランニングである。しかし、雨天、降雪のため、安全に行えないのが現状である。</p> <p>ぜひ、新スタジアム、その周辺でいつでも、誰でも、いつの季節も健康に、安全に自分の健康を増進できる設備、施設の設置をお願いしたい。</p> <p>市内にある施設、市立体育館、県立体育館、茨島、河辺の体育館、武道場、スケート場、シルバーエリア、雄和の施設、いろいろあるが、年間を通して一番多く、設備が利用できる所は、サンライフのあの小さな体育館と、120メートルの真四角のコースということをご存じですか。これだけ立派な施設があるのに残念でなりません。もう少し、市民、特に高齢の方を大切にしたい施設、設備の建設をお願いしたい。一サッカーチームのサッカーファンのための施設ではなく、県民、市民全員のための施設だということをまずは念頭に置いていただきたい。そうであれば納得して、税金を支払うこともできるのではないかと。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>

49	<p>10、11ページ</p> <p>防災機能の強化は近年の災害から必然になりました。モデル地区の秋田市外旭川から市内外の各地へ参考になる機能を発信することにより様々な防災に繋がると思いました。</p> <p>今年の大雨で想定外の被災者が出たことにより長期間に渡り生活困難や様々な被害を受けた方々がいました。</p> <p>他県の災害も参考にして様々な災害に出来るだけ短時間で対応可能な機能を備えていただきたいです。</p>	<p>モデル地区において、新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設（店舗、温浴施設、保健福祉施設等）、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p>
50	<p>11ページ</p> <p>”スタジアムを活用した健康づくりと防災機能の強化”</p> <p>市内外からのアクセスが良いと謳っているがあんな不便な場所にスタジアムを作るのは反対だ。そもそもJリーグが秋春制になってもブラウブリッツが秋田市を拠点にし続けることができるのか不明だし、秋田市の財政状況でスタジアムを新規で作るのは負担が大きい。</p> <p>ただし、ブラウブリッツのゲームを楽しむ秋田市民や県外からのサポーターの為にスタジアムの整備には賛成です。</p> <p>現状の八橋地区、ソユースタジアムの改修、A S Pスタジアムの改修をJリーグの基準を満たせるように早期に改修するべきです。</p> <p>防災機能も県立体育館の建設にからめて八橋地区を拠点とするのが、市役所、県庁、県警本部、秋田市消防本部、市立病院などとの位置関係から最善の選択です。</p>	<p>新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市がとりまとめた、「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園については、第2球技場（スペースプロジェクト・ドリームフィールド）と健康広場の代替地の案がなく、設置は困難であると整理しました。</p> <p>市内には、他に必要な面積を満たす遊休地もないことから、卸売市場再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、新スタジアムを外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付けたものです。</p>
51	<p>11P (5) スタジアムを活用した健康づくりと防災機能の強化</p> <p>「フィールドを使った健康イベントやコンコース26の多目的利用などにより、気軽にスポーツを楽しめる環境を整備します。」と事業目的にありますが、スタジアムを活用した健康づくりは、スタジアムをスポーツをする場所として捉えるだけでなく、スポーツを「みる」、さらには「人とつながる場所」と捉えることによる「0次予防」の中心的役割を持たせることが出来るように思います。</p> <p>スポーツをする、楽しむために個人にアプローチするには限界があり、人とのつながりや周囲の環境を整える「0次予防」こそ、行政主導で行うべき健康への重要な施策だと考えます。</p> <p>人とのつながりと健康格差については、下記に詳細があります。</p> <p>近藤克則「長生きできる町」</p> <p>NHKスペシャル取材班「健康格差 あなたの寿命が社会が決める」</p> <p>村山洋史「「つながり」と健康格差 なぜ夫と別れても妻は変わらず健康なのか」</p> <p>上記著書等によると、秋田県は短命、健康格差という観点からは最下位です。いうまでもなく少子高齢化は世界のトップでもあります。</p> <p>ただ一方、歴史をみると、原爆投下で「75年は草木も生えぬ」と言われた広島で、広島市民の復興への原動力となったのは、プロ野球広島東洋カープであり、広島市民球場であったことは異論の余地はないと思います。</p> <p>ローマのコロッセオも緊迫財政の中での着工だったと言いますが、後に「コロッセオが崩れる時、ローマが減びる。そして、ローマが減びる時、世界が減びる。」という有名な言葉が生まれることとなります。</p> <p>財源等クリアすべき問題は多いと思いますが、スタジアムを中心にしたまちづくりで、暮らすだけで健康になるまちづくりを期待します。</p> <p>最後に、防災機能の強化の部分についてですが、災害時トイレの問題が必ず発生します。スタジアムのトイレはそれも考慮に入れ、数、多目的トイレ、男女トイレ両方におむつをかえるスペースを設ける等の配慮をして欲しいと思います。</p> <p>スタジアムが様々な意味で「最後の砦」になると思っております。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>また、新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設（店舗、温浴施設、保健福祉施設等）、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p> <p>なお、スタジアムのトイレに関しても、今後の検討において、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
52	<p>事業概要</p> <p>P11の(5)スタジアムを活用した健康づくりと防災機能の強化について事業を進めて欲しいと強く希望します。</p> <p>スタジアムが外旭川にできる事により、地域の活性化となることは、もちろんのこと事業概念にあるように災害時の避難・救援活動の拠点になればと思います。</p> <p>ソユースタジアムの老朽化もあり、新しいスタジアムを建てるのは、必須だと考えます。土地の有効利用の点からも外旭川に建てるのは、妥当かと思われます。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>また、新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設（店舗、温浴施設、保健福祉施設等）、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p>

53	<p>11ページ</p> <p>スタジアムの多目的な利用としてウォーキングくらいしかないのか？その施設は市民が使いやすい施設か？</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
54	<p>11ページ</p> <p>スタジアムを活用した健康づくりと防災機能の強化</p> <p>ブラウブリッツの頑張りを応援したいので、J1昇格の為に賛成します。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
55	<p>12ページ</p> <p>若者やブラウブリッツのサポーターが訪れやすい交通のあり方（時間、交通費など）を示してほしいです。車での来訪前提のあり方では持続可能性がないと思います。</p>	<p>モデル地区へのアクセス方法については、事業パートナーからの提案では、モデル地区と泉外旭川駅の間でオンデマンドシャトル・バスを運行する等、公共交通ネットワークを補完する取組等が示されており、本市が進めている全体的な公共交通網との整合性も考慮しながら、試合開催時の新スタジアムへのアクセス方法についても、ブラウブリッツ秋田等と検討してまいります。</p>
56	<p>12ページ (6) EV自動運転シャトルの運行</p> <p>デマンド型EV自動運転シャトルの写真を見て、このようなミニサイズの手であったらあまり大人数を乗せることができなく、効率が悪くなってしまうのではないかと考えました。</p>	<p>先行事例における運用車両の写真を参考イメージとして掲載したものであり、モデル地区へのEV自動運転シャトルの導入に当たっては、参画事業者が積雪地における課題への対応や先進都市の事例を踏まえ、まずはエリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指し、検討してまいります。</p>
57	<p>12ページ</p> <p>”EV自動運転シャトルの運行” ”次世代医療と多様な社会参加の機会の提供”</p> <p>外旭川の街づくりが秋田市の思惑通りに完成したとして、年間821万人にも及ぶスタジアムの観戦者とショッピングセンターの買い物客などの内の何人をおの小さな乗り物で泉外旭川駅から運ぶのか？ そもそも泉外旭川駅や現状のJRの運行体制でさばききれぬのか？</p> <p>最先端の検診センターを整備するとあるが、なぜ市立病院の改築と同時にその機能を持たせなかったのか疑問である。</p> <p>後でとってつけたような理由にしか見えない。</p>	<p>先行事例における運用車両の写真を参考イメージとして掲載したものであり、モデル地区へのEV自動運転シャトルの導入に当たっては、参画事業者が積雪地における課題への対応や先進都市の事例を踏まえ、まずはエリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指して検討している段階です。</p> <p>このため、具体的な運行路線や利用者数などについては、次の段階での検討になります。</p> <p>また、モデル地区内の民間施設については、民間事業者が負担し、整備や管理、運営を行うことを基本としており、モデル地区で計画している健診センターについては、民間企業と大学共同の研究施設とし、スタートアップ企業の誘致につなげるなど、新たな医療の機能を持つ施設として検討しております。</p>
58	<p>12ページ</p> <p>泉外旭川駅からEV車でのシャトルバス運行も運転士不足や環境問題に対応しており期待できます。</p> <p>県外で運行されていたのを見ていたのでモデル地区で運行されると嬉しいです。</p>	<p>モデル地区へのEV自動運転シャトルの導入に当たっては、参画事業者が積雪地における課題への対応や先進都市の事例を踏まえ、まずはエリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指し、検討してまいります。</p>
59	<p>P12 EV自動運転シャトルの運行</p> <p>秋田市の公共交通機関の問題としては、冬場のタイヤの乱れ、本数の少なさ、高齢者以外の料金の高さなどがあると思います。</p>	<p>モデル地区へのアクセス方法については、事業パートナーからの提案では、モデル地区と泉外旭川駅の間でオンデマンドシャトル・バスを運行する等、公共交通ネットワークを補完する取組等が示されており、本市が進めている全体的な公共交通網との整合性も考慮しながら、試合開催時の新スタジアムへのアクセス方法についても、ブラウブリッツ秋田等と検討してまいります。</p>
60	<p>EV自動運転車のシャトル便やバーチャルなど、先端技術の利用やチャレンジラボなど若者向けのイベント設計が魅力的だと思った。</p> <p>雨に濡れない工夫など試合観戦の際にお客様がより楽しめるような施設設計はより集客につながると思った。</p> <p>若者がより楽しめる施設になることは高齢化が進む秋田の地域活性化になると思うのでブラウブリッツのホームがそのようになるのはとても誇らしいと思った。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、若者が将来に希望を持ち、「これからをこのまちで暮らしていきたい」と感じられるような新しい活力や魅力を創出することを目的の一つとしており、引き続き、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
61	<p>p12: 本市が抱える課題、p12: (6)EV自動運転シャトルの運行</p> <p>p22で年間来場者は821万人と想定されており、1日あたり2.2万人となる。</p> <p>泉外旭川地区とモデル地区でEV自動運転シャトルを実用化したとしても、容量・運行速度を考えると交通問題を根本的に解決していない。</p> <p>H25.11「泉・外旭川新駅(仮称)整備効果等調査報告書」(秋田市)によると新駅利用者(人/日)(乗車人数、開業時)は1167人であり、p22の想定と大きくかけ離れており、泉外旭川駅以外の交通も考慮し記載する必要がある。その際、バスターミナル以外にも秋田駅、秋田空港からのアクセス、1日2.2万人のうち自家用車利用も多く見込んでいるものと思われ、この交通量に耐える道路整備、駐車場整備も考慮する必要がある。</p>	<p>モデル地区へのEV自動運転シャトルの導入に当たっては、参画事業者が積雪地における課題への対応や先進都市の事例を踏まえ、まずはエリア内における実証、エリア外の公道における実証を経て実装することを目指して検討している段階であります。</p> <p>このため、具体的な運行路線や利用者数などについては、次の段階での検討になります。</p> <p>また、周辺のインフラ整備についての現状の認識は、素案19ページに記載のとおりであり、駐車場整備についても原則として民間事業者が整備することを想定しております。</p>

62	<p>13ページ CCRC 高齢者も健康管理をしながらボランティア等を通じて社会と関わりを持つことができる場があることは良いと思います。 高額な料金ではなく誰もが気軽に利用でき、車椅子の方や障がい者の方にも通いやすい場所になると嬉しいです。</p>	<p>引き続き、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指し、多世代交流施設をはじめ、まちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
63	<p>13ページ ”データ連携基盤の構築とデータの活用による利便性の向上” これも意味不明だが利用者のデータをイオンが利用するという認識で良いでしょうか。</p>	<p>モデル地区内の多世代交流施設における医療・介護サービスの利用者のバイタルデータを集積し、データ管理事業者や家族、医療機関が情報を共有することで、包括的に地域住民の健康管理・予防支援を行うことや、検診や運動などのデータを活用し、大学と民間企業が連携して研究・分析を行い、次世代医療ビジネスの開発につなげることを想定しており、異なるサービス間のデータ連携を行う基盤を整備し、デジタルサービスの実装を進めることで、市民生活における多様な場面での利便性向上や付加価値創出を図りたいと考えています。</p>
64	<p>P 14 3章 官民連携による取組 4 イメージパース 上記のアクセスとも関係ありますが、駐車場の数の合計が今の段階で5,500台ですが、御所野のイオンモール秋田の3,200台と比べて不足しないのか心配です。計画が進むにつれて、駐車場も含めて内容も変わっていくと思いますが、市民が利用しやすい環境を整えてほしいと思います。</p>	<p>駐車場については、現時点では事業パートナーが必要台数を推計し提案したものを記載しておりますが、今後、モデル地区での取組の具体と必要な規模を踏まえ検討してまいります。</p>
65	<p>1章 基本計画の位置づけ、目的、イオンタウンを事業パートナーとする官民連携に賛同する前提で以下記載いたします。 ・3章 5 基本計画図 秋田県の若者に何が足りないかをアンケートをすると、常に上位に「遊ぶところに乏しい」が入っており、これまで県、市共に秋田駅周辺偏重の開発をしてきましたが、若者のニーズとモータリゼーションに対応が出来ないまま現在に至っています。 チャレンジラボ、アミューズメント、シネマはスタジアム利用客層とも相性が良く、「若者目線で魅力ある県都」の範を示す意味でも計画案に近い形での実現を希望します。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、これまで取り組んできた多核集約型コンパクトシティを基本としつつ、若者が将来に希望を持ち、「これからをこのまちで暮らしていきたい」と感じられるような新しい活力や魅力を創出することを目的の一つとしており、引き続き、早期実現に向けて取り組んでまいります。 また、モデル地区へのアクセスについては、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>
66	<p>【P19】9-(2)-イ 雨水対策について「民間事業者が調整池を整備するなど雨水処理方法を検討した上で…」について ①令和5年7月と9月の豪雨時に、当該エリアがどのような状況だったのかを調査の上公表し、その結果も踏まえて調整池を含めた雨水処理対策の具体的な方法・方式・設備・概算整備費を明示するとともに、対策を講じた場合の効果も明示していただきたいと思います。</p>	<p>開発を行う民間事業者が、開発許可申請手続きの過程で施設管理者と協議を行った上で、民間事業者の負担により必要な規模の調整池等を整備する予定としています。</p>
67	<p>3章 5 基本計画図 15頁 民間施設（農園）でトマトときゅうりを作るようですが、レタスがないのは片手落ちではありませんか？</p>	<p>民間施設（農園）については、農業を通じた交流人口の拡大や、スマート農業の実証の場となるフィールドとすることを想定しており、栽培する品目についても、引き続き検討してまいります。</p>
68	<p>15ページ ブラウブリッツの試合で訪れた他県のサポーターなどが、作られた外旭川地区で食、泊を完結して中心市街地を素通りすることは、秋田の良さを十分に伝える機会を失うことにならないだろうか心配です。 県内には子どもたちを安心して遊ばせることができる屋内施設が御所野イオン程度しかないため、そのような遊戯施設があると、より集客にもつながるのではないかと思います。観光施設を建設するより、市民ニーズは高く、移住のPRポイントにもなると思います。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、モデル地区を起点として、本市への新たな人の流れとにぎわいを創出し、中心市街地や既存商店街等にも波及させたいと考えています。 そのため、モデル地区では、子どもから大人まで、様々な方々が気軽に活用できる地域交流の場に加え、新たなにぎわいづくりや交流人口の拡大につながる観光・集客施設を一定程度整備する予定であり、中心市街地等への回遊性を高めるイベントの実施など、モデル地区と中心市街地等との相乗効果を創出する仕組みづくりについても検討してまいります。</p>

69	<p>15ページ</p> <p>基本計画図から具体的な仕上がりのイメージが湧きました。</p> <p>秋田市はもちろん男鹿市や潟上市方面から期待の声もありますのでイオンタウンには老若男女が利用できる様々なジャンルの多店舗が入り賑わいを生み出す造りにして欲しいです。</p> <p>マルシェ.場外市場も広く期待できます。</p> <p>秋田市民にはもちろん秋田港からの県外客にも魅力的な場所になって欲しいです。</p> <p>70代80代の方々も期待しておりますので高齢者も消費者として利用できるように完成時期も早期実現して欲しいです。</p> <p>卸売市場、スタジアムは仕事で利用する方が仕事上の使い易さを優先的に意見を述べて造られた方がいいと思います。</p>	<p>引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、いただいたご意見につきましては、今後の検討において参考とさせていただきます。</p>
70	<p>P1、P8、P14-15</p> <p>以前から本計画を見聞きしてきたが、どうも「あれもしたい、これもしたい」という印象を受けており、結局何がしたいかが分からない。大規模建設をすることが手段ではなく目的のような印象がある。農園、卸売市場、スタジアムの建設はある程度理解できるが、それ以外の施設は本当に必要か疑問がある。</p> <p>特に観光施設については、秋田市民以外を対象としているとすれば、例えばアクセスの面から賛同しがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道7号/13号から絶妙に遠い。 ・近くに秋田北インターはあるが有料で利用者が多いわけではない。 ・メインターミナルの秋田駅からも遠い。また泉外旭川駅まで電車に乗るイメージが持ちづらい。 ・（資料に書いていないが）秋田空港からも遠い。 ・クルーズ船客を対象としても、別の観光地に行くのではないか。 <p>大変申し訳ないが、少なくとも観光施設については計画を見直して欲しい。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しています。また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。</p> <p>モデル地区では、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、その実現に向けて、観光・集客施設を一定程度整備し、市内外の方々の来場によるにぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p>
71	<p>P15 基本計画図</p> <p>新設のオーバブリッジとは、跨道橋！ 老人には不便な構造ですね。信号が三つもついていると渋滞は確実。これ以上は信号はつけられないだろうし、今更ながらどうしてこの地かと思わずにはいられない。</p>	<p>モデル地区として検討している卸売市場周辺の地域は、秋田自動車道秋田北インターチェンジや秋田港から近く、交通・物流機能に優れた地域性を有しています。また、物流拠点としての役割を担う卸売市場については、再整備に向けた検討を進めており、市有地である現敷地内に一定の余剰地が生じる見込みとなっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備することとしたものであり、エリア内の移動や渋滞への対応等についても、引き続き検討してまいります。</p>
72	<p>14、15ページの構想のイラストをしてみるとイメージがつきやすい。</p> <p>日本ハムファイターズのポールパーク構想に少し似ていると感じているが、ポールパークは現在好評で私自身も行ってみたいし、私以外にも気になっている人は多いと思う。</p> <p>「このようなスタジアムができるなら行きたい」と言うのも立派な動機になるのでぜひ実現してほしい。</p>	<p>引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
73	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設の中に宿泊施設もあるようなので、1泊2泊ではなく1週間、10日間と長期滞在を検討したくなるような魅力的なコンテンツが出来るよう期待します。 ・車椅子利用者が可能な限り隅から隅まで回れるようなユニバーサルデザインにしていきたいです。 ・大会や合宿誘致につながるようなパラスポーツに特化した競技施設を作ってはいかがでしょうか（パラスポーツにはポッチャなど多世代が同時に楽しめる競技が多いと思います） 	<p>引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、様々な方に楽しんでいただくことができるよう、いただいたご意見につきましては、今後の検討において参考とさせていただきます。</p>

74	<p>P15 基本計画図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転車が自由に行き来している未来型の空間を期待します。駅との往来だけでなく、エリア全体を絶えず自動運転車で移動できるような空間整備にし、市場・スタジアム・民間施設の区分けをせず自由に走り回れるようにしてほしいと思います。 ・雪や雨の時でも安全に施設間を移動できるよう、棟を完全にわけることなく、渡り廊下等のようにそれぞれが行き来できるようにしたら良いと思います。特にオーバブリッジは屋根や壁を設けなければ施設としての一体感がなく、相乗効果が得られないと思うので、重要だと感じます。 ・スポーツこども園とスタジアムに隔たりがある印象があるので、プロムナードを整備するなどして一体感を感じられるようにしたら良いと思います。 	<p>いただいたご意見も参考にさせていただきながら、モデル地区内での移動のしやすさについても検討してまいります。</p>
75	<p>P16 施設整備（卸売市場再整備）</p> <p>「余剰地（検討中）」の部分がスタジアムとなるように見受けられますが、スタジアムの敷地が非常に狭く感じられます。市場を一棟にするとしてもっとスタジアムの空間を広くした方が良いと思います。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地を候補地とし、県とともに検討しているところであります。</p> <p>卸売市場の再整備は、現在の敷地内で営業を継続しながら空いたスペースで順次建て替えを行うため、新スタジアムについては、卸売市場の規模や機能、動線を優先し、その結果生じた余剰地に整備することを考えています。</p>
76	<p>3章 6施設整備（卸売市場）16頁</p> <p>卸売市場の中央門と秋田北インター線を結ぶ道路が狭い。大型の貨物トラックはすれ違えない。他に導線は見当たらない。</p>	<p>今後、現況交通量と新たに発生する交通量も勘案した上で、道路整備の必要性等について検討してまいります。</p>
77	<p>賛成です。</p> <p>私が育った、宮城県仙台市にも「サッカー、バスケ、野球」とプロチームがいくつもあります。</p> <p>試合の日となると、ユニフォームを身にまとったサポーターの方が多く集まりスタジアム周辺を中心に盛り上がります。</p> <p>新スタジアムを中心にサッカーだけではなく、秋田市や外旭川地区が大きく盛り上がるきっかけになると考え、賛成しております。</p>	<p>モデル地区では、大学生などの若者と様々な業種の企業が交流できる場や、体験・参加型のアミューズメント施設など観光・集客施設も検討しており、新スタジアムを含め、周辺の施設の連携を図りながら、新たなにぎわいの創出や交流人口の拡大につなげていきたいと考えています。</p>
78	<p>■11ページ「新スタジアム建設」について</p> <p>今春まで信州に住んでいました。サッカー専用スタジアムがある松本や長野で、県民市民3世代が毎週のようにスタジアムに通い、熱狂し、満員のスタジアムで歓喜する光景は忘れられません。サッカーを知らなくても、サポーターが作り出す一体感にはまる人が続出し、松本では毎試合1万人前後の集客があり、今では地域文化の一躍を担っています。</p> <p>これは地域の象徴・スタジアムがあるからこそだと思います。</p> <p>秋田でも信州のようにスタジアムが建設されれば、秋田の人たちの新たな生きがいを生むことができます。「あのピッチでプレーがしたい」…地元の子どもの憧れの舞台にもなると思います。それは秋田を代表する一流選手を輩出することにもつながります。</p> <p>また4年前まで住んでいたシンガポールには、ピッチと商業施設・公共施設が一体となった複合型スタジアムがありました。サッカー観戦に足を運んだ人たちは、その前後に買い物したり、食事をしたり、ウォーキングやプールに入ったり、また市役所の手続きをしたり…1カ所で何役も備えた施設で1日中過ごしていました。また買い物に来た人がついでにサッカーを観ていくという効果もありました。</p> <p>秋田市で計画されている新スタジアムもイオンが併設されると聞いています。スタジアムがサッカー観戦だけに終わらず、もう1つの目的を作るということは、より多くの人の流れを作ることができると思います。シンガポールのようにその敷地で1日を過ごすことができるような施設があれば良いと考えています。</p> <p>サッカーとそのスタジアムは、地元の愛県心を育み、子どもからお年寄りまで抛り所と生きがいとなり、地域に大きな経済効果も生み出すものです。ぜひとも秋田市で一日も早く、信州と同じような光景を見られることを望んでいます。</p>	<p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などにより、にぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

79	<p>13ページについて</p> <p>サッカースタジアムは決してサッカーだけのものではないと解釈しています。私はバレーボールクラブを運営していて、秋田市内外から子どもたちが約100名ほどが都度集まってきて各所でバレーボールの練習をしています。</p> <p>夏場はビーチバレーボールも練習していますが、バレーボールにはグラスバレーボールという芝で競技するカテゴリーもあります。</p> <p>スタジアムが整備されればそういった新たな競技を広められることもできますし、老若男女にもっとサッカーだけでなく他の競技にも親しんでいただけたらと思います。</p> <p>今後様々なスポーツを広めることで、秋田県民の健康寿命というものを延ばすきっかけになりますし、みなさんが心豊かに過ごせるようになれると考えています。</p> <p>ぜひ、全ての県民がスポーツに親しむ拠点となるスタジアム整備を進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
80	<p>P19 新スタジアム整備について</p> <p>私は賛成であり進めるべきだと思います。</p> <p>確かに市民全体の健康と一生食うに困らない生活を守るという行政の視点からすれば、エンターテインメント・プロスポーツは人生においてプラスαであり、必要不可欠なものではない、という考えに至るのは当然だと思います。</p> <p>しかし、今は指先ひとつで世界中の情報を手に入れることができる時代です。誰しものが、自分の好きなものの感動できるものを見つけています。</p> <p>そして残念ながらそれは秋田でなく県外にあることの方が圧倒的に多いのです。</p> <p>若者は好きなものの近くへ行ってしまふ。秋田で稼いだお金を県外へ落としに行ってしまう。人口減少は全国どこも同じですから、その中でいかに秋田へお金を落としに来てもらうか、来てもらい好きになってもらうか、という視点が秋田の発展の鍵ではないでしょうか。</p> <p>好きなものの感動できるものがそこにあれば、人はどこからでも向かってきます。</p> <p>新スタジアムはその一助に必ずなります。</p> <p>私は3年前からブラウブリッツ秋田の試合を現地観戦しておりますが、大声を出し応援に夢中になることで、日々の暮らしの迷いや悩みが吹き飛び、スタジアムに自分の足でいつまでも通いたいと、図らずも健康寿命を延ばすことを意識し始めました。</p> <p>また、秋田は自殺率が全国ワーストと聞きます。</p> <p>この問題も、新スタジアムが整備され、初めて試合観戦される方、病気を抱えている方、障害をお持ちの方、そういった方が訪れやすい環境が整えば、生き甲斐ができ解消されていくのでは、と実感として思っております。</p> <p>どうか、秋田のために前向きに進めてくださる様、お願いをいたします。</p>	<p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果により、にぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
81	<p>17ページ</p> <p>サッカースタジアムについて、現在の八橋は、駐車場が足りないことが、足が遠く1つの原因であると感じています。</p> <p>外旭川に新しいスタジアムが建設されることで、アクセスがよくなれば、観戦者数も現在より増えると思います。</p> <p>また、スタジアムに試合観戦に行くと、毎回キッチンカーやイベント、遊具があり、子供もたくさんいてにぎわっています。新スタジアムの建設により、子供たちが楽しめる場所が増えることに期待しています。</p>	<p>駐車場の規模等については、卸売市場や民間施設の駐車場の活用、自家用車以外のアクセス方法の充実などと併せて検討してまいります。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>

82	<p>これまでの基本構想から、より具体的で魅力的な計画になりました。選定場所の外旭川は土地が比較的広く、インターや駅も近くアクセスが良いため、多くの集客を見込めますし、計画に盛り込まれた観光、医療施設も場所、内容ともに良いと思います。</p> <p>しかし目玉となる新スタジアムについて、建設場所がようやく定まりましたが、Jリーグからスタジアムの進捗が遅れていることについて、厳しい意見が出ています。スタジアム問題でライセンスが不交付となれば、秋田県秋田市の責任は非常に大きく、全国から信用を失うでしょう。これまでも計画が二転三転しており、県民市民に対して誠実な対応を取っているとは到底思えません。クラブは秋田のために全力を尽くしています。行政、議会も覚悟を決めて、スピード感と責任感を持って、2026年着工のため、命を懸けて取り組んでください。期待しています。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
83	<p>外旭川まちづくり全体に賛成であると共に13ページに記載されているスタジアム建設に特に賛成します。</p> <p>今の秋田は、人口減少、少子高齢化、昨年の豪雨についての対応(インフラ整備や被災者支援)、除排雪の対応など多くの問題を抱えており使うことの出来る税金に限りがある事。また、スタジアム建設に対し否定的な意見が多く寄せられていることも重々承知です。</p> <p>秋田を出ていく、自分の知り合いたちが皆口を揃えて言うのは秋田には魅力がない。外旭川まちづくり計画、その目玉であるスタジアム建設には秋田に大きな魅力と活力をもたらす起爆剤になると自分は感じています。</p> <p>早期のスタジアム建設を祈って微力ですがこの場を書かせて頂きました。何卒よろしく申し上げます</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
84	<p>■ 8 ページ目</p> <p>まず始めに、新スタジアムがブラウブリッツ秋田だけしか使わないという間違った認識を市民県民から払拭することをしてください。資料にも書かれているように、災害時の備蓄庫であったり、ブラウブリッツの試合が無い日はコンコースを活用したりだとか、多岐に渡って活用されることを前面に出してください。サッカーは他のスポーツと異なり、対戦相手を応援するファン、いわゆるサポーターの方が県外から多数来場されるという特性があります。今年のブラウブリッツ秋田のホームゲームでも年間7,000人以上の県外サポーターが来場されたと聞いています。外貨を稼げるコンテンツとして、サッカーは他のスポーツには無いメリットがあるかと思えます。</p> <p>若者の県外流出の理由として、娯楽が少ないからという理由が上位を占めているのはご存じでしょうか。現状の施設(八橋陸上競技場)では、娯楽施設としての役割を果たすことは、もう限界です。改築に20億円ほどかけた佐竹史料館、年間何人来場しどれだけの経済効果を発揮していますか？どれだけの市民から改築の要望がありましたか？ブラウブリッツ秋田は2017年、スタジアム整備を要望する署名に約18万の署名を県内外の方々からもらっていましたよ。</p> <p>現在、47都道府県にJリーグクラブがトータル60クラブありますが、それでもまだJリーグを目指すクラブが多数あります。それはなぜだと思いませんか？Jリーグのクラブが地元にあることによってさまざまないい影響・効果があると他の市町村の方々が思っているからだと思えます。</p> <p>反対されている議員の方々には、新しい取り組みに対して否定的な意見ばかりをするのではなく、否定するのであれば代替案を出さないとフェアじゃないと思います。足引っ張りをするのではなく、前向きにどうやったら新スタジアムの件も含めて外旭川地区の街づくりがより良くなるかという議論をしていただきますと幸いです。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区整備を目指すものであり、モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などにより、交流人口の拡大やにぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、市民の皆様への丁寧な説明に努めるとともに、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
85	<p>卸売市場と新スタジアム、同時進行で進めてほしい。</p> <p>Jリーグ側に2026年度着工と宣言して、2032年になると言ったらライセンス剥奪されるのは目に見えている。</p> <p>ブラウブリッツ秋田は今、秋田県に決して小さくはない経済効果をもたらしている。</p> <p>新スタジアムが完成すれば、更なる経済効果が見込めると思う。</p> <p>ブラウブリッツ秋田のみならず、全てにおいて一刻も早く動いてほしい。</p> <p>話し合いばかり続けては振り出しに戻り、怠慢に感じる。</p> <p>あまりにも保守的すぎて、やる気を感じない。</p> <p>秋田の人口減も頷ける。</p> <p>本当に一刻も早く、アクションを起こしてほしい。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

86	<p>外旭川が賑わいのある町になればいいなあと思います。</p> <p>子供がサッカーをしているので、スタジアムができればそちらも楽しみの一つです。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えており、新スタジアムについても、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
87	<p>17ページ：</p> <p>「J2基準を満たす収容人員10,000人以上のフットボール専用スタジアム」とありますが、ブラウブリッツ秋田が近い未来でJ1で戦うことを想定したとき、J1基準を満たす収容人数15,000人を基準にスタジアム建設をするのが妥当だと感じます。</p> <p>J1クラブの中で一番少なくて横浜FCが一試合平均：9128.5名、一番多くて浦和レッズが一試合平均：30508.7名です。</p> <p>(参考： https://soccer-db.net/competition/attendance.php?comp=1001&yr=2023)</p> <p>J2からJ1へ昇格となると、ブラウブリッツ秋田のファン・サポーター人口が増えるのはもちろん、J1の対戦クラブのファン・サポーターがJ2では想像もつかないくらい来場します。試合を見に秋田に来る人が増える、その人たちが秋田でお金を使っていてくれることを考えると、収容人数が足りず、どうせ秋田に行っても試合が見られないなら…と来場者を逃したときにもったいない思いをするのはブラウブリッツ秋田だけではないと思います。まずは10,000人規模で建設して必要になったら拡張する、ではその拡張工事期間スタジアムの稼働に制限がかかり、本来目的としていた用途が果たせない期間ができてしまう思います。</p> <p>また、スタジアムの必要性として、上記に記載した以外にも、下記があげられると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が、豪雪地帯である秋田で冬季も体を動かすことができる場になる。 ・子育て世代が安心して子供を遊びに連れていける場所になる。(県外への人口流出を防ぐ、もしくは秋田への流入のきっかけに) ・秋田に新しいスタジアムができて街が活性化しているから、と進学、就職で県外に出ていた人口がAターンするきっかけにもなり得る。(現に、私自身、新スタジアムはないものの、ブラウブリッツ秋田があったから秋田に帰ってきた人の一人ですし、ほかにも同じような人がいます。) ・秋田のスポーツ人口が増え、健康寿命が延びる。→医療費の軽減につながる。 ・スポーツ観戦に付随して交通、観光業などがさかんになり、雇用が増え、生産年齢人口が増え、税収が増える。 <p>水害復興など、他にも多くの問題、予算が必要な事柄がある中、新スタジアム建設は優先事項なのか？と思われる方も多いかと思います。ただ、今後秋田県民・市民がより過ごしやすい秋田になるよう、より活力のある県になるよう、新スタジアム建設について前向きにご検討いただければ幸いです。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>また、規模については、現在のJ2基準である収容人員1万人程度を想定しておりますが、収益性等を考慮しながら、引き続き検討してまいります。</p>
88	<p>東京からUターンで秋田に戻ってきた存在として、ご意見させていただきます。</p> <p>トップの方の意見がコロコロ変わったりお年寄りばかりがマイナスの意見を出す時代は終わりにした方がいいと思います。</p> <p>これから子育てをする世代や未来に向かって進むお子様たちは娯楽が少ないこの秋田でどのように楽しみを見つめ、地元への魅力を感じるのでしょうか。</p> <p>新しい商業施設やプロのスポーツ観戦ができる施設を作ることによってトップの方は秋田県民のことを考えてくれているんだ、街を良くして行こうとしているんだ、という動きを拝見できることになりませんか？</p> <p>地元への愛や執着を感じ、それが貢献や恩返しに変化するのではないのでしょうか。</p> <p>そういった機会を、また覆され先延ばしされ、批判的なマイナスな意見だけを取り上げられる日々はもう終わりにしてください。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果により、交流人口の拡大やにぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、市民の皆様のご意見も伺いながら、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
89	<p>p.17</p> <p>秋田の子ども達の為にも、交流人口を増やし、活性化を促していくためにもスタジアムは絶対必要です。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

90	<p>4年前に秋田に戻ってきてすぐにまた県外に出て働こうと思っていましたが、ブラウブリッツ秋田の試合を観て「秋田も良いなあ」と思いはじめ、試合観戦を重ねるごとに選手たちの姿に「私も頑張らないと」と看過されました。秋田で働こうと思ったきっかけは紛れもなくブラウブリッツ秋田の存在です。そして気づけば秋田を好きな気持ちを素直に出せるようになり、今では秋田から離れたくないほどです。</p> <p>雨も気にせずに、戦う選手たちの表情がすぐそこに見えるような臨場感あふれるスタジアムがあれば、前述したことを多くの方々にも感じてもらえるのではないかと思います。今ではアウェイにも何度か行きましたが、県外クラブの多くは立派なサッカースタジアムばかりで、なぜ秋田に出来ないのか疑問を感じています。</p> <p>秋田は高齢化率が高く、どうしても高齢者の声が大きく反映されがちです。どうか10代・20代の声を2人、3人の声として聞き入れてもらえるような秋田になってもらえればと思います。明るいまきたの未来を作るためにも、新スタジアム整備の実現を強く要望します。</p>	<p>まちづくり基本計画の策定に当たっては、大学生によるワークショップや高校生を対象としたアンケートなども実施してきたところであり、引き続き、若い皆様の意見も参考にしながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
91	<p>17ページ</p> <p>新スタジアム整備について、賛成です。これから未来の子供たちにとって、希望を持てるJ1基準を満たすスタジアムであってほしいのが本音ですが、現状の秋田市には不相応かもしれないというのは人口など鑑み理解しています。先日ラグビーW杯の誘致の件も報道されておりましたが、その観点からも新スタジアムはこれからの秋田のために必要だと思っております。またブラウブリッツ秋田専用ではなく、一般利用や多目的利用もできることから、冬季間や雨の多い秋田にとって、市民そして県民の健康維持にもとても有効な施設なのではないかと思えます。また、現実問題で人口が減っていつている秋田市にとって、できるだけ早期に新スタジアムが建設されることにより、活気がある秋田市になり、減少を緩やかにする効果も期待できると思えます。難しいことかもしれませんが、何年もかけては手遅れになってしまうかもしれません。</p> <p>スポーツ立県秋田。サッカーのみならず、ラグビー、バスケットボールなどスポーツの与える影響は大きいものと考えます。ソユースタジアムで見かける各サポーター、お客様、老若男女みんな生き生きとした表情で楽しんでいました。</p> <p>秋田市に住む者として、未来に希望を持てる秋田市であってほしいです。そのためにも外旭川事業、そして新スタジアム整備について、早急にそして前向きに進めていただくことを望んでおります。</p> <p>自分が住む秋田市そして秋田県にがっかりしたくはないです。</p> <p>どうか前向きなご検討をよろしくお願いいたします。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものであり、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果なども生かし、交流人口の拡大やにぎわいの創出につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
92	<p>秋田市がスポーツ文化をどのようにしていきたいのかが問われています。サッカーのプロスポーツチームがあるにも関わらず、十分に生かし切れていないのではないのでしょうか。新スタジアム建設、維持について費用などコスト面の検討は必要だと思います。しかし、Jリーグのサッカーチームが秋田に存在することによって、Jリーグのサポーターたちが秋田を訪れる経済効果について検討していないのではないのでしょうか。</p> <p>試合があるたびに県を越えて秋田に来てくれる多数のサポーターは、交通費、飲食代、宿泊代など経済的効果が高いと思えます。定期的に数千人を超えるイベントが、秋田市や秋田県で開催できているのでしょうか。1万人規模のスタジアムができ、ブラウブリッツ秋田が活躍しJ1に昇格すれば、さらに多くの動員が見込まれます。またそのサポーターが秋田県内の観光地を巡り、SNSで発信しているのを担当者は見たことがありますでしょうか。</p> <p>ブラウブリッツで計画しているモデルが金沢の新スタジアムと聞いています。金沢でサッカーの試合があれば、観光を兼ねて全国からサポーターが集まるのです。</p> <p>サッカー専用スタジアムが、スポーツだけでなく防災の拠点としても整備されることは、秋田市にとって未来への備えだけでなく、未来への希望にもなると思えます。有意義な新スタジアムの整備を強く希望します。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
93	<p>●7 施設整備（新スタジアム整備）について</p> <p>現状の金沢スペックでいいと思います。その新スタジアム内部に、再生可能エネルギーの仕組みを後付けしてください。観客席を暖めたり、芝生の養生や融雪に使える仕組みを作ってください。この仕組みは防災や発災時にも大いに役立つはずで。観客向け、選手向け、市民向けにスタジアムの付加価値を高めることが、秋田市のイメージアップにもつながると思います。秋田市のファンを増やす絶好のチャンスです。</p>	<p>モデル地区内においては、再生可能エネルギーやA I ・ I C T等の活用により地域の電力使用状況を管理・分析して最適な制御を行い、エネルギー消費の最適化とコストの削減を図るなど、ゼロカーボン実現に向けた取組を考えており、いただいたご意見は、今後の検討において参考とさせていただきます。</p>

94	<p>1章 基本計画の位置づけ、目的、イオンタウンを事業パートナーとする官民連携に賛同する前提で以下記載いたします。</p> <p>・3章 7 施設整備 金沢スタジアム型にする案に賛成です。但し、雪が多い時はどうするかを含め、他県の運用状況はよく調べてた上で市民に周知する必要はあると思います。</p>	<p>引き続き、市民の皆様への丁寧な説明に努めながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
95	<p>『行動の約束』これこそが市民と信頼関係を築く上で、また子どもたちの教育に関わる上で最も重要だと思っています。</p> <p>行動の約束を守らないことの繰り返しは、どんな理由であれ市民には届かなくなります。</p> <p>一つの約束を積み重ねが市民から信頼される街になれる。</p> <p>新スタジアムを作る これは公約にもあった目標の約束です。 それに見合った行動の約束を見せて欲しい。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
96	<p>3(5)・7 新スタジアム整備についての書き方は、他人事の様で、市の判断は遅きに失する。せっかくのJ2という地位とスポーツの持つ活力を活かせていない。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
97	<p>16・17ページ 3章 卸売市場再整備・新スタジアム整備 24ページ 7章 事業スケジュール 新スタジアムは卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を検討中とのことであるが、ブラウブリッツ秋田の来季J1ライセンスは、市がJリーグに2026年度のスタジアム整備着工を目指す方針を伝えたことにより特例措置で交付されたものであり、2026年度のスタジアム整備着工を前提とした事業スケジュールとしていただきたい。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
98	<p>スタジアム早期実現できるよう何卒よろしくお願い致します。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
99	<p>スタジアムを一刻も早く建設してください。</p> <p>秋田の時の流れは、スタンダードよりもだいぶ遅れています。煮えきらない態度に愛想を尽かした人から順に秋田を去ります。今までも、これからも。お金、かけてください。なんの楽しみもない秋田の地に。</p> <p>急いでください。Jリーグに見切りをつけられる前に。</p> <p>期待はしていません。がっかりすることには慣れましたので。検討しているうちにJ3に降格してスタジアム建てなくて済めば御の字ですか。</p> <p>私は見たいです。J1で優勝して、アジアタイトルも獲得して、世界から秋田を訪れる人が後を絶たない日を。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

<p>100</p>	<p>P17スタジアム整備について</p> <p>このまちづくりをすすめるにあたって市が抱えている課題の1つにスポーツによる交流人口の拡大、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境整備とある。今年、ブラウブリッツ秋田の試合を見に来たソユースタジアムの来場者は6万人を超え、そのうち対戦チームのサポーターもものすごい数で圧倒された。サッカーを通じて多くの県外者が秋田を訪れ、市で宿泊、飲食をしたほか、男鹿や田沢湖、角館まで足を伸ばして観光し、その魅力をSNSで発信する。その次に対戦するサポーターはそのSNSから情報を得て来秋するという、これぞ若者世代の発信力、情報能力がもたらしてくれた経済効果である。多くのJリーガーが「いかなるときも相手へのリスペクトを忘れずに」と言っているように、ブラウブリッツ秋田でも「#試合が終わったらノーサイド」を合言葉に、試合後は市内の飲食店ではアウェイユニフォームのサポーターをブラウブリッツサポーターが迎え入れ一緒になって飲み交わす心温まる光景が見られる。それもこれもブラウブリッツ秋田というJリーグクラブがあるからこそであり、Jリーグが目指す地域密着、地域活性のひとつになっていることを議員の皆様にも知ってもらいたい。</p> <p>昔、茨城県鹿嶋市は東京から100キロも離れていないのに陸の孤島と言われたほどの過疎地だったそう。強いて言えば住友金属の工場があることがまちの売りであったような小さなまちである。それが鹿島アントラーズというサッカークラブの誕生に町が、県が希望をかけた。当時Jリーグのお荷物とまで言われていたクラブに対し、さらに1万5千人収容のスタジアムが条件という無理なライセンスまでつきつけられたが、それをクリアしスタジアムが完成。その結果、交通網が整備され、道路も鉄道も新しい、週末には大勢のサポーターがきてたくさんお金を落としていってくれる、地域が元気に、そしてクラブはどんどん強くなる。そしていまや「鹿嶋と言ったら鹿島アントラーズ」サッカーの聖地として知らない人はいない、大きな都市になった。</p> <p>サッカーに限らずバスケも野球もそうだが、スポーツは人々の希望である。</p> <p>スタジアムが完成したら週末には子どももお年寄りも何千人という県民が集い熱狂する、興奮する、地域のお店も元気に、そして選手もホームの応援が増えるほどパフォーマンスもあがり、みんなが元気になる！</p> <p>また、1年を通して天候に左右されることなく使用することができるコンコースは、サッカーに興味がない人でも恩恵を受けることができるし、天然芝を利用して子どもたちが安全にスポーツを楽しんだり、高齢者の健康促進にも利用できる。災害時には災害拠点としても利用できる。</p> <p>サッカー専用スタジアムという言われ方をされると誤解を招きそうだが、このように幅ひろく使用目的があることを今一度思い出してほしい。</p> <p>若者の県外流出に歯止めがかからないのは秋田に仕事がない、遊ぶところがない、魅力がない、つまりは希望を見いだせるものがないからではないだろうか？後期高齢化が進む秋田において福祉は大事なことはあるが、将来の秋田を背負って立つ若い力を育てることも大事だと思う。若者の声に耳を傾けてほしい。今小学生の子どもたちが5年後、10年後、秋田が好きだから秋田に残りたいと、誇れるものがあるように、このスタジアム早期着工に県民の希望がかかっていることをわかってほしい。これが遅れてライセンス取り消しなどということがあってはならない。</p> <p>希望だとか夢だとか、生ぬるいことを言ってるように思われるかもしれないが、人のこころを動かすもの、心を揺さぶるものとは、結局人なのではないだろうか。</p> <p>秋田県民は保守的で変化を嫌う気質であるが、変わらなければ何も始まらないし、改革にはリスクがあって当然。それを乗り越えようとする姿勢に心が動かされるものだと思う。秋田市の大改革、応援しているのでどうかスタジアム早期着工をお願いします。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、基本計画の策定過程において、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
------------	--	---

101	<p>主に17ページな新スタジアムについて意見させていただきます。</p> <p>私は一市民ではありますが、ブラウブリッツ秋田のサポーターです。</p> <p>新スタジアムには本当に期待しています。ようやくスタジアム建設の目処がついてきてほっとしているところではありますが、報道されている着工時期は気になっています。</p> <p>卸売市場の余剰地が建設地候補になりましたが、その場合着工がかなり遅くなりJリーグに約束している2026年度着工ができなくなる事を心配しています。</p> <p>2026年度に着工するとJリーグに報告して2024年のライセンスを獲得したことは簡単な話ではありません。</p> <p>余剰地とは言わず、しっかりと計画を立てた上で卸売市場と新スタジアムを同時にでも工事を行えるように何卒努力をお願いします。</p> <p>秋田にブラウブリッツ秋田は必要です。J2に昇格したことで少なからず秋田の経済に貢献していると思います。</p> <p>いつの日にかJ1への昇格を目指しているチームです。その道を行政の方で閉ざさないでください。</p> <p>どうかよい方向へ進むようお願い致します。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
102	<p>p17</p> <p>資料を何度も読みました。</p> <p>このまちづくりの計画は、秋田市のみならず、秋田県全体にかかわることと理解しました。</p> <p>単純に大規模なショッピングセンターができて雇用を生むなどというものに止まるものではない。住まう人の安心安全（健康、医療、防災）、外から人を呼び込む等々、読めば読むほど、スタジアムの存在は大きいと感じます。</p> <p>このエリアを一体的に、同時進行で整備しなければ、秋田市が狙う効果は半減するとまで思いました。</p> <p>スタジアムの整備まで10年もかかると聞き及びました。</p> <p>この計画では、スタジアムに防災の機能を持たせるとのこと。昨今の異常気象を鑑みれば、今年の豪雨災害のようなことは、考えたくありませんが今後も起こり得るでしょう。防災に関わる機能を持たせるのであれば、整備は急務です。</p> <p>健康にかかわる分野でもそうです。温暖化が進み、降雪の時期は短くなってきているとはいえ、冬の寒さは変わりません。加えて猛暑もあります。雨雪や気温に関わらず、運動が可能なコンコース等を備えた施設は絶対に必要です。</p> <p>交流人口の拡大については、スタジアムによって確実に狙えます。サッカークラブには必ずサポーターがいて、どれだけ秋田から遠い地域のクラブであっても、必ず応援に来るサポーターがいます。そして大抵は秋田を観光して帰ります。アウェイツーリズムと言われるものです。ブラウブリッツ秋田がJ2に昇格してからは、目に見えてアウェイのサポーターの人数が増えました。サッカーのシーズンは約10ヶ月。その間平均2週に一度の割合でホームゲームが行われます。2週に一度県外からお客さんが来るということです。</p> <p>スタジアム整備の年数が嵩めば嵩むほど、多くの交流人口を逃す年数が増すということです。</p> <p>スタジアムによって昇格できなかったときがありました。今後またスタジアムによってJリーグの資格がなくなるようなことになれば、その損失はかなりのものになると思われます。</p> <p>2017年に約18万筆の署名を提出してから、もうすでに6年。イオンタウンさんの計画が明るみになってからも相当年数が経っています。その間に人口は減り、秋田市は30万を割りました。</p> <p>秋田市の盛衰は、秋田県全体に関わります。</p> <p>6年は小学校に通う年数です。中学1年生が高校3年生になり、卒業と進学を向かえる年数です。秋田県を出るか否かを選択することになります。どこで働くかを考える年齢です。</p> <p>スタジアムがなければ、この計画の効果は薄れます。Jリーグに提出している26年度内着工であっても遅いくらいだと考えます。</p> <p>いち早く整備していただきたいです。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

103	<p>まずはスタジアムの着工に遅れないよう2026年にスタートしてほしい。 大きなイベント開催時の道路の導線はしっかり対策してほしい。 スタジアムの観客席は100%屋根を架けてほしい。 全天候型にするのが望ましい。 スタジアムの周りにベンチなど憩いのスペースがあると良い。 防災などの観点からスタジアムのコンコースは広めに1周できると良さそう。 階段は緩やかだと助かる。 床が濡れても滑らない素材だと良い。 座席の左右前後ゆとりのある設計にしてほしい。 座席にドリンクホルダーがあると良い。 スタジアム内でもグルメなどの出店できるようなスペースがあってほしい。 降雪時期の除雪や雪を溶かすシステムがあると良い。 駐車場からの導線で道路を直接渡るのではなく地下道などで行けるようにしてほしい。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、いただいたご意見も今後の検討において参考とさせていただきますながら、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
104	<p>スタジアム計画について 計画素案からは思っていたよりポジティブな印象を受けた。そして、県民は知事の発言に振り回されていることが分かった。 しかし、県と市でこれほど見解が食い違っていることは理解できない。 特に17頁の「土地の沈下の懸念も少ない」 軟弱地盤だとうだとう吹く人がいるのをどうにかしてくれ。 意見交換をしているのか？知事は聞いているのか？ もし知事が正しいなら市からも具体的な見解を出して頂き県民を納得させて欲しい。 市には期待しているが、このままではわがままな知事と知事に関せずな県、市という印象になる。 こんなことで機運を損なうのは絶対に避けたい。 ブラウブリッツ秋田がJ2に残りJ1を目指せる環境にあるか、J3に落ちるかで秋田が得られる効果は桁が変わってくる。 サッカーのカテゴリに関しては現状維持は成長の可能性に繋がるが、万が一後退するうようなことがあればこの先何年も何年も成長の可能性すら得られないことになりかねない。 スタジアム計画のスピード感、具体性がそこに直結することを再認識、再共有して一日でも早く話を前に進めて欲しい。</p>	<p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
105	<p>● 7 施設整備（新スタジアム整備）について 2026年着工を目処として、ぜひ逆算して議論を進めてください。ブラウブリッツ秋田にはJ1、J2ライセンスがぜったいに必要です。J2で戦い続け、その先にJ1を目指すチームがあることは地元の誇りです。「秋田」という文字を全国で知らしめてイメージアップに貢献し、交流人口を増やしています。新スタジアムに関する議論で拙速という言葉が市議会議員などから聞かれますが、むしろ時間を掛け過ぎて全国からひんしゅくを買っている現状をなんとか打破してほしいと思います。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
106	<p>● 7 施設整備（新スタジアム整備）について 2026年着工に間に合わない場合と判断した場合は、外旭川の計画から新スタジアムを速やかに切り離してください。外旭川の計画と共倒れにはしないように、別のやり方を模索してほしいと思います。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

107	<p>p17: 新スタジアム整備、p24:事業スケジュール</p> <p>新スタジアム整備は賛成ですが、このスケジュールを以てJリーグへの"スタジアムの抜本的な改善にむけた来年の活動計画"の報告に耐えるものなのか。市場を含めた全体計画の整地をスタジアム着手とするのは認められるとは思わない。</p>	<p>昨年6月に県と市がJリーグに提出した意向表明書は、まちづくり基本構想でお示した、市道金足添川線の北側農地に新スタジアムを整備することを前提に、令和8年度の工事着手を想定したものでありますが、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
108	<p>サッカーグラウンドを早く作ってください</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
109	<p>ブラウブリッツ秋田を応援してる者です。 チームも望んでいる外旭川地区にスタジアムの早い建設をお願いします。</p>	<p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
110	<p>スタジアムについて</p> <p>どこに重きを置くかと思いますが、アウェーリズム含めて、見にくられる全ての人々がフィールドに集中できる環境を強く望みます。それは、全天候型のスタジアムです。これができることで、もし秋春制に移行した場合でも、老若男女が雨風雪から想定される寒さを気にすることなく、安心してサッカー観戦に集中できるからです。また、冬場のトレーニング環境も大幅に改善されるため、高校サッカー選手権にのぞむチームが12月トレーニングできたり、冬場ブラウブリッツ秋田のトレーニング場所の確保にもつながります。その点からぜひ全天候型のスタジアムの建設を切実に願います！</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、利用者や来場者の利便性が良く、満足度の高い施設となるよう検討してまいります。</p>
111	<p>新スタジアムについて</p> <p>1.スタジアム問題はもう何年も前からあり、知事も市長もスタジアム建設を選挙で公約に掲げ、当選しているのだから、もっと力を入れて押し進めていただきたいです。</p> <p>また、Jリーグに提出しているスケジュール通り進めるのが筋だと思います。</p> <p>2.Jリーグは秋春制を押し進めていて、たぶん秋春制に変更されると思います。</p> <p>まだ決まっていることではないですが、そうなった場合、今よりも寒い季節の試合数が増えます。</p> <p>今でも春先や秋の試合は凍えるような気温の中行われることがあり、選手の怪我のリスクはもちろんですが、観客が楽しむことができないこともあります。</p> <p>中途半端な箱物を作ることが一番ムダであると思うので、必要以上の設備（例えばトイレの自動洗浄や蓋の自動開閉など）やおしゃれな外観はいらないので、全天候にしてほしいです。</p> <p>3.トイレは和式が嫌煙されがちですが、潔癖症の方など、洋式がイヤな方も少数かもしれませんが、いるので、そういう方も気持ちよく使うことができるよう和式も残してほしいです。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととし、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところです。</p> <p>卸売市場の再整備については、現在想定している工期から一定程度の短縮は見込めるものと考えていますが、新スタジアムの整備スケジュールについては、それを踏まえて検討する必要があり、こうした状況をJリーグに随時報告し、理解を得ながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、トイレに関しても、今後の検討において、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
112	<p>17ページ施設整備のスタジアムの設計で、ビジター席に屋根も座席もないのが気になります。</p> <p>ホームゴール裏のように、しっかりとした作りがいいと思います。試合を見に来てくださるビジターのサポーターが減ると思いますし、何よりすごく危ないと思います。選手もサポーターが気になって実力を発揮出来ないと思います。</p> <p>対戦相手へのリスペクトを大切に、安全面も考慮して、四方向同じ作りにした方が良くないかと思います。</p>	<p>まちづくり基本計画素案（案）の17ページに掲載したスタジアムのイメージは、令和6年2月に供用を開始する金沢市民サッカー場のものですが、現在検討を進めている新スタジアムについては、全ての観客席に屋根を整備することを想定しており、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、利用者の満足度が高い施設となるよう検討してまいります。</p>

<p>113</p>	<p>スタジアム＝サッカースタジアム。というイメージが強すぎです。きっと県のトップの発言が県民にそう植え付けさせているのだと思いますが。何をそんなに毛嫌いしているのかわかりませんが、＝の考えかたをやめてみてはどうですか。</p> <p>例えばミルハス...</p> <p>オープンしてから今まで秋田には来ていなかった大物アーティストが 続々と来てますよね？</p> <p>それは理解できますよね。</p> <p>そのアーティストが来県した時の経済効果等はお分かりでしょうか。</p> <p>県外からもファンは来ます。宿泊したり観光したりとたくさんの経済効果をもたらしてくれます。</p> <p>高橋優さんのフェス開催も然り。軒並みホテルは予約で満室。電車やバス、タクシーも使い会場まで行きます。お土産もたくさん購入してくれるし、秋田県内を観光もしてくれます。</p> <p>全天候型スタジアムだと単純計算でも倍以上の集客があり、サッカー以外でもライブ、大規模なイベント開催など年中使用でき大きな経済効果がうまれると思います。</p> <p>市場の余剰地に建設などという秋田県特有の【中途半端】な事はやめて欲しいです。そんな中途半端な事をするから使用されることも無く経済効果もない税金の無駄使いになるのではないのでしょうか。</p> <p>観光農園は1年通して県外からのツアーをやるのですか？</p> <p>何年も何年も繰り返し同じ果物の摘み取りツアーに観光客は絶えず来ますか？</p> <p>県民も摘み取り体験なんて何回も行きませんよ。だってここは自然豊かな秋田ですもの。</p> <p>わざわざ何度もお金を払って摘み取りに行かなくても自宅や親戚、友達の家で果物摘み取りができますからね。家庭菜園もできるくらいですから。</p> <p>地域に根付いた施設になるのでしょうかね、観光農園は。</p> <p>予算の問題もあるかもしれませんが、守り守りに入って中途半端な事に私達の税金を使わないでください。秋田県に余計な借金を増やさないでください。</p> <p>意味不明な県のトップに発言、指示に従っていたら秋田県はいつまでも冴えない田舎のままですよ。</p> <p>秋田県民が秋田県民である事にほこりを持てるように、秋田の政治にもっと興味を持ってもらえるように、若者が秋田に残ってくれるように、中途半端な事はやめて思い切って全天候型スタジアム建設をしてください。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>現在、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところでありますが、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用などもできる、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
<p>114</p>	<p>P17 施設整備（新スタジアム整備）</p> <p>・スタジアム全体を覆う屋根を設けない」とありますが、雪国である以上、必要だと問います。また、スポーツ施設としてだけでなく、音楽イベント会場としても使用できるように設備を整えてほしいと思います。サッカーだけができれば良い、ミルハスがあるから良いという考えでは多くの人々が集まるまちづくりはできないと思っています。多くの人々が集まれる、集まりにくる価値のある場所が秋田には必要です。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>現在、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を、県とともに検討しているところでありますが、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用などもできる、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
<p>115</p>	<p>・スタジアム建設に関してですが、予算削減のために部分的に屋根を設置し、全天候型にはならない予定みたいですが、使用目的がそれによって限定的になること、屋根がなければ防災拠点としても中途半端になることが目に見えており、借金してでも全天候型にすべきと考えます。予算も大事ですが、全天候型、部分的に屋根を設置した場合の使用目的、使用頻度、経済効果を再度シミュレーションし、全天候型がどうすれば予算クリアできるかを検討すべきと考えます。単に予算上、全天候には出来ない、他地域に右並えという結論であれば中途半端なスタジアム建設は無駄であり不必要と考えます。他県から視察に来てもらうくらいの施設でなければ秋田の未来はないでしょう。冬季間の使用を考えると天然芝が良いのでしょうか？スタジアムの飲食ブースも屋内・屋外両方検討すべきと考えます。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>なお、Jリーグスタジアム基準では、ピッチは天然芝もしくはJリーグが認めたハイブリッド芝とされています。</p>

116	<p>17ページ スタジアム建設について</p> <p>新県立体育館もだが建て方が中途半端。思い切って沖縄県並みのバスケット専門体育館を計画した方が良い。</p> <p>今回のサッカースタジアムについても可動式屋根付きで建設し、秋田駅からのアクセスを加味すればコンサートをはじめとする様々なイベントに利用可能。冬や荒天でも他のスポーツに対応できる施設を建設し、他県などから貸出の打診が沢山集まり収入に繋がるようにする。サッカーの試合だけでは赤字となることは確実であることから収入を上げられる事を1番に考え、ブラウブリッツについてはJ1の条件がクリアできる範囲で検討する程度が良い。これだと本末転倒だが現状を踏まえるとベストではないか。</p> <p>ハピネッツは結果を残しているのである程度想像できるがブラウブリッツについては結果が出ていないのでJ1の話をしてイメージが湧かないのが正直な意見。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性を考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>現在、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところであり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用などもできる、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
117	<p>「新スタジアムを活用した健康づくり、防災機能強化」についてのご意見 (関連ページP11、P17)</p> <p>外旭川まちづくり構想の場所が住んでいる近所なこともあり、家族全員で大変注目しております。また日頃からブラウブリッツ秋田を応援しているので他のJクラブのホームスタジアムや新スタジアム構想にも着目しています。イギリスなど海外のサッカースタジアム(球技専用)は観客席とピッチの距離が大変近くて迫力と臨場感があるのですが、日本のスタジアムは球技専用スタジアムでも高低差があったりして海外のに比べてまだまだ遠く感じます。秋田の新スタは是非これまでの国内スタジアムの概念を打ち破るような臨場感あるものにして欲しいです。</p> <p>基本計画では残念ながら全天候型の屋根は計画されていませんが、プロサッカーの試合に限らず学生スポーツ部の冬場の部活動練習場所が無く困っている話をよく聞きます。学生はアシが無くて雄和のスカイドームまで行くのも親御さんの送迎が無いと行けない上、その親御さんも忙しい中での送迎に苦労、困っているそうです。学生が通いやすいエリアに全天候型のスポーツ施設があればと思うと、新スタジアム整備は可能な限りそういうところもカバー出来るものであって欲しいと願って止みません。</p> <p>また、障害のある方々や高齢者にも使い易いトイレその他設備レイアウトにして欲しいです。(階段ではなくスロープでとか)</p> <p>スタジアムが防災拠点になる点に絡めて考えると、地域住民にも参画してもらいながらスタジアムへの避難訓練や避難所運営シミュレーションなど、施設整備された後にも地域住民参加型の官民一体防災イベントなどが行われるようにして欲しいですし、</p> <p>施設整備の段階でも見学会などを開催して欲しいです。</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性を考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>現在、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備により生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところであり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用などもできる、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>また、新スタジアムは避難場所として活用するほか、物流拠点となる卸売市場や民間施設(店舗、温浴施設、健康福祉施設等)、近隣の医療施設等と連携することにより、モデル地区全域を防災拠点にしたいと考えています。</p>
118	<p>他のスタジアムではナーセリーと呼ばれる芝生の補修や張り替えをする圃場がスタジアムに隣接してあるところがほとんどです</p> <p>また範囲も4000平米以上ある所が多い気がしますがこれを見ると入っていない様に見受けられますが1年間を通し補修や張り替えをしないピッチは全国を回っていてもありません</p> <p>細かい部分ではありますが計画はありますでしょうか</p> <p>またピッチが暖地型芝生の場合には廃材のコアを幼稚園や学校のグラウンドにあげて緑地化する地方が何県かあります</p> <p>地域貢献活動としていいのではないのでしょうか</p>	<p>芝の種類や管理方法等については、ご意見を参考にしながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、利用者や来場者の利便性が良く、満足度の高い施設となるよう、引き続き検討してまいります。</p>

119	<p>周辺に駐車場スペースが無いのが気になります。秋田も車社会だと思いますが、何卒駐車場は確保して貰えると非常に有難いです。</p> <p>因みに山形のサッカーチームはモンテディオ山形です。スタジアムはNDソフトスタジアムです。場所は山形市街から国道13号線を北進方向、約20分車を走らせると山形県運動公園があります。そこにスタジアムがあります。近くにも徒歩で20分圏内に天童南駅がありますが、殆ど公園利用する人は車を使います。駐車場は運動公園南に広大な駐車場があります。約7000台停めれます。敷地内に25年着工、27年完成予定の球技専用スタジアムが出来ますが、それでも5000台程は停めれます。もし足りない場合でも、近くに(普段は天童市で冬季排雪場として使われてる)空地がありますので、問題は無いらしいです。駐車場は無料です。もし有料にする場合は、公園自体が山形県所有なので、県議会を通さなくてはなりません。</p> <p>今度作られる予定のブラウブリッツ秋田スタジアムは、外旭川駅から徒歩20分位歩いた所に出来ると聞いてます。実際、私も下見を兼ねて歩きました。卸売市場も観てきました。周りは田んぼで、近くにも秋田北ICもあり、場所的には素晴らしいと思いました。問題は駐車場です。ホームだけでなく、アウェイサポーターも大体は車での遠征が主です。実際、私も全国のスタジアムに足繁く参戦してますが、大まかには車移動が大半です。特に困ったのが、新国立競技場での駐車です。周辺は、特に試合日にもなると、特別料金と称して普段よりも割高になります。だからスタジアムのある新宿区から遠いけど、足立区に停めてから、電車で向かいました。その方が、駐車料金と電車賃を併せても安いからです。車遠征で来るサポーター全員では無いと思いますが、大体の人はお金と相談、やり繰りしながらやっています。</p> <p>秋田市も無料とは言いません。せめてスタジアム近くに安心して車で遠征できる駐車場があると大変嬉しいです。何卒宜しくお願いします。</p>	<p>新スタジアムには一定程度の駐車場を整備するほか、卸売市場や民間施設の駐車場の活用や自家用車以外のアクセス方法の充実などを考慮して検討してまいります。</p> <p>また、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>
120	<p>17ページ</p> <p>スタジアムの芝は天然芝となっていますが、なるべく傷みにくいハイブリッド芝の導入を検討いただきたい。導入例は日産スタジアムや神戸ノエビアスタジアムです。</p> <p>また冬季降雪時もピッチの雪が溶けるよう芝の下に融雪パイプなどの敷設もご検討いただきたい。</p> <p>スタジアムの屋根ですが金沢のスタジアムはUの字で3方向ですが、雨や雪が金沢より多い秋田の気候を考慮して例えば千葉市のフクダ電子アリーナのように4方向すべての客席を屋根で覆っていただきたい。</p> <p>スタジアム整備にあたっては県内外から広く寄付を募ってください。寄付を活用し雨の日も冬でも年間通してサッカーのほか多様なイベントに活用できる県内外に誇れる施設を作っていただきたいです。</p> <p>最後に、県外からもサポーターが多数訪れます。秋田もやるね!雪国でもやればできるじゃん!と提供いただけるスタジアムを作ってください。外旭川地区まちづくりは必ず若い人たちの希望になると思っています。実現に向けよろしくお祈りします。</p>	<p>新スタジアムについては、金沢市民サッカー場と同様に全ての観客席に屋根を整備することを想定しています。</p> <p>芝の種類やピッチ下の融雪装置等については、ご意見を参考にしながら、県やブラウブリッツ秋田とともに、利用者や来場者の利便性が良く、満足度の高い施設となるよう、引き続き検討してまいります。</p>
121	<p>・スタジアム建設の場所が良いと思いますが、まわりはすべて駐車場が良いと思います。熊がでる(農園・出店等)条件をそろえるような感じがします。</p>	<p>スタジアムや周辺施設についても、県やブラウブリッツ秋田とともに、来場者が安全に利用でき、利便性が良く、満足度の高い施設となるよう、引き続き検討してまいります。</p>
122	<p>7 新スタジアム整備 P17</p> <p>スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドがあった方がより利用の幅が広がるとは思います。維持費などのコストを考えると難しい。</p> <p>二次アクセスの課題</p> <p>最寄り駅から距離があるのでアクセス手段が自家用車主体になってしまうのでは？</p>	<p>昨年度策定したまちづくり基本構想において、新スタジアムは、事業パートナーやブラウブリッツ秋田からの提案に基づき、全天候型屋根付きを想定していましたが、ブラウブリッツ秋田から、実現性などを考慮し事業構想を見直した提案があったことから、スタジアム全体を覆う屋根や可動式フィールドは設けないこととしたものです。</p> <p>新スタジアムには一定程度の駐車場を整備することを想定しておりますが、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>

123	<p>始め北東部にスタジアムを建てるという案が出ておりましたが、佐竹知事が「地盤が軟弱で駄目だ。」ということで却下され、それで卸売市場の余剰地に建てるという経緯に到ったと思うのですが、本当にそうだったのでしょうか？もし、そうだったとしたらそれを裏付けるデータがあったのでしょうか？</p> <p>そのデータが表示されていないので、適当なことしか言えないですが、卸売市場一帯はほぼ、これから商業施設や住宅地が建つと想定されるエリアも全部元々田園地帯であるため、だとすれば北東部にスタジアムを建てても卸売市場の余剰地に建てても、さほど変わらないのではと思います。</p> <p>迅速に進めたいという意図もわかるのですが、今の卸売市場の余剰地だと広くスペースを取ることが困難で、ブラウブリッツが想定しているスタジアムを建てるのが難しくなっておかつ駐車場やスタジアム外でもイベントを行うことも困難になると予想されるので、今からでも遅くないと思うので、始めに案にあった北東部に建てた方が駐車場など色々なスペースを活用できると想定されるので良いのではないかと思います。</p>	<p>新スタジアム候補地の卸売市場余剰地への変更については、実現性などを考慮し、当初想定していた全天候型屋根付きスタジアムから仕様を見直したことに伴い、収益性や実現性の観点から市道金足添川線の北側農地での整備は困難であるとブラウブリッツ秋田が判断したものであります。</p>
124	<p>秋田市を活性化させる取組が必要であることは十分理解できますが、この計画を実行する必要があるのか分かりません。秋田市が税金を使って事業をするのであれば、以下の観点を明らかにする必要がありますと思います。</p> <p><17ページ 新スタジアム整備></p> <p>卸売市場の余剰地をスタジアムの候補地とする場合として3つのポイントが記載されていますが、土地そのものの準備に手間と資金がかからないことが最優先されていて、スタジアムの活用まで考慮した内容ではないと感じます。</p> <p>1ページの目的2に挙げられている「交流人口の拡大」にサッカースタジアム観戦が寄与する期待は高く、秋田のサッカー技術度上げのためのスタジアム活用等も含めて期待値向上のために候補地を再検討すべきだと思います。</p>	<p>新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市が取りまとめた「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園等への設置はそれぞれ課題があることから困難であると整理しております。</p> <p>市内には他に必要な面積要件を満たす遊休地もないことから、卸売市場再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、新スタジアムを外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付けたものです。</p>
125	<p>p 17のスタジアムの関する記載を削除するか、すべて調整中であることを強く明記すべきと考えます。スタジアムを当該地域に整備することを県と市で正式に合意したうえで計画に記載すべきです。</p> <p>市が県に建設地を報告することをもって整備地域を市が決められるかのような記載を目にしますが、報告と合意は違うものです。県がこの地域に整備することを合意した事実はいまだないことが、先日の地盤に関する建設候補地への知事のコメントにもあらわれているものと感じます。いまま以前の場所よりも良いという感想に過ぎず、知事と市長の対談の話もいまだ未定と報道されていました。そもそも今回市場跡地に整備するのであれば、当該計画地域へのスタジアムの整備を計画に位置づける必要はありません。スタジアムに関する記載を本計画から削除した計画としても問題は無いはずで、この開発計画とスタジアムは切り離すべきだと思います。この地域へのスタジアムが白紙となれば当該計画も白紙になるということなのでしょう。</p>	<p>新スタジアム整備は、卸売市場の再整備と民間施設の整備と一体的に行うことによる様々な相乗効果などを目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、地域未来投資促進法の活用を念頭に検討を進めているものです。</p> <p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を検討しているところであり、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
126	<p>17ページ 新スタジアム整備</p> <p>秋田市では、ブラウブリッツの責任だと計画に明記していますので、ブラウブリッツで考えることであれば計画に入れる必要も無いのではないのでしょうか。</p> <p>今現在、多数のチケットを配布したうえ、山形サポーターが千人規模で来てくれて、5,000人強が最大のサッカーチームに10,000人のスタジアム建設は無駄が多すぎます。</p> <p>場所が市街地になり、これまでのライトサポーターからは遠いから行かないとの声があるので新規のライトサポーターの獲得が必須になります。そのための施策も不透明ですし、ただでさえ少ないアウェーサポーターも、秋田駅からのアクセスが悪くなり、さらに少なくなることも想像できます。</p> <p>また、Jリーグの基準では、全席に屋根が必要となりますが、全席屋根なしでは、すぐにブラウブリッツから整備をおかわりされるのは目に見えています。</p> <p>さらにJリーグの秋春制に移行の予定もあるので、その結果によっては、スタジアムに人工芝などが必要になることも想定され、今の計画とは異なるため、今の時期の整備は悪手でしかないと思います。</p> <p>まずは八橋のスタジアムの整備で、トイレの増設と、観客席の6割を屋根で覆うこと、平均観客数を10,000人程度を目指し、秋田市と共に歩むべきだと思います。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものですが、市内には、他に必要な面積要件を満たす遊休地もないことから、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つに位置付けたものです。</p> <p>現在、新スタジアムは、J2の現基準である収容人員10,000人規模で、全ての観客席に屋根がある金沢市民サッカー場と同程度の仕様を想定しており、スタジアムまでのアクセスも含め、サポーターの利便性が向上するよう、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに検討を重ねてまいります。</p>

<p>127</p>	<p>17ページ</p> <p>”施設整備（寝スタジアム整備）”</p> <p>11ページでも前述しましたが外旭川でのスタジアム整備は反対です。</p> <p>私自身もスポーツ観戦が好きで、応援している秋田のチームの試合を県外に行って応援することがあります。首都圏などではJR、私鉄、バスの利便性が良いですが、地方都市になると途端にJRの駅から4キロ以上離れていて土日のバスは1日に6本程度の場所で試合が行われます。結局なれない道を歩いて会場に向かっているのが現実です。この状況は将来の外旭川スタジアムそのものです。こんな不便なスタジアムへ応援に訪れる県外のサポーターのことを考えたことがありますか？</p> <p>現在の相手チームのサポーターが秋田駅西口の2番のバス停に並ぶ姿を見たことがありますか？市役所前を歩いて八橋に向かうサポーターの姿を見たことがありますか？</p> <p>秋田市は秋田駅から八橋地区まで直線的にショッピングビル、宿泊施設、イベント広場、美術館、コンサートホール、公園、官公庁、スポーツ施設などが続く全国的に見ても珍しいくらいにわかりやすいまちの形をしています。</p> <p>都市部に比べるとかなり見劣りしますが、土日のバスの運行本数もあります。この地の利を捨ててまで外旭川のような不便な所にスタジアムを建設することの意味が分からないし、八橋がダメで外旭川なら良い理由をしっかりとした根拠を市民に示すべきです。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものです。</p> <p>新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市が取りまとめた「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園については、第2球技場（スペースプロジェクト・ドリームフィールド）と健康広場の代替地がなく、設置は困難であると整理しております。</p> <p>市内には、他に必要な面積要件を満たす遊休地もないことから、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、新スタジアムを外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付けたものです。</p> <p>卸売市場の余剰地を候補地とすることや施設規模等については、事業主体の中心となるブラウブリッツ秋田からの提案をもとに検討しているものであり、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>128</p>	<p>ブラウブリッツ秋田スタジアムは八橋に建設</p> <p>八橋ドリームフィールドを中心にスポーツ科学センター（解体予定）、相撲場となりの空地を利用して、やがて老朽化の八橋球場は余剰地として利用します。駐車場は文化会館地と秋田放送跡地として、いままで以上に市役所、県庁駐車場を開放し、試合によっては周辺官庁にも協力をお願いします。</p> <p>秋田駅から歩けなくもなく、バス本数もあり、道順は単純。</p> <p>特に電車で来られるサポーターは、駅前・川反・山王を通るので飲食店などの活性化に必然となります。</p> <p>郊外ではなく、いま一度秋田市の中心通りに元気を与えることができるはずです。他都市ではみられない官庁街に圧倒的な存在感のスタジアム、圧巻だと思います。市のシンボルスタジアムとなり、アウェーサポーターもまた行きたい場所、スタジアムとなるでしょう。</p>	<p>新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市が取りまとめた「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園については、第2球技場（スペースプロジェクト・ドリームフィールド）と健康広場の代替地がなく、設置は困難であると整理しております。</p> <p>市内には、他に必要な面積要件を満たす遊休地もないことから、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、新スタジアムを外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、県やブラウブリッツ秋田とともに検討しているものです。</p>
<p>129</p>	<p>◇外旭川にスタジアムをつくる意味が分からない。八橋ではダメなのか。あるいは、駅東地域。交通の便、宿泊先、サポーターの移動等を考えると、秋田駅の東西どちらかに作るのがよいと考える。コンパクトシティー。</p> <p>◇外旭川に作った場合、駐車場は大丈夫か。</p> <p>◇市場の隣にスタジアムをつくることについて問題は無いのか。</p> <p>◇スタジアムが完成したときの、サッカー人口の推移（変化）、人口の推移（変化）、年齢層の推移（変化）、サポーター数の推移（予想）等の将来像をどのようにみているのか。</p> <p>◇小中学校の給食費を値上げしないといけない状況（少子化対策に逆行）で、果たしてスタジアムができるのか。</p> <p>◇大阪万博のように、「実は……………」とあとから費用が増えることはないのか。</p> <p>◇完成してからも維持費がかかると思う。そこらあたりはどのように考えているのか。人口が減り、納税額が少なくなる中で。</p> <p>という疑問や意見です。 よろしくをお願いします。</p>	<p>新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市が取りまとめた「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園については、第2球技場（スペースプロジェクト・ドリームフィールド）と健康広場の代替地がなく、設置は困難であると整理しております。</p> <p>市内には、他に必要な面積要件を満たす遊休地もないことから、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、新スタジアムを外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、県やブラウブリッツ秋田とともに検討しているものです。</p> <p>新スタジアムの事業費や県・市の負担額および整備後の維持管理費についても、現在、県やブラウブリッツ秋田とともに検討を進めているところであり、県民、市民の理解が得られるよう努めてまいります。</p>
<p>130</p>	<p>⑥少子高齢化は確実に来る未来であり、秋田市も30万人を割りました。そのような状況下で、例えば、相乗効果を目指すというスタジアムは外旭川地区に必要なのでしょうか。八橋や雄和など今ある球技場の改修等では何故ダメなのか、現状での市民の利用状況はどうなのでしょう。スタジアムの検討状況については、ニュース等で断片的にしか把握しておりませんが、市民全体の目線で整備を検討してほしいものです。</p> <p>国・県・市とも厳しい財政状況であり、今後、借入金等の金利上昇が見込まれています。また、箱モノは建設後も維持管理費が長期にわたって相当係ります。既存施設を改修するなど、将来にわたる市民全体の目線で、一部、声高の議員やマニアの為ではなく、身の丈に合った効果的・効率的な税金の使い道に留意され、子々孫々に過大な負担を残さないようにしてもらいたいと思います。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものであり、その整備場所については、県とともに様々な検討を行ってまいりましたが、八橋運動公園など候補地となった土地にはいずれも課題があったことから、本市ではスタジアム整備を外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に行うことによる様々な相乗効果などを目指し、検討を進めているところです。</p> <p>新スタジアムの事業費や県・市の負担額および整備後の維持管理費についても、現在、県やブラウブリッツ秋田とともに検討を進めているところであり、県民、市民の理解が得られるよう努めてまいります。</p>

131	<p>P17.7 施設整備（新スタジアム整備）について</p> <p>競技利用だけでなく、防災機能を備え季節や天候に左右されないウォーキングやランニングが可能なコンコースにするなど、県民市民に開かれた公共性の高い施設である事、また市場余剰地である公地への建設である事から自治体主体の公共事業として整備するべきであると考えます。</p> <p>また、自治体を主体とした公共事業とする事で、寄附や国等の補助金の活用など幅広い資金調達方法を活用出来、さらには高い信頼性により寄附等が集めやすくなる考えます。</p>	<p>現時点では、ブラウブリッツ秋田が中心となって設立するスタジアム整備会社が事業主体となることを検討しているところですが、官民連携による様々な事業手法について、そのメリットやデメリット、実現性や継続性などを県やブラウブリッツ秋田とともに引き続き検討してまいります。</p>
132	<p>17ページ</p> <p>スタジアム建設費については、今治市などのように全額とはいかないまでも、秋田でも民間資本の活用を相当割合で行うべきだし、民間が出資できないような施設であるなら諦めざるを得ないと思います。</p>	<p>現時点では、ブラウブリッツ秋田が中心となって設立するスタジアム整備会社が事業主体となることを検討しているところであり、本市としては、経費面で県と同様に一定程度負担することを想定しておりますが、ブラウブリッツ秋田のスポンサー企業などからの寄附や個人サポーターを対象としたクラウドファンディング等、民間の資金を確保できるかが課題であると考えています。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、事業方式に合わせた資金調達方法や活用可能な助成制度等について検討を重ねてまいります。</p>
133	<p>また、スタジアムに関しては、ハピネッツは観戦動員数だけでなく事業としても様々な業態で利益をだしているが、ブラウブリッツはそういった利益を上げる方策があるのだろうか。</p> <p>一部のサッカーファンだけが喜ぶような施設なのも市民が疑問を感じている点ではないか。</p> <p>チームが昇格するためにスタジアムが必要ならば、クラウドファンディングやスポンサーを増やす努力をするべきであり、貧しい県、市が血税をつぎ込んでやることではないと思う。</p>	<p>現時点では、ブラウブリッツ秋田が中心となって設立するスタジアム整備会社が事業主体となることを検討しているところであり、本市としては、経費面で県と同様に一定程度負担することを想定しておりますが、ブラウブリッツ秋田のスポンサー企業などからの寄附や個人サポーターを対象としたクラウドファンディング等、民間の資金を確保できるかが課題であると考えています。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、事業方式に合わせた資金調達方法や活用可能な助成制度等について検討を重ねてまいります。</p> <p>また、外旭川地区のまちづくりは、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p>
134	<p>P17 7章</p> <p>「365日、県民市民のあらゆる世代が利用できる公共性の高いスタジアム」とあるが、現実的にサッカーのホームグラウンドとして指定された場合、芝生の養生期間の関係でホームのチーム以外が使用する事はほぼ不可能である。</p>	<p>天然芝のフィールドについては、芝生の養生期間の問題があり、365日利用することは困難であります。ブラウブリッツ秋田が中心となり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指し、サッカー以外の競技やイベントでの活用なども幅広く検討しているところです。</p> <p>また、出入口から観客席までの通路スペースであるコンコースに屋根を設け、屋内空間とすることによって、季節や天候に左右されずにウォーキングやランニングができるようにするなど、様々な世代が健康づくりに活用できる環境を整備したいと考えています。</p>
135	<p>17ページ 7 施設整備（新スタジアム整備）</p> <p>少子高齢化が年々進んできているため、スタジアムではなく体育館の建設もよいと考えました。</p>	<p>現在、八橋運動公園において、県が新県立体育館の整備を計画していることや、秋田市立体育館は改修を行いながら長寿命化を図っていく方針であることなどを踏まえ、外旭川地区に体育館を整備する予定はありません。</p>

<p>136</p>	<p>17頁・新スタジアム整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新スタジアムについては、佐竹知事はかねて「外旭川地区のまちづくりとは切り離すべきだ」「市が何を考えているのかわからない」と述べたとされ、穂積市長は「2024年1月までに作成予定だった新スタジアムの整備計画が、2024年2月以降になる」との発言が報道されております（12/7）。新スタジアムを卸売市場余剰地で展開する上では、本素案と一緒にする意味がまったくないという意味で、佐竹知事の判断は正しいと考えます。市長が2月のブラウブリッツ秋田社（以下BB社）の計画を待つとしているのは、いたずらに結論を引き延ばすに過ぎないのではないのでしょうか。 ・「仮に」の話であっても、市場余剰地にスタジアムを建設するとすれば、逆に市にとって大きな問題と負担を生ずることになりかねません。それは、現状想定される余剰地の規模では、到底十分な駐車場が確保されえないからです。参考として示されている24年2月供用開始の「金沢市民サッカー場」は、本素案には示されていませんが、クラブ（ツェーゲン金沢）側算出で、近接する南側敷地に無料駐車場1420台、別に関係者用として60台をスタート時に用意し、将来的に1700台の無料駐車場を併設する予定であり、「車社会の金沢市で、金沢駅から徒歩30分、東金沢駅から10分の場所では到底歩いてもらえない」としております（金沢市スポーツ振興課談）。まずは、無料の大規模駐車場の併設を想定しないままでのスタジアム計画などありえないことを指摘いたします。 ・駐車場は通路抜きで1台4.5坪必要と言われており、通路を含めれば最低でも6坪程度は想定しておくべきですから、500台でも3千坪9,900㎡、金沢に近づけて1000台なら6千坪19,800㎡必要なわけで、これだけで現状の市場敷地の146,000㎡を超えてしまいます。それにスタジアム本体の面積が必要なわけですから、この余剰地にスタジアムを設置すること自体が物理的に無理なのであります。 ・これに対し、「公共交通機関を利用したらよい」という発想で「駐車場の併設は不要」などというのは、あまりにも市民の自動車中心の生活実態を知らない考えといえます。「泉外旭川駅から歩けばよい」というのも、2.1km、約40分（距離ソク調べ）を家族連れ子連れで歩けばよいというのでしょうか。秋田駅まではバスを使えというのでしょうか。車で来たときに、秋田駅周辺に無料駐車場があるとでもいうのでしょうか。まったく非現実的な空想話としか言いようがありません。あるいは「近くにイオンの駐車場があれば、それが利用できるじゃないか」という安易な発想もあろうかと思いますが、現在の市立体育館でハピネットの試合が行われるたびに、市から委託された案内人が何人も周辺の商業施設駐車場で整理にあたっているという事実をご存知ないのでしょうか（イオン側から「無料使用OK」の確約をとれるとでも思っているのでしょうか。BB秋田側が駐車場使用料をどのように考え、負担しようとしているのかを問い質して頂きたいと思います）。 ・本素案の策定者が、以上のことを知らず、また知ろうともせずに安直に駐車場について不問に付したまま、スタジアム整備を本素案に含めることは軽率の誹りを免れないと考えます。むしろ、これは2月のBB社の計画案を待ってのことといえますが、以上の諸点からは、市側は翻案は直ちに却下するのでなければ、結局はBB社も立ち行かなくなって退去となることは自明であり、建設自体が大きな無駄になると言わざるをえません。無料大駐車場の併設については妥協の余地のない論点といえます。（むしろJリーグ側が地方の実態を顧みずに、全国一律の硬直基準を押し付けることについては強い憤りを覚えますが、ここでの議論ではありません。） 	<p>新スタジアムについては、卸売市場の再整備と民間施設の整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果を目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、民間事業者に様々なメリットがある地域未来投資促進法の活用を念頭に検討を進めているものです。</p> <p>現在、ブラウブリッツ秋田の提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところですが、余剰地に整備する場合には、卸売市場再整備のスケジュールと整合を図る必要があることから、令和6年2月頃に提示される卸売市場再整備基本計画の素案を踏まえた新スタジアム整備計画がブラウブリッツ秋田から提案されるものと考えています。</p> <p>また、新スタジアムには、一定程度の駐車場を整備するほか、卸売市場や民間施設の駐車場の活用や家用車以外のアクセス方法の充実などを考慮して検討してまいります。</p>
------------	--	---

137	<p>12ページ新スタジアムについて</p> <p>新たなサッカー場など必要ない、既存の施設で充分です。ブラウブリッツ秋田が建設費用を出して建設するのならば、何も問題はないが税金使ってまで建設するなど論外である。</p> <p>今はサッカーが人気（しかし秋田市民の半数以上とはとても思えない）なのかもしれませんが、一時的なものでしょう。</p> <p>J1だかJ2かだかわかりませんが何時でやれるのかもわかりません、建設費や維持費など考えてください、絶対に割に会いません。ましてやその施設に県外から人が集まるはずがありません（交通が不便であるため）。</p> <p>とにかく、サッカー場に関しては止めてください、お願いします。</p>	<p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進める事による様々な相乗効果なども目指しています。</p> <p>本市では、地域資源であるトップスポーツの力を原動力に、地域意識の高揚や都市イメージの向上、交流人口の拡大につなげるよう取り組む必要があることや、市民がライフステージに応じて気軽にスポーツを楽しみ、健康や生きがいづくりができる環境整備を推進する必要があることをスポーツ分野における課題と捉えており、新スタジアム整備はこの課題解決に向けた官民連携で進める取組です。</p> <p>引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組むとともに、県民、市民の理解が得られるよう努めてまいります。</p>
138	<p>スタジアムは私達市民の税金が多く投入されるので現状では必要ない。要請書を出した市民だけが必要なので過半数以上の市民は必要ないと感じます。実際市民にアンケート調査をして過半数の賛成や必要性・重要性・効果性・経済性を考えて計画していないことが問題です。</p> <p>必要ない理由は、</p> <p>①このまちづくりは他地区には当てはまらないこと。提供する農地や敷地がないこと。</p> <p>②今後加速度的に少子高齢化が進み利用する市民や外旭川まで行ける人が少なくなること。</p> <p>③他地区は今ある施設や運動場、小学校広場、公園などを修繕・改修して利用した方が便利で費用がかからないこと。</p> <p>④市長はコンパクトシティをこれまで推進して多額の公費負担は望ましくないとやってきたこと。</p> <p>⑤市債である借金をこれ以上増加させないで、ソフト面で知恵と工夫が重要であること。</p> <p>⑥昨今の自然災害の発生で市民は、身近な排水設備や水道管、ガス管、道路棟のインフラの重要性を望んでいること。</p> <p>地域住民の意見も聞いても私と同様の意見を語る市民が多いこと。以上のことからスタジアム建設は一部の市民以外は必要性を感じていないこと。</p> <p>2</p> <p>スタジアムがなくても市民の健康づくりは可能であること。施設は建設すると、毎年の修繕維持費、人件費等運用経費が菩提にかかること。また、防災機能の強化は何処の地区でも必要なこと。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、人口減少下のもと、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものであり、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進める事による様々な相乗効果なども目指しています。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげたいと考えており、モデル地区で実証された取組そのものに留まらず、官民連携のあり方や民間のノウハウの活用手法についても波及させていきたいと考えています。</p> <p>また、本市では、地域資源であるトップスポーツの力を原動力に、地域意識の高揚や都市イメージの向上、交流人口の拡大に取り組む必要があることや、市民がライフステージに応じて気軽にスポーツを楽しみ、健康や生きがいづくりができる環境整備を推進する必要があることをスポーツ分野における課題と捉えております。新スタジアム整備は、この課題解決に向けた官民連携で進める取組であり、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組むとともに、県民、市民の理解が得られるよう努めてまいります。</p>
139	<p>・卸売市場の新築とイオンタウンは大賛成である。これからの秋田市にとって大事であり夢もある。</p> <p><サッカー場は大反対></p> <p>・多額の税金で、建設には反対である。どうしても必要であるならば、雄和にある競技場を改修、10,000人収容、その他に改修する。秋田開催はせいぜい入って3,000人」位程度しか入場者がいない。日本サッカー協会の「シバリ」は、地方の自治体にとっては、とんでもない「シバリ」である。この様な「シバリ」を続ける限り、国民・県民から支持されない。知事・工藤県議・秋田市長・市議らは自分の票を大事に考え、県民・市民のことは考えていない。</p> <p>・今後は、建設後の維持費を公にすべきである。赤字になれば、当然、知事・市長・工藤県議・秋田市議に支払ってもらう事。</p> <p>・この7月、大災害にあった秋田市。サッカー場への税投入より、太平側、旭川、各町内の排水等、国にたよるのはもちろんだが、秋田市が先頭きって、具体的な行動をとるべきだ。何でもそうだが、市は、口を開けば「予算がない」と言われる。再検討すべきである。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものであり、その整備場所については、県とともに様々な検討を行ってきましたが、八橋運動公園など候補地となった土地にはいずれも課題があったことから、本市ではスタジアム整備を外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に行うことによる様々な相乗効果などを目指し、検討を進めているところです。</p> <p>新スタジアムの事業費や県・市の負担額および整備後の維持管理費についても、現在、検討を進めているところであり、引き続き県やブラウブリッツ秋田とともに新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組むとともに、県民、市民の理解が得られるよう努めてまいります。</p>

140	<p>「外旭川地区まちづくり」の中の新スタジアムについて述べます。 基本計画の新スタジアム建設を白紙に戻してください。 新スタジアムの件が計画をこじらせているように思います。 私の認識では、八橋陸上競技場が老朽化しており改修するより新設の方が良いのでは、ということで現在の場所に新設だと思っておりました。 いつの間にか新設場所が外旭川ですが、私は新設にはこだわりません。サッカーのサポーターの全員が新設を望んでいるわけではありません。 新スタジアムの着工頃、新秋田市立体育館が先だ、になりませんか。いっそ体育館にしませんか。賛同する方は多いと思います。穂積市長の公約である新スタジアムについても「いつかの日」の新設で、外旭川新スタジアムの白紙撤回にクレームはあまり出ないと思いますので、勇気を持って白紙に戻してください。</p> <p>Jリーグとの件について 社会情勢（大雨災害など）を鑑みた場合、現在地の改修が良いと思います。陸上競技場として使用する場合でも、あの『和式トイレ』の改修は必須でしょう。今の時代は競技者だけでなく観覧者の使い勝手が良いことが競技施設に求められています。 Jリーグ仕様に合わせた八橋陸上競技場改修を速やかに始めるようお願いします。 行政によるJリーグ資格剥奪は避けてください。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものであり、その整備場所については、県とともに様々な検討を行ってまいりましたが、八橋運動公園など候補地となった土地にはいずれも課題があったことから、本市ではスタジアム整備を外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果などを目指し、検討を進めているところです。</p> <p>引き続き、Jリーグに対して進捗状況を随時報告し、理解を得ながら、クラブライセンスが不交付とならないよう、県およびブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>なお、八橋陸上競技場については、市民をはじめとした利用者の利便性向上の観点から、トイレの洋式化などに取り組んでまいります。</p>
141	<p>1章 基本計画の位置づけ、目的、イオンタウンを事業パートナーとする官民連携に賛同する前提で以下記載いたします。</p> <p>・3章 8 温浴施設運営予定のアクアイグニス社は他県での実績が複数あります。ショッピングモール併設でスタジアム近くで温浴・サウナを楽しめる場所は全国的にも少なく、実現すれば非常にインパクトがあります。実際に野球場と温浴施設を組み合わせて開業した、北海道北広島市のボールパークは盛況です。</p>	<p>引き続き、交流人口の拡大による新しい活力と魅力づくりを目指し、まちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
142	<p>18ページ 8 施設整備（民間施設整備） 外旭川地区につくるとなると車を持っていない大学生は気軽に行くことが難しいのではないかと考えました。</p>	<p>モデル地区へのアクセスについては、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えております。</p>
143	<p>18ページ ホテルなどは周辺に観光地などがなく、ホテル滞在型リゾートなどでないと集客は見込めないのではないかと。 イオンはこの地域にもあり、最初はいいが観光の目玉とはならない。 農園なども持続可能な取り組みができるのか。 老人施設などの施設の方がいいのではないかと。 秋田県民が来たいと思う施設エリアであればいいが、周りに意見を聞いても、不安視する声が多い。 男鹿市の無印など、最初はいいがという施設も散見される。 計画の時から今後の展望に不安があり、大雨関係の予算削減の中、理解が得られてないまま着工せずとも良いのではないのでしょうか。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えております。</p> <p>また、モデル地区の民間施設については、滞在型のホテルなども含め、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、魅力あるまちづくりとなるよう取り組んでまいります。</p>
144	<p>18ページ 県内事業者の参画を増やし、経済効果が結果的に県外資本へ流出していきたくないようにはしてほしいです。 建設前に入居テナントを固め、十分にニーズをヒアリングしてほしいです。なかいちのようにテナントが次々撤退することだけは避けなければならないと思います。</p> <p>報道レベルの知識しかなく理解不足かもしれませんが、岩手県紫波町のオガールをはじめ、公民連携が注目されている中で、ある種逆行するような施策にも見えてしまっているため、従来のハコモノと違う部分を、よりPRいただけると安心できます。</p> <p>思いつくままに書いてしまい申し訳ありません。地域住民との対話は面倒も多いと思いますが、市民が単にお客様にならないためにも、建設までも建設後も、様々な市民が関わることでできる機会を創出することが大切ではないかと思えます。</p>	<p>民間施設の事業主体などについては、事業パートナーであるイオンタウン株式会社が市内・県内企業も含め、様々な企業と交渉を進めているところであり、モデル地区整備における工事・運営面においても、地元企業の振興に寄与することが期待されることから、事業主体に対し、積極的な地元企業の起用を働きかけてまいります。</p> <p>また、モデル地区における民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、こうしたモデル地区の方向性や取組などについて、引き続き、市民の皆様への丁寧な説明に努めながら、モデル地区整備の実現に向けて取り組んでまいります。</p>

145	第3章 8 施設整備 ソニーの体験・参加型アミューズメント施設と、あきた発酵文化研究会が楽しみです。わらび座の常設公演は反対です。自宅から遠いですが、こどもが遊べる施設があれば(特に屋内)行く機会が多くなりそうです。	引き続き、交流人口の拡大による新しい活力と魅力づくりを目指し、まちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。
146	18ページ 3章 民間施設整備 22ページ5章「地域への経済効果」で総事業費(建設費)が記載されているが、このうち18ページの民間施設については事業費が記載されていない。事業の実現性を明らかにするためにも、エリア毎に施設の事業費を明示していただきたい。	記載している建設費は、卸売市場、新スタジアムおよび民間施設の建設に要する設計費、工事費、工事監理費のほか、土地の造成費、卸売市場の既存施設の解体費など、モデル地区の整備費であり、卸売市場約183億円、新スタジアム約90億円、民間施設等約807億円の総額約1,080億円となっております。 なお、この経済波及効果については、令和5年11月時点での数値を基に算出しており、今後、整備内容の変更や経済情勢等により変わることも想定され、市の負担についても変更となる可能性があります。
147	19ページ 9 施設整備 (2) 開発許可 ウ 農業用排水 土地改良区等の手続きについては誤りのないようご指導をいただいて正しく行うよう指導をお願いします。	モデル地区整備に伴う農業用排水機能の確保については、事業主体となる民間事業者が開発許可申請手続きの過程において、関係する土地所有者や土地改良区の同意を得ながら適切に進めるよう指導してまいります。
148	P19 もし建設したとして、周辺の交通渋滞を懸念している。特に横山金足線と秋田北インター線との交差点は右左折のレーンを増設したり延長したりするなど、改良していただきたい。	道路整備等については、令和5年7月に実施した交通量調査結果および民間施設や新スタジアム整備により新たに発生する将来交通量の増加を勘案した上で、周辺道路へ影響をおよぼさないような対策を検討してまいります。
149	19ページ 3章 インフラ関係 また、周辺の道路整備や上下水道などのインフラ関係を含め本計画において秋田市がどの程度の費用を負担するのか明示していただきたい。	モデル地区内のインフラ整備費については、原則として、事業主体となる民間事業者が負担する必要があることから、現時点では事業パートナーであるイオンタウン株式会社が負担することを想定しています。
150	9 施設整備 周りが水田地帯であること、また新しい施設も農地を利用することについて、今年の水害を考えると、今後も集中的な降雨災害が想定されると思います。大きな川はありませんが、排水のしくみは十分に検討されなければなりません。また、逆に雨が降らない時の水の確保も必要かと思えます。人の集まる場所を新しく作っていく上で、多様な天災も考慮した整備を望みます。	雨水対策については、令和5年7月の大雨による被害を踏まえ、事業主体となる民間事業者が調整池を整備するなど雨水処理方法を検討した上で、施設管理者と協議を行い、適切な対策を講じることとしています。
151	・新しいインフラは設備投資にも維持にも金額がかかりすぎます。今あるものをしっかり整備して災害にそなえてほしいと思います。	事業主体となる民間事業者が道路等の既存ストックを有効に活用しながら、開発基準に基づいたインフラ整備を行うこととしています。
152	3章 9 施設整備(インフラ) 19頁 計画エリアしか考えていないようですが、外旭川地区全体を見て欲しい。 秋田北インター線・横山金足線や天徳寺通りは、現在でも交通量が増えつつあり、地区住民の生活に支障をきたしている。 「2 モデル地区」にあるように、都市計画道路 泉外旭川線の整備が急がれます。 クルーズ船の誘導路が計画されているが、生活道路にはなっていない。 横山金足線の片側三車線化も考慮する必要がある。農業用水路も考慮しなければならない。 7月の豪雨で草生津川は氾濫し、旭川にも被害をもたらしている。民間事業者任せではなく、市は災害対策をしっかりと講ずる必要がある。	民間施設や新スタジアムの整備により新たに発生する交通量への対応については、現況交通量の調査結果も踏まえた上で、道路整備の必要性について検討してまいります。 また、雨水対策については、令和5年7月の大雨による被害を踏まえ、事業主体となる民間事業者が調整池を整備するなど雨水処理方法を検討した上で、施設管理者と協議を行い、適切な対策を講じることとしています。
153	P19 9 施設整備 (1) 道路整備の方向性 道路インフラの整備はこの地域全体に影響するものと考えます。 検討か所のみならず、泉・外旭川駅周辺を含めた調査を(仮称)外旭川地区まちづくり協議会に盛り込むのか。	まちづくり協議会が、直接、調査を実施するものではありませんが、民間施設や新スタジアムの整備により新たに発生する交通量への対応については、現況交通量の調査結果と新たに発生する交通量を勘案した上で、道路整備の必要性について検討してまいります。

○4章 地域未来投資促進法の活用

No.	意見	回答
154	<p>p 2 3の未来投資促進法の記載を削除するか、農地法や都市計画法の手続きを前提とした整備の記載を併記する必要があるものと考えます。</p> <p>本計画は単なる一企業の大規模商業施設の開発事業であり、未来投資促進法の趣旨に反する内容です。そもそも当該申請は県と市の共同提案であるものとされていますが、いまだに本計画について県側の動きを目にしたことはありません。このような中でここまで市が主導してしまっている計画は、そもそも共同提案とはいえません。今後、国の承認はおろか、申請できるのかすら不透明です。既に県と市の共同提案であって、当然に承認されるかのような記載は控えるべきです。本基本構想が未来投資促進法の活用ができないこととなる場合も想定し、既存の法律の運用に即した整備計画とそのスケジュールについても言及すべきと考えます。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあっても、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えております。</p> <p>地域の特性を生かした事業の生み出す経済的効果に着目し、これを最大化するための支援を行う地域未来投資促進法は、市と民間事業者がそれぞれの役割を担い、官民連携によるモデル地区の整備を進める本事業において、その目的が合致するものであることから、まずは同法を活用し、モデル地区整備の実現を目指してまいります。</p>
155	<p>4章</p> <p>法令はその時々国民の為に有るものにして、利益享受の為に変更することは当然許されるべきものと思料します。</p> <p>地域、秋田全体の繁栄に繋がるものならば、改めるのは当然と思われまます。</p>	<p>いただいたご意見は、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指す外旭川地区のまちづくりの具体的な検討を進める中で、参考にさせていただきます。</p>

○5章 地域への経済効果

No.	意見	回答
156	<p>P22 経済波及効果 来場者数</p> <p>2023年ソユースタジアム観客数約66,000人</p> <p>将来的に、年間約821万人のうちサッカー観客は20万人程度（1試合1万人）とみているのか。</p> <p>従業員誘発数</p> <p>完成後の従業員誘発数が3,423人と予想しているが人口減少県で、高齢化・少子化の進む中、確保・方法等はどうか考えているのか。</p>	<p>今回の経済波及効果の推計におけるスタジアムの来場者数は、Jリーグ公式戦1試合当たり5,000人、試合数25試合（リーグ戦21試合、カップ戦4試合）と仮定して、12万5,000人と見込んでいます。（1試合5,000人は、本市総合計画などで設定している目標人数です。）</p> <p>また、モデル地区整備後の従業員等の確保については、事業パートナーや関連する事業者と情報交換を行い、雇用・労働に関する関係機関等からも助言をいただきながら進めていきたいと考えています。</p>
157	<p>【P22】</p> <p>地域への経済波及効果について</p> <p>①この試算を行った調査主体名を公表するとともに、詳細な試算内容や試算根拠、算式等も明示していただきたいと思います。</p> <p>②「マイナスの影響も懸念される」という一文がありますが、どの程度のマイナス影響がどこに見込まれるのか、具体的な数字を明示していただくとともに、マイナスの影響に対する市としての対策を明確にいただきたいと思います。</p> <p>③マイナスの影響が金額で明示できる場合は、その分を控除した額が実質の経済波及効果になるものと考えます。</p> <p>④本施設を新設することで、商業施設の主体的整備者となるイオングループは、秋田市内及び近隣地域に複数のグループ傘下商業施設を保有していますが、それらについて今後どのような方針で臨むのかを明示していただきたいと思います。これは方針如何では他の地域の消費者に大きな影響が及ぶ可能性があると考えられるためです。</p>	<p>今回の経済波及効果は、本市が外部の専門機関に委託し、秋田県産業連関表「経済波及効果分析ツール(107部門)」を基に試算を行っており、モデル地区整備による経済波及効果の内容等についてもわかりやすいものとなるよう、記載方法等を引き続き検討してまいります。</p> <p>また、モデル地区の整備により、中心市街地や御所野地区など既存商業施設等においては、売上や来店客の減少など、マイナスの影響も懸念されますが、こうした影響を最小限にするため、モデル地区の民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、事業パートナー関連の商業施設も含め、既存商業施設等との棲み分けを図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や既存商店街等にも波及させてまいりたいと考えています。</p> <p>なお、マイナスの影響については、本業務の受託者においても、具体的な数字を算出することは困難とのことであり、他都市においても算出した事例がないことから、具体的な金額を示すことは難しいと考えています。</p>
158	<p>秋田市を活性化させる取組が必要であることは十分理解できますが、この計画を実行する必要があるのか分かりません。秋田市が税金を使って事業をするのであれば、以下の観点を明らかにする必要があると思います。</p> <p><22ページ 地域への経済効果></p> <p>1 建設費が約1,080億円とありますが、秋田市の負担額（税金）およびどの建物にいくら税金を使うのか明示してください。また、建設費等が高騰している現状から、現時点での建設費を再計算し、秋田市の負担額（税金）およびどの建物にいくら税金を使うのかを明示してください。</p> <p>2 建設費以外の事業費（支出）はないのでしょうか。また、総事業費等に「来場者による消費支出額」が記載されているのは何故ですか。「来場者による消費支出額」は経済波及効果の方に入らないのでしょうか。</p>	<p>記載している建設費は、卸売市場、新スタジアムおよび民間施設の建設に要する設計費、工事費、工事監理費のほか、土地の造成費、卸売市場の既存施設の解体費など、モデル地区の整備費であり、卸売市場約183億円、新スタジアム約90億円、民間施設等約807億円の総額約1,080億円となっています。</p> <p>このうち、市の負担は、卸売市場の再整備に係る約183億円のほか、新スタジアム整備に対する一定の支援を見込んでいます。</p> <p>また、民間施設については、民間事業者が整備することを基本としていますが、管理・運営費等については、具体的な取組内容と合わせ、市の負担についても検討してまいります。</p> <p>なお、この経済波及効果については、令和5年11月時点での数値を基に算出しており、今後、整備内容の変更や経済情勢等により変わることも想定され、市の負担についても変更となる可能性があります。</p> <p>また、「(2)総事業費等」にある「建設費」と「来場者による消費支出額」は、いずれも、今回の経済波及効果算出において使用した「経済波及効果分析ツール」に投入するために必要となる数値として記載したものです。</p>
159	<p>22ページ 5章 地域への経済効果</p> <p>先づは地元の活性化には、将来を担う若者がいかに地元を愛せるか。モデル地区実現で確かに秋田では夢のある初の試みであり、集客もある程度保証され、若者達の期待大と想われます。新しい施設には誰も物珍しさもあり、一度は出向くとは思いますが、莫大な事業費に見合った施設なのか？ 何度も将来的に足を運んで見たいと思うような施設なのか？</p> <p>新スタジアムや民間施設の一体化で一時的には人流など保証されると思う。</p> <p>既存の商業施設へのマイナス面に対して棲み分けを図るとの事ですが具体的に示して欲しい。</p> <p>モデル地区が現実化したら、先づは若者の才能を信じ県内外の優秀な人材を認め大いに意見を取り入れ、地元にも自分達を必要としてくれる…と言う自覚を持たせ、地元を誇りに思えることが何よりも成功に繋がり、活性化につながるのではないのでしょうか。</p> <p>知名度の高さより、将来を担う若者に大いに仕事を与えることを切に願います。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりでは、若者が将来に希望を持ち、「これからをこのまちで暮らしていきたい」と感じられるような新しい活力や魅力を創出することを目的の一つとしており、モデル地区の民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存商業施設との棲み分けを図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や既存商店街にも波及させていきたいと考えています。</p> <p>また、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に行うことによる相乗効果なども目指しており、引き続き、様々な方々のご意見を伺いながら、魅力あるまちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
160	<p>P22 地域への経済効果</p> <p>来場者数約821万人!! 秋田県の今年の人口が約94万人。約10倍の人が来場するんですね。でも年々人口が減少しているがJリーグ観戦者がこんなにもいるとは考えられないのですが。経済効果、鯖読みすぎではないのでしょうか。疑問です。</p>	<p>モデル地区の来場者は、民間施設等に主に買い物で訪れる「一般利用」約539万人と主に観光で訪れる「観光利用」約269万人、また、新スタジアムの来場者については、本市総合計画などで設定している目標人数である1試合当たり5,000人と仮定し、Jリーグ公式戦25試合で約13万人の合計約821万人と推計しています。</p>

161	<p>22P 5章 地域への経済効果</p> <p>1 経済波及効果</p> <p>総事業費の1,080億円は、物価高騰の中でこれ以上になる事はないでしょうか？また、建設による効果は掲載されていますが、建設後の維持費や設備運営に関わる費用に対する税金負担は年間どのくらいになるのか不明です。それを踏まえて、将来、秋田市で生活して納税をしていく現在の若い人（年金受給者ではない）の意見を聞く事も必要と思います。</p>	<p>記載している建設費は、卸売市場、新スタジアムおよび民間施設の建設に要する設計費、工事費、工事監理費のほか、土地の造成費、卸売市場の既存施設の解体費など、モデル地区の整備費であり、卸売市場約183億円、新スタジアム約90億円、民間施設等約807億円の総額約1,080億円となっています。</p> <p>このうち、市の負担は、卸売市場の再整備に係る約183億円のほか、新スタジアム整備に対する一定の支援を見込んでいます。</p> <p>また、民間施設については、民間事業者が整備することを基本としていますが、管理・運営費等については、具体的な取組内容と合わせ、市の負担についても検討してまいります。</p> <p>なお、この経済波及効果については、令和5年11月時点での数値を基に算出しており、今後、整備内容の変更や経済情勢等により変わることも想定され、市の負担についても変更となる可能性があります。</p>
162	<p>22ページ 5章 地域への経済効果</p> <p>経済波及効果については、建設による効果約651億円、来場者による消費効果は約274億円／年と地域経済への大きな効果が示されたが、一方で既存商業施設へのマイナス効果が懸念されるところである。</p> <p>ついては、消費効果のうち、秋田市民によるものと、交流人口拡大による市外・県外からのもの（外貨）を、それぞれの程度見込んでいくのかを明らかにしていただきたい。</p> <p>また、こうした影響を最小限にするため、民間施設については交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討し既存商業施設との住み分けを図るとしているが、どのように住み分けを図るのか、その内容について具体的に示していただきたい。</p>	<p>今回の経済波及効果において算出した来場者による消費効果については、市外や県外などの区別はしておりません。</p> <p>また、モデル地区の整備における既存商業施設等との棲み分けについては、民間施設については、単なる商業施設ではなく、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、モデル地区で創出される新たなにぎわいを、中心市街地や既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p>
163	<p>22頁・地域への経済効果</p> <p>・本事業の経済効果について、素案には一応の説明がなされておりますが、それぞれが個別事業の売上規模計算にとどまり、それが秋田(市。市民・企業も含む)の経済にどう影響するかの考察がまったくなされておられません。それを把握するには、国でいえば「GDP＝国内総生産にどのくらい寄与できるか」を考察することになりますが、地方ですからGRP（Gross Regional Product）に置き換えられます。むしろ「そんな公式統計は出ていないし、出たとしても遅い」のは確かですが、いま考察すべきは「GRPへの影響度合」であって、GRP公式統計の有無は関係ありません。要するに、経済（波及）効果を調べるには、「本事業が、秋田のGDPにどのくらい寄与するのか」を明確にしなければいけないということです。</p> <p>・GRPは、地域経済を生産・分配・支出の三面にわたって記録するものであり、その三者は（様々な調整をしながらも理論的には）等しくなります（三面等価の原則）。売上規模でみるのは、提供側からいえば生産であり、受ける側からいえば支出（消費）であり、生産・支出がさらにどのように使われるかを分配といます。本素案では、その売上＝生産（それは支出でもある）にのみ着目し、その売上がどのように流れ、最終的に帰属するのか、すなわち分配面での考察がないために、ただただ売上規模を列挙しているに過ぎないわけです。したがって、ここからは何の判断もできないというべきです。</p> <p>・ところで、GRPをつくる大本になるのは、地域における資金の循環量であって、それが潤沢であれば生産も分配も支出も大きくなりやすいし、逆に、不足すればいずれも大きくなりにくいといえます（池から水を汲み出すのに、浅い池と深い池でどちらが汲み出しやすいかを想起されたい）。つまり、同じ事業規模でも、それが外から金を持ってくる事業か、外に持っていく事業かで、GRPに与える影響は正反対となります。域外で事業をして当地の本社に持ってくれば当地に資金が流入するし、当地で商売をして域外の本社に持っていけば、当地から資金が流出することになります。現実には、どんな事業も、事業地で買ったり売ったり（金を支払ったり受け取ったり）しますから、100%流入とか100%流出とかはありえないのですが、基本的には、その事業会社の資本が事業地のものであれば流入は大きくなり、逆であれば流出が大きくなるのです。つまり、当地のGRPへの寄与度は、事業会社の資本地（過半株式所有者の所在地）で決まるということです。これは意外に見逃されている点であり、本来はこの部分こそが最初に検討されなければならない問題といえます。</p> <p>・さて、本素案の事業主体は「イオングループ」であり、それは千葉市美浜区中瀬（幕張）にある「イオン株式会社」を純粋持ち株会社とする事業主体であります。つまり資本的には、イオングループの事業による収入は、生産（売上）と同時に、すべて幕張の本社（おそらくはイオン銀行）に電磁的に移動し、必要に応じてわが秋田の債権者に還流的に支払われる、ということです。域外事業者の当地における売上分は、すべていったん社外流出し、多くは翌月に、地元調達の代金、地元雇用者の賃金、地元地主等に支払う地代家賃等だけが、秋田に戻ってく</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新たな活力や魅力づくりを目指すものであり、当該まちづくりによる経済波及効果については、本市GDPへの影響なども含め可能な限り明らかにできるよう、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、モデル地区整備に当たっては、地元における経済的効果を高めるため、事業主体に対し、積極的な地元企業の起用を促すとともに、観光・集客施設等への出店においても、商工団体等の協力を得ながら、地元企業の参入について働きかけてまいります。</p>

	<p>るのです。残りはすべて域外流出です。商業ですから、地元還流分は多くても20%程度でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、仮に本素案の事業主体が地元企業であったとすればどうなるでしょうか。地元企業ですから、売上はいったんすべて地元（銀行）に残ります。そのうち、地元外に流出するのは、域外からの調達品・電気・資材等も含めて、できるだけ地元調達を心がけるとすれば、最大でも50%を超えることはないでしょう。つまり、事業主体がイオンであれば、80%が域外流出するのに対して、地元企業であれば、せいぜい50%にとどまるということです。 ・しかも、これは1年、2年のことではなく、本事業がスタートすれば毎年のことです。仮に「イオン外旭川店」が年商100億売るとすれば、毎年毎年80億が県外に流出し、その分は他の（商業以外も含めた）事業が県外へ打ち出で稼ぎとってこない限り増えることはないということです。（このように見てくれば、ジャスコ御所野店が開店した1993年以降、秋田の経済が横這い・下降となり、それは国のGDPが増えない中でも顕著に落ち込む結果となったことと、何の因果関係もないとは誰も言うことはできないでしょう。まして、御所野以外にも次々とイオン系店舗が増えていったわけです。） ・以上は、商業以外の業種においても理屈は同じです。域外資本の会社は、いったんは売上全額を外に持ち出し、必要な分だけ地元に戻し、地元資本はその逆であるということです。でも、地元では用意できない業種を利用することは避けられませんが、地元にも同業種がある場合には、極力それを利用して、それがどうしても不可能な場合にのみ、域外資本を利用することを考えるべきなのです。（そして、先に述べたように、そもそも中央街区から顧客を奪い取る形での外旭川開発はまったく理屈に合わないことといえます。） ・地元に残ったお金をどう使うかは別論としても、とにかく、域外資本の会社に事業をさせれば一方的に流出するという驚くべき事実に対して、果たして秋田市民・県民が無関心であって良いのでしょうか。穂積市長は「若者に夢を与える」と外旭川にゴーサインを出された訳ですが、果たしてこの事実をご存知でしたでしょうか。ご存知なかったというのであれば、今からでも本事業の恐るべき経済実態を理由に、決然と本事業からの撤退を明らかにすべきであります。それが将来に禍根を残さないための唯一の手段であり、穂積市長の決断一つでできる、最大の成長対策といえます。（事業の経済効果は、計画が具体化すればもっと詳しく算定し検討することは可能ですが、事業主体が域内か域外かでこれほど大きな違いが出てくる以上、議論はここまでと致します。） <p>以上です。よろしく申し上げます。</p>	
164	<p>5章</p> <p>今回の構想が具体化されますと、県全体の産業、医療、スポーツ、アグリカルチャーに大いなる浸透が見込めましょう。</p> <p>一時期土木関連の活性化が大いに認められるでしょう。</p> <p>土木建築関係の賑わいの効果波及は大きいでしょうから、秋田の衰退停滞を吹き飛ばす役割は大きいでしょう。</p> <p>何かをしなければ、退歩、停滞しかないのか。</p>	<p>モデル地区における民間の事業主体については、事業パートナーであるイオンタウン株式会社が市内・県内企業も含め、様々な企業と交渉を進めているところであり、整備における工事・運営面においても、地元企業の振興に寄与することが期待されることから、事業主体に対し、積極的な地元企業の起用を働きかけてまいります。</p> <p>引き続き、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指し、まちづくりのモデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
165	<p>p22</p> <p>スタジアムがあるからこそその「他県からの来県」がリーグ特有のアウェイツーリズムだと思います。そういう意味では、市単体ではなく県として観光機会ととらえ、活用すべきであり、経済効果は市だけでは終わらないと感じた。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりのモデル地区整備は、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的の一つとしており、モデル地区を起点として、本市への新たな人の流れとにぎわいを創出し、中心市街地をはじめ他の地域にも波及させていきたいと考えています。</p>

○6章 推進体制

No.	意見	回答
166	<p>p23 推進体制 （仮称）外旭川地区まちづくり協議会の設立はいつになるのか</p>	<p>まちづくり協議会は、モデル地区における施設整備や取組の具体的な内容について協議することとしており、令和6年度に地域未来投資促進法に基づく基本計画が国から同意を得られた後、速やかに設立する予定としております。</p>
167	<p>23ページ 6章 推進体制 中心市街地との相乗効果については、（仮称）外旭川地区まちづくり協議会を新設し、まちの発展と地域全体への波及効果を生み出す体制を構築するとともに、モデル地区で創出される賑わいを中心市街地や既存商店街に波及させる取組を継続するとの表現に留まっております。これから新設する（仮称）外旭川地区まちづくり協議会に一任するのではなく、事業主体において、どのような方策を立て、どの程度の相乗効果を生んでいくのかを明示していただきたい。</p>	<p>まちづくり協議会は、本市が事務局となり、事業主体がモデル地区において行う施設整備や取組の具体的な内容について協議を行い、地域の声やトレンドを踏まえた要望、改善策の提案などを行うことを想定しており、中心市街地との相乗効果についても検討・提案していくことを考えています。</p>
168	<p>6章 エリアマネジメントについては、地域住民団体等との協議は当然のこととして、利益享受に走りすぎないよう点検が必要となろう。 第三者委員等の参入は必要ないのかな。</p>	<p>まちづくり協議会は、本市が事務局となり、事業主体がモデル地区において行う施設整備や取組の具体的な内容について協議を行い、地域の声やトレンドを踏まえた要望、改善策の提案などを行うことを想定しており、中心市街地との相乗効果についても検討・提案をしていくこととなりますが、協議会には、商工団体や学識者などにも参画していただく予定としております。</p>
169	<p>6章 推進体制 2 中心市街地等との相乗効果 P23 フォンテAKITAや秋田市民市場の空きスペースが増えていて、今後が心配。 西武秋田店もやっていけるのか？</p>	<p>モデル地区整備により、市内の既存商業施設等においては、売り上げの減少や来客数の減少など、マイナスの影響も懸念されますが、こうした影響を最小限にするため、モデル地区の民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しています。</p> <p>また、既存商業施設等との一定の棲み分けや連携を図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や既存商店街等にも波及させていきたいと考えており、まちづくり協議会などにおいて様々な方からの意見も聴きながら、事業パートナーやモデル地区に参画する企業と協議を重ね、引き続き、中心市街地等の活性化にも取り組んでまいります。</p>
170	<p>6章-2 苦情が出ないように、中心市街地を持ち出したみたいで、今一度コンパクトシティの形成を具現化していくべき。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えており、モデル地区で実証された取組そのものに留まらず、官民連携のあり方や民間のノウハウの活用手法についても波及させていきたいと考えています。</p> <p>また、モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進める事による様々な相乗効果なども目指しています。</p>
171	<p>1章 基本計画の位置づけ、目的、イオンタウンを事業パートナーとする官民連携に賛同する前提で以下記載いたします。</p> <p>【最後に】 7章 事業スケジュール ・民間施設の整備を一日でも早めてほしいです。時間をかけるほど事業費が膨れ上がるのは明白で、反対派の政治家や団体が有効な対案を出せるとは思えません。また、本計画が頓挫した場合、最終的にブラウブリッツ秋田の解散も考えられ、そうなった場合の県内外のイメージは悪くなり、企業誘致も難しくなると考えます。</p> <p>秋田市長、秋田市議会、秋田市役所の皆さまは大変かと思いますが、本計画を早期実現し、外旭川地区住民はもとより秋田市民を安心させて頂けることを切に願います。</p> <p>以上です。</p>	<p>モデル地区整備については、地域未来投資促進法を活用するため、現在、令和6年3月末の国への申請に向けて、県と協議しながら地域未来基本計画の作成を進めており、国の同意が得られた後、モデル地区の土地の利用に必要な手続きを順次進めたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアム整備については、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

172	<p>7章 事業スケジュール</p> <p>資材や人件費が値上がりしていく事が見込まれますので、早めに着工できるようにお願いします。</p>	<p>モデル地区整備については、地域未来投資促進法を活用するため、現在、令和6年3月末の国への申請に向けて、県と協議しながら地域未来基本計画の作成を進めており、国の同意が得られた後、モデル地区の土地の利用に必要な手続きを順次進めたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアム整備については、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
173	<p>24ページ 7章 事業スケジュール</p> <p>また、大規模小売店舗立地法の届出の対象となるか否かも明らかにするとともに、対象となる場合はその内容を示し、事業スケジュールにも追記していただきたい。</p>	<p>同法に基づく届出のほか、他の法令で必要な手続きも含め、必要に応じてお示ししてまいります。</p>
174	<p>7章 事業スケジュール P24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の物価高で当初の予算が大幅に見直されることと思う。このスケジュールが順調に進むことを願うばかりである。 ・ただ、予算が見直される中で、予定した構想が進めなくなった時に、企画がチャチになり、市民や県民の思いとかけ離れた内容になることだけは避けたいものである。優先順位を明確に、大事なものは、なるべく予定通りに進めたいと考える。 ・さしあたっては、市場の整備であると考えているが、ブラウブリッツのことを考えると、がんばってくれている選手やサポーターたちのためにも、秋田の活性化のためにも、りっぱなスタジアムを作りたいものである。 	<p>モデル地区整備については、地域未来投資促進法を活用するため、現在、令和6年3月末の国への申請に向けて、県と協議しながら地域未来基本計画の作成を進めており、国の同意が得られた後、モデル地区の土地の利用に必要な手続きを順次進めたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
175	<p>P24.7章 事業スケジュール</p> <p>卸売市場再整備と新スタジアム整備を一体的に実施する事により、整備コストの削減または同等コストでより良い施設整備が可能となり、さらには工期の短縮にも繋がると考えます。</p>	<p>卸売市場と新スタジアムでは整備主体が異なるため、一体的な整備は難しいと考えていますが、卸売市場の再整備については、市場内事業者と協議を重ねながら、各施設の規模や機能について精査するとともに、工期短縮や事業費縮減についても検討しているところです。</p>

○その他

No.	意見	回答
176	<p>目次0頁</p> <p>卸売市場が、民間施設と新スタジアムでトライアングルになっていますが、1/3を担う機能を持ち合わせていないと考えます。末代に禍根を残すとは考えられません。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下において、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果も生かし、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
177	<p>この計画に反対です。全ての施設が秋田特有の中途半端な施設になる事が想像できるからです。商業施設なら商業施設のみで建設してほしい。そもそも役所が介入する必要はなく民間に全て任せればいいだけの話で、役所は建設するための手続きを粛々と進めればいいだけの話です。余計なことはやめていただきたい。最初はイオン出店計画だったと記憶していますが、なぜかスタジアム建設の計画が追加され、建設予定地も二転三転とし、益々訳がわからない計画になってしまったと感じます。話しは少しそれますが、一民間企業であるサッカーチームの要望に秋田市がそこまで応える必要があるのか？大変疑問に思います。外旭川地区にも暫定のホームスタジアムの八橋陸上競技場も秋田市が税金を投入して建設又は改築整備する必要は無く、秋田市をホームスタジアムとする必要性すら感じません。チーム母体であったTDKの城下町である由利本荘市やにかほ市にホーム移転を呼びかけるべきと考えます。今日秋田市の人口30万人を割ったと言うニュースがありました。今まで増えることなく減ってきた事実から今後増える事はないでしょう。それに伴いこれからの秋田市は市民生活に影響を少なくしながら縮小していく事を考えないといけないと思います。外旭川地区の開発計画は当初は秋田市内にまたイオンが出店して買い物や遊ぶ所が増えて楽しみだと思っていたのですが、中々決まらない苛立ちさとコロナ禍や今年の秋田市の水害を経験して果たしてこのままイオンが立ち観光交流施設やスタジアムが本当に必要なのかと考えるようになりました。最初に述べたように現行の計画であれば反対、中止の考えです。商業施設は民間主導で整備をして、観光交流施設やスタジアムは必要なし。スタジアムは由利地方へ移転。八橋でも必要なし。秋田市は必要以上に球団と関わる必要なしと考えています。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、大規模商業施設を整備するものではなく、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、人口減少下においても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的としており、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果なども目指しています。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
178	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月末までに、国への認可申請をどのようにまとめられるのかを楽しみにしています。 ・私の周りでは、市の対応テンポが遅いという意見が大勢で私も同意見です。人件費だけがかさんでいるという印象がぬぐえません。 	<p>モデル地区整備については、地域未来投資促進法を活用するため、現在、令和6年3月末の国への申請に向けて、県と協議しながら地域未来基本計画の作成を進めており、国の同意が得られた後、モデル地区の土地の利用に必要な手続きを順次進めたいと考えています。</p>
179	<p>・イオンについて</p> <p>イオンタウン能代は事前説明では2階建ての予定だったが、1階建てとなり2021年11月にオープン。</p> <p>それなのに開業時にテナントが埋まらず、店内はスカスカ。客もおらずガラガラ。</p> <p>ロボット掃除機だけが悠々と通路を歩いていました（失笑）。</p> <p>周囲は原っぱ。ここにイオンタウンを建てる必要性はあったのか？</p> <p>イオンモール大曲・イオンスーパーセンター横手南店も多くのテナントが撤退して見事に店内スカスカです。</p> <p>大曲・横手南店は空きテナントのスカスカ・スペースを利用して、2022年7月10日投票の参議院議員通常選挙の期日前投票所が設置されていました。</p> <p>イオンモール秋田もコロナでテナントの撤退が相次ぎ、店内の空き店舗が目につきます。</p> <p>それなのに更に、外旭川にイオンを建設する必要はない。</p> <p>2023年11月に秋田市の人口が30万人を切り、今後は消費が縮小していく一方です。近々秋田県の人口も90万人を切るでしょう。</p> <p>これ以上、秋田にイオンは不要！</p> <p>まず既存施設（イオン）のテナントを埋めてからにしてください。</p> <p>外旭川にイオンができたら雇用機会の創出と言うけど、ただパートが増えるだけ。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下において、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区における民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存の商業施設等とは棲み分けを図るとともに、イオングループ以外にも、市内外の様々な事業者が参画する予定であり、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p>

<p>180 全体を通して 卸売市場スケジュール次第では大幅な遅れが生ずる可能性が予想されます。今、物流は大きく変化してきており卸売市場のあり方にも影響を及ぼしていくものと考えます。 この外旭川地区の開発については、まず、卸売市場のあり方、再整備を優先し取り組むべきではないでしょうか 集客施設等については事業パートナーを組むイオンタウンに任せ、まずは卸売市場再整備をメインに取り組んでほしいと思います。 外旭川地区まちづくり事業計画が公表されてから時間が経過しています。完成するまで時間がかかりすぎています。あまりにも遅いと感じています。首都圏は5年で計画から完成までやれるのに、何故秋田はできないのでしょうか。 完了する頃には、市の主だった責任者の方は退任していることと思います。外野の声に振り回されず、粛々と取り組んで頂きたいと思います。 私は外旭川地区まちづくり事業に賛成するものです。 今年、千葉幕張地区集客施設を見てきました。 マリーナスタジアム、メッセ等とイオンの巨大モールがうまく連携し、多くの人が集う様子を見てきました。秋田でも出来るはずです。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備することとしたものです。 このうち、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところではありますが、卸売市場の規模や機能、動線を優先するとともに、卸売市場の工期を踏まえたスケジュールを検討する必要があると考えています。 また、モデル地区における民間施設については、モデル地区の方向性を踏まえて事業パートナー等と協議を重ねているところであり、引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>181 秋田市の人口がついに30万人を下回りました。非常に残念です。このまま衰退していく秋田市は見えてられません。何もしなければ、ただただ進行していくばかりです。 そこで私はこの計画に大きな期待を寄せております。 私は素人なので法的施策的なことは詳しく分かりません。ただ、この基本計画を拝見するにあたりまして、期待は大です。多くの若者が県内に移住してくるような状況になれば良いと思います。 あとは、環境と交通渋滞問題をもっと明確にされたら、十分かなと思います。</p>	<p>今後、民間事業者が作成する地域経済牽引事業計画において、ゼロカーボンに関する取組についてより具体化を図るとともに、渋滞対策についても、今年度実施した交通量調査や新スタジアム等の施設整備に伴い増加する交通量の見込みを踏まえながら、対応を検討してまいります。</p>
<p>182 私は「秋田市外旭川地区まちづくり基本計画」に反対です。 理由 ①当初の秋田駅周辺を中心としたコンパクトシティの構想に反する。 最近では駅周辺に建設予定のマンションが幾棟もあり、再び市の中心に人とにぎわいが戻ることが期待される。この機を逃さずに、一局集中で取り組んでほしい。また更に分散を推し進めるようなことはしないでほしい。人口減少が進んでいる秋田市に、多核的コンパクトシティの考え方はそぐわない。 ②税金を無駄に使わないでほしい。 少子高齢化が著しい秋田市において、今後税収入の増加はほとんど見込めないし、補助金等が税収入を上回る脆弱な秋田市の財政状況を鑑みても、税金の使い道には慎重を期してほしい。これからますます老朽化していくインフラ整備等に使わざるを得ないことを考えると、新たな街づくりに税金を投入する必要はない。 ③この計画の効果が期待できない。 ・観光・集客施設等に新鮮味がない。店舗も県内の道路を走るとそこかしこにあるもので、あらためて行きたいとは思わない。これで県内・県外から人を呼べるのだろうか。 ・雇用の創出には繋がるのだろうが、そのうち正規社員として雇用される割合はどれだけのものか、非常に懸念される。 ・他案の農園や多世代交流施設も、なんだかとってつけた感があるし、この計画自体、申し訳ないが「絵に描いた餅」のように思ってしまう。 ・この計画は、卸売市場の再編と新スタジアム建設の二つでいいのではないか。 今後の秋田市政に望むことは次のとおりです。 高齢者も、障害を持つ人も、子育て世代も、誰でも暮らしやすい街づくりを望みます。 ・インフラ整備をきちんとしてほしい。 今夏の大雨被害は、インフラ整備の重要性を改めて考えるきっかけになった。様々な災害への対策、老朽化設備の更新等、今後の計画立案と実行をきちんとして、安心して住める街にしてほしい。 ・水道水の安全を確保してほしい。 秋田魁新聞～声の十字路欄に掲載された、11月4日付「秋田市の水道水、調査や対策を」、11月16日付「安心して生活できる水道水対策を」に全く賛成である。このお二方に対する秋田市の回答を読んだが、すんなりとは納得できなかった。国の基準範囲であるから大丈夫と言われても、一度出た風評はなかなか覆せるものではない。移住者を募ろうとしても小さな子供を持つ親であれば、まず秋田市を選ばないだろう。せめて、「定期的に検査をして確認をしていく」くらいの回答がほしかった。</p>	<p>秋田駅周辺をはじめとする中心市街地についても、引き続き活性化に向けて取り組んでまいります。外旭川地区のまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。 モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果や、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心とした民間施設の整備により、新たなにぎわいを創出するとともに、官民連携による様々な取組を進めていきたいと考えております。 また、いただいた市政に対するご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪をスムーズにして、冬季間でも暮らしやすい街づくりをしてほしい。 ・市役所の手続き等のオンライン化をすすめ、窓口に行けない人も利用しやすいようにしてほしい。 	
183	最後に、様々なことを行い、目的を達成したい意気込みはあるだろうが、建設した後に見える未来が非常に不明瞭だと私は強く思う。今後計画をより良いものにして、この場所でしか体现できないというものを創り出してほしい。	引き続き、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指し、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。
184	<p>秋田中央卸売市場の建て替えは喫緊の課題であり、また地域スポーツを引っ張っているブラウブリッツの新ホームスタジアム整備には理解を示すが、それをイオンと組んで、商業施設とセットにして計画する必要性が全く理解できない。</p> <p>秋田中央卸売市場は現在地で整備する事で問題はないが、新ホームスタジアムの整備は費用も多額であり、スタジアム整備後にあえなくJ3に降格したギラヴァンツ北九州の例もあるので、県民や市民の理解が得られるのだろうかかと疑問を感じる。県内のアマチュアサッカー競技者があまねく利用可能な施設であればまだ理解は得られる可能性もあるが、現実にはホームチームが占有する事が殆どであり、公益性からすると逸脱気味ではないかと思う。</p> <p>商業施設についても、クルマ社会である秋田市においてイオンはごく身近に数店舗ある存在であり、人口減が現実的となった現在において新たに出店する必要性は希薄を感じる。イオンの立場からすれば今後エンptyネスターが増えるであろう御所野地区からシフトしたいとの目算もあると思うが、周辺の地元スーパーに与えるダメージは過大であると思う。当該計画を推進する上で私が考える最大のデメリットは、外旭川地区から地元スーパーが駆逐され、選ぶ楽しみがなくなってしまう事だ。よって当該計画の白紙撤回を求めたい。</p>	<p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果も目指しており、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題を解決するとともに、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田が中心となり、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムを目指してまいります。</p> <p>また、モデル地区における民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存の商業施設等とは棲み分けを図るとともに、イオングループ以外にも、市内外の様々な事業者が参画する予定となっています。</p>
185	<p>全体を通して</p> <p>なかいちなど見ていくとこういった施設を建設しても効果はうすいように感じます。こういった所にお金をかけるよりは保育料無料などに費用をかけた方が良いと思いました。</p>	外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげたいと考えています。
186	<p>卸売市場早期着工とまちづくりの見送り</p> <p>卸売市場は早期着工を希望しますが、余剰地は将来的な活用として残すことを提案します。</p> <p>いまや老朽化の県立スケート場、やがては八橋球場も老朽です。アクセスの悪いこまちスタジアムの後継地として、スケート場とともに予定地にします。スポーツ施設は広大な敷地が必要ですし、アクセスのよさが絶対です。スケート場、野球場利用観戦は市県民中心なので、泉外旭川駅利用でアクセス良好、この競技はシーズン重ならないので駐車場も兼用できるはず。サッカースタジアムはこの駅、バスもないので特にアウェーサポーターにやさしくありません。</p>	<p>新スタジアムについては、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果を目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つに位置付けたものであり、ブラウブリッツ秋田から、卸売市場の再整備によって生じる余剰地を候補地としたいとの提案を受け、現在、県とともに検討しているところです。</p> <p>交通面については、泉外旭川駅間との間でEV自動運転シャトルバスの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じた様々な対応が図られるものと考えています。</p>

<p>187 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画の素案にどうしてもモヤモヤ感がぬぐい切れません。</p> <p>それは、当初の計画の核である調整区域の開発地に大きな面積を占める商業・アミューズメント施設についての記述が少ないということです。もちろん「都市計画促進」の対象ではないからということかもしれませんが、商業施設にはあまり触れたくないのではと、つい想像してしまいます。また、そこに、卸売市場建て替えと新スタジアム建設が絡んできて、本来のまちづくりの目的である「人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくり」の優先順位が後退し単なるお題目にしか聞こえなくなったということです。新スタジアムと、商業施設ありきの計画ではないのでしょうか。開発地域のイオンタウンの農地賃貸の取り組みのスタートがあまりにも早く基本構想時点ですでに終了しています。民間との協働という触れ込みですがどうしても民間主導で進む危険を感じます。</p> <p>確かに、卸売市場は老朽化と取引量からみて縮小して建て替えをするのが妥当であり多くの市民は賛成するのではないのでしょうか。一方、新スタジアムの建設は、公共性云々は別にしても外旭川に建設すべきものなのではないのでしょうか。確かに協議会で3候補があがりましたが、いずれも否決されました候補の一つであった八橋地区で県が具体的場所まで示し、新スタジアム整備構想策定協議会も薦めたにも関わらず市が反対した理由が不透明です。今一度八橋地区建設に還るつもりはありませんか。</p> <p>「若い人に魅力ある街をつくってほしいという声がある」というのが外旭川モデル地区建設を市長が薦める背景のようですが、そのために36万㎡も市街化調整区域を開発し市街化区域にまでして実施しなければならないものなのですか。コンパクトシティを目指してきた（と思っていた）市長は記者会見で「コンパクトシティは市街地をひろげないことではない」と述べたと記憶しております。確かにまちづくりは人口密度が一つの指標ですが、果たして秋田市にその概念が当てはまるのでしょうか。そもそも市長は「（外旭川まちづくりは）市に全く寄与しない」の考えから「わくわくする計画」へと180度姿勢が変わっています。私自身は変化に対応すること自体はむしろ賛成ですが、民間事業パートナーであるイオンタウンの計画案のここが変わったからだとの明確な説明をすべきと考えます。</p> <p>懸念はまだあります。市街化調整区域の開発はこれで本当におわりですか。周囲に住宅が建設され拡大していきませんか。（現に開発地区にいびつな市街化区域凸が二か所あります）</p> <p>計画案22ページに経済効果651.4億、従業者誘発数3,423人とありますが駅前商店街、イオンショッピングセンター御所野店と競合はしませんか。</p> <p>加えて、7月の大雨は記憶の新しいところですが、こういう気候現象はむしろもっと多くなるでしょう。人口減少とそれによる財政の先細り、古くなる一方のインフラ設備等、課題は山積みです。このような状況下でモデル地区は果たして必要ですか。</p> <p>提案ですが、市役所内の職員で意見あるいはアンケートを実施したらどうですか。私共より広い視野で、市全体を俯瞰するような構想が出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>1日当たり1,124人（22年2月の市調査）、建設時の市の見込2,118人、見込みの3分の1、この数字は、市が悲願し20年3月に開発した泉外旭川駅の利用状況です。ここから見えるものは何でしょうか（コロナ渦中であることは重々承知しています）。</p> <p>外旭川に固執するのであれば、市が検討している卸売市場を取引高が適正な3分の2以下に縮小し余剰地に新スタジアムを建設する案に消去法ながら賛成せざるをえません。理由は秋田のために懸命に戦い健闘しているBB秋田を応援しているからです。ただ、モデル地区建設のための市街化調整区域開発は基本計画の中身を見る限り、金足線の南側だけで十分ではないのでしょうか。</p> <p>いずれにしても、今後も市主導で都度計画修正を加えるようですから、今後の秋田を背負う子供たちに寄与するものになるよう検証を繰り返しながら意義のある施設になるようお願いします。我々市民も見守っていきたいと考えております。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、単なる民間事業者による開発事業ではなく、人口減少下にあっても、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区での民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存商業施設とは一定の棲み分けや連携を図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や他の既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p> <p>また、新スタジアムについては、令和2年2月に秋田県と秋田市が取りまとめた「新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究について（最終報告）」において、候補地とされていた八橋運動公園については、第2球技場（スペースプロジェクト・ドリームフィールド）と健康広場の代替地の案がなく、設置は困難であると整理しており、市内には、他に必要な面積を満たす遊休地もないことから、卸売市場再整備および民間施設整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果を目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付けたものであり、現在は、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備による余剰地への整備を県とともに検討しているところです。</p> <p>なお、モデル地区のうち、市街化調整区域部分では、市街化調整区域のまま地区計画を設定し、建築物の用途規制を定める予定であり、無秩序・無計画な土地利用が進むことはありません。</p>
---	--

<p>188</p>	<p>秋田県の2022年県民意識調査によると、若者は魅力的な職場の確保をトップにあげています。このことから、さまざまな企業を秋田に誘致して安心して暮らせる賃金が支給されることを望んでいると思います。</p> <p>この度の「外旭川まちづくりモデル地区整備」の中身では、市と協働で取り組むパートナーのイオンタウンからの提案内容では、雇用について正規1,000人非正規3,000人と見込まれると提案されました。これでは若者が安心して就職できる状況ではないと思われます。これからは、非正規ではなく正規職員を採用する方向でなければなりません。</p> <p>基本計画素案では経済波及効果は建設時に約651億円、完成後年間274億円と見込んでいますがその根拠についてわかりやすく説明していただきたい。</p> <p>新スタジアム建設については卸売市場を建て替えた際に生じる余剰地に整備する方針ですが、これは間違っていると思います。あくまでも卸売市場の改築が、最優先でそれに関連する土地も必要になるからです。スタジアムの建設により、卸売市場の事業に悪影響する可能性も出てきます。</p> <p>私は人口減少が進んできている秋田市において、なぜこの事業を進めるのか理解出来ません。今、秋田市で一番やることは安心して秋田に住んでよかったですなあと考えることです。</p> <p>それは、第一は小中学校の給食費の完全無償化です。(年間12億円)青森市は既に実施しています。</p> <p>第二は中心市街地の活性化です。秋田駅西口の民有地「北第1地区」と「北第2地区」の開発です。これが実現すると秋田市の玄関口が一変します。</p> <p>第三はソユースタジアムの大改修を行いJ1やJ2の施設基準等をクリアすることです。この課題を解決することにより八橋地区は脚光を浴びることになります。全国から試合を観戦・応援する人達が多数やってきます。試合終了後この人達が中心市街地の飲食・商店街に繰り出すことが予想され活気を呼ぶことに繋がります。</p> <p>また、県は新県立体育館を八橋運動公園内に建設する計画を進めていて、これが完成すると一大スポーツゾーンが誕生することになります。</p> <p>よって新スタジアムの建設は必要ないことになります。</p> <p>第四は今年7月の大雨災害を経験したことから、市中心部の内水氾濫防止するため緊急に下水道整備に取りかかることが求められています。これからは災害が起こる可能性が十分予想されます。</p> <p>以上の状況から、「外旭川まちづくりモデル地区整備」事業より秋田市が、今一番大事な事業は、私が、提案した第一から第四までの事項を早急に検討して実行することです。</p> <p>まちづくり戦略室の誠意ある回答を期待します。</p>	<p>モデル地区では、市民が先端的サービスやデータの活用を気軽に楽しむことができる環境を整え、将来的には「子どものIT教育」「大学と連携したIT人材の育成」「企業への優秀な人材の輩出」などを旨とする「(仮称)チャレンジ・ラボ」や、開業を希望する若者等を支援するチャレンジショップなども計画しており、起業や地元企業の成長・発展を後押しするサイクルを形成し、若者の就業につなげたいと考えています。</p> <p>また、経済波及効果の「建設による効果」については、卸売市場、新スタジアムおよび民間施設の建設に要する設計費、工事費、工事管理費のほか、土地の造成費、卸売市場と既存施設の解体費など、現時点では、モデル地区の整備費として卸売市場約183億円、新スタジアム約90億円、民間施設等約807億円の総額1,080億円を想定して試算したものです。</p> <p>また、「来場者による消費効果」については、モデル地区の来場者を、主に買い物で訪れる「一般利用」約539万人、主に観光で訪れる「観光利用」約269万人、新スタジアムの来場者については、Jリーグ公式戦25試合で約13万人(1試合当たり5,000人)と推計し、来場者合計821万人による消費支出額約375億円を最終需要額として試算したものです。</p> <p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアム整備を前提として特例的に交付を受けているものであり、現在、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地への整備を県とともに検討しているところですが、卸売市場の規模や機能、動線を優先し、その結果生じた余剰地に整備する予定としています。</p> <p>また、いただいた市政に対するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>189</p>	<p>外旭川地区はスーパー、病院、介護施設等、住みやすい地区になりました。今回の大きな箱型の施設は外旭川地区住民より一時的な人集めの施設の建設と思います。それより、若い人達が住みつくような地域作りを望みます。公園や保育所、幼稚園を増やし、子供の育てやすい環境作りを希望します。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、放課後児童クラブやスポーツこども園なども検討しておりますが、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
<p>190</p>	<p>外旭川まちづくり構想という案そのものがコンパクトシティ構想と逆行しており、何のために中央道路を作ったのか。</p> <p>多くの市民が思っているのは目新しいランドマークや箱物ではなく、今ある街を住みやすく、持続可能に改善していくことではないのか。</p> <p>今年度の水害で、普段通る道で何ヶ所も売り家や更地になっている所を見掛けるが、きちんと現実的な対策を、それにかかる費用も含めて、1部の地域だけでなく秋田市全体で考えないと、これまで長く住んでいた人すら転居せざるを得ない状況になっている。</p> <p>その対策の見通しも市民に伝わっていないのに外旭川開発やスタジアムの話もされても全く理解をすることができない。</p> <p>穂積市長の地元である外旭川の開発は、利権絡みの自己満足に巨額の税金を投じるものである。</p> <p>人口減少率ワースト1と言われ、このままいくと100年後には秋田は消滅すると言われており、目先の見通しの甘い計画に税金をつぎ込むのはなんとしても止め、根本的な街づくりというものを考え直して欲しい。</p>	<p>外旭川地区におけるまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の発展にもつなげようとするものです。</p> <p>これからのまちづくりに必要な機能として、防災や減災などの視点も意識しながら、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりの実現を目指してまいります。</p>

191	<p>全体として</p> <p>基本計画が実行性の高い計画であるか否かを判断するためには、官と民がそれぞれの位の開発コストを負担するのか明らかにし責任の所在を明確にする必要がある。素案（案）では具体的に示されていない部分が多いので、最終案までに明示していただきたい。</p>	<p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。</p> <p>そのため、民間施設の整備については、民間事業者が負担して、整備や管理、運営を行うことを基本としております。</p>
192	<p>私は、秋田市外旭川地区まちづくり基本計画案に、反対いたします。</p> <p>人口減少が止まらない今の秋田市に、新たな土地開発が本当に必要でしょうか。</p> <p>コンパクトシティ構想に逆行する計画ではありませんか。</p> <p>特に新スタジアムは負の遺産となり得る可能性が高く、今後の市民生活に悪影響を及ぼすことになると思います。</p> <p>現在の八橋陸上競技場を使った2万人収容可能と言われるスタジアムで、ブラウブリッツの試合で満員どころか、常に2千人～3千人の観客動員の現実を踏まえると、計画にある新スタジアムの5万人で黒字を出すのは不可能と考えるのが筋ではありませんか。</p> <p>果たして今の秋田市の何処にそんな余裕があるのでしょうか。</p> <p>今年発生した二度の集中豪雨により、秋田市内の下水道インフラは問題を抱え、改修改善が必要なことは市民の誰もが知るところです。</p> <p>また毎年除雪の費用が常に不足している状況下で、市民生活よりも新たな開発にお金を掛けようとする計画の根拠に納得がいきません。</p> <p>かつて「なかいち」の開発時「にぎわい創出」という言葉が出ていましたが、それにより秋田市の人口減少は止まったのでしょうか。</p> <p>私は外旭川は、前回の市長選で落選し今は県議の武内伸文氏の構想したスマート農業のモデルにする案を実現化した方が良いと考えます。</p> <p>新スタジアムは新たに作らず、現在の八橋陸上競技場を活用して改修することを希望いたします。</p> <p>現在提示されている外旭川地区まちづくり基本計画案がそのまま実行された未来は、負の遺産による税金の流出が止まらず、それにより税金が上がり、我慢できなくなった市民のうち逃げることが可能な人、特に若い人たちが秋田市以外の地域へ転出することは目に見えています。残された市民は重税に喘ぎ、除雪も排水もままならない秋田市での暮らしを余儀なくされてしまうことでしょう。</p> <p>それは、北海道の夕張市の財政破綻の二の舞になりかねないということです。</p> <p>計画案の段階の「今」だからこそ、立ち止まり、見直すことを強く希望いたします。</p> <p>構想が出た時とは、明らかに状況が異なることに気づいてください。</p> <p>多額の費用を必要とする計画である以上、メリットばかりではなく、デメリットにこそ着目してください。</p> <p>秋田市に住む今と未来の子どもたちに、夢どころか、これから重くのし掛かるであろう負の遺産の現実を背負わせないでください。</p> <p>それでも強行するには、市民全員の意見集約としての「住民投票」の機会を設けてください。</p> <p>どうかよろしく願いいたします。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。</p> <p>新スタジアムについては、卸売市場の再整備および民間施設整備と一体的に進めることによる相乗効果などを目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つとして位置付け、検討を進めているものですが、ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、既存施設の改修ではなく、新スタジアムの整備を前提として特例的に交付を受けているものであり、現時点では、ソユースタジアム（八橋陸上競技場）をJリーグ基準に合わせて改修することは想定しておりません。</p>
193	<p>現在秋田県が人口減少し、更には秋田市の人口30万人切り正直娯楽が少なく都会に出た方が明らかに良い中で、イオンタウンさんがこのなんも無い秋田市にここまで事をしてくれ感謝しかない。これは秋田県秋田市がまた少しでも上に上がれるチャンスだと思う。</p> <p>スポーツでもサッカー、バスケ、ラグビーのクラブチームが秋田の為にここまで頑張ってくれてる。</p> <p>しっかりしたスタジアムを作ってあげて欲しい。</p> <p>若者の意見としては市や県のトップが酷すぎて不安を抱えています。</p> <p>1つぐらい+になるようなことをして欲しい。</p> <p>そしてこのプロジェクトで人口減少の歯止めを少しでもかけて欲しい。</p> <p>私はこのプロジェクトに大賛成です。</p> <p>自分の任期の時だけ耐えれば良いという腐った考えはやめて欲しい。</p> <p>スポーツ立県名乗るならプロクラブ支えてやって欲しい。</p> <p>大事な今は今どうするかではなく、将来秋田はどうなっているか</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、令和4年3月に実施した公募型プロポーザルにより、本市と協働でまちづくりを進める事業パートナーとして選定したイオンタウン株式会社とともに、モデル地区整備に取り組んでいるところです。</p> <p>このまちづくりの要素の一つである新スタジアム整備についても、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

194	<p>外旭川構想に賛成です。</p> <p>秋田の置かれている人口減少は、生活困窮者を生み出すだけでなく、経済活動にも相当な悪影響を及ぼします。</p> <p>この問題を解決する為には、移住定住促進だけではならず、抜本的な改革や取り決めが必要です。</p> <p>外旭川に一つのテーマパーク（遊園地やコストコがあれば尚良いが）が出来れば、県内のみならず県外からも人が集まり、またここから魅力発信を強く進める事で、移住したいという人が増えると思います。県外に出た学生や社会人も地元に戻る一つの理由になると思います。</p> <p>秋田はイージス配置を拒否しました。賛否あるものの、ある種地域活性化のチャンスを逃しました。</p> <p>小手先だけの対応でなく、長期的かつ抜本的に取り組むためにも、外旭川構想というチャンスを進める必要があると考えます。</p>	<p>モデル地区における民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設を中心に検討しており、新たなにぎわいの創出につなげるべく、引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
195	<p>細かいところの意見はありません。</p> <p>外旭川まちづくりプロジェクトに大いに期待している。</p> <p>2030年代前半、2033年までは全面開業できるように進めてほしい。</p> <p>スタジアムについては、野外音楽ライブもできるような仕様にして、こけらおとしは高橋優さんの秋田キャラバンミュージックフェスにしてほしい。</p> <p>秋田湊である土崎港との連携とともに、秋田の霊山、信仰の山である太平山の自然保護と観光トレッキングなどアウトドアと都市機能の調和を目指してほしい。</p> <p>秋田の若者がまちづくりに参加できる仕組みをつくと同時に、秋田の歴史、文化、民俗風習を学んで過去を知り、現状を把握して、未来を創造するモデルを試行してみしてほしい。土崎郷土史や外旭川郷土史、秋田市史と秋田県史など、まちづくりに地域文化芸術として柳田国男などの民俗学が貢献すると思う。佐竹史料館がリニューアルオープンするが、江戸時代の佐竹藩の新しいまちづくりは、中世の秋田領主である、秋田安東氏のまちづくりが土台となっており、連続している。</p> <p>秋田市の文化行政の中で、江戸時代の北前船交流と羽州街道と同時に、中世の秋田安東と秋田湊の歴史に注目して、歴史文化シンポジウムなど開いてほしい。</p> <p>外旭川地区も秋田安東氏が治めていた歴史があり、山王八橋の日枝神社の元の場所は外旭川にあって、何か所か移転して、今の秋田市役所近くに鎮座しているのである。</p>	<p>モデル地区における民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設を中心に検討しており、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
196	<p>今まではどちらかと言うと、中央や南部などの地区に大きな集客が見込めるショッピングモールや公共施設が作られて来たのでは。バランスから外旭川、飯島、土崎辺りに新しい集客、次世代の為の施設を建設するには適当な場所ではないでしょうか。秋田北ICからも泉外旭川駅からも近く比較的広い土地も確保出来る外旭川が候補にあがるのは必然ではありませんか(既存施設がもはやある人達は自分の地域、財政しか見ないので当然反対すると思われる)。その場所にショッピング、公共施設、スタジアムを一体として作るのは賛成です。スタジアムも様々な意見からグレードダウンして作るみたいなので、巨額の金額ですが、将来世代のスポーツ振興の為に必要です。雄和の県立は遠い、八橋は古くどの施設も使い勝手が悪い。県立体育館は、ほぼほぼ、すぐOKなんですよ？！様々な都市に行きますが、知事や市長などの趣味、趣向があらわれて施設を建設している話を結構聞きます。秋田市は秋田県はそんなこと無いと思いますが。イオングループなどが出資？してくれる今しか、チャンスはないのでは。スタジアムに限らず、次世代の人達に明るく住みやすい未来の為の施設であれば賛成します。ご検討願います。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果なども生かし、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>

197	<p>2ページ目、「集う はじまる ここから広がる」</p> <p>まちづくりのコンセプトそのものが全てだと思います。</p> <p>自分は今年県外から秋田に仕事のために移住をしてきました。</p> <p>ニュースでは毎日のように、県内の人口減少や若者の秋田離れを報じています。</p> <p>そんな時代に逆らうように秋田に引っ越してきた20代の若者としては、より秋田が活性化するためには、秋田の盛り上がり象徴する地域の創生とスポーツを使った健康増進の寄与は必ず必要だと思っています。</p> <p>自分はブラウブリッツ秋田というクラブがあったから、秋田という土地に引っ越してきました。</p> <p>新スタジアムだけでなく、外旭川地域が整備されることで生み出される盛り上がりは外旭川地区だけでなく秋田市内、県内の活性化につながると考えています。</p> <p>色んな問題があることは重々承知ですが、私たちの世代が今後家族を持ち、秋田の土地で子育てをしやすい環境を外旭川の整備を含めて醸成していただきたいと思います。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、官民連携による将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備し、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的としており、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる様々な相乗効果なども目指しています。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
198	<p>・今回の素案はあくまでも核と考えるべきであり、単体では経済、周辺市町村への人口流出、交流人口の増加は限定的だと思います。秋田北インターIC4km圏内の市街化調整区域を解除し、すでにコンパクトシティの参考にしている気がしますが、岩手県紫波町のオガールプロジェクトのように、今回の外旭川地区まちづくり計画を中心とした、該当地区周辺の土地に物流倉庫、他県本社の営業所誘致、住宅区画整備、商業施設、公園整備をすることで本当の意味での官民一体のまちづくりが完成するのではないのでしょうか？</p> <p>・計画内にある民間施設に関して、「放課後児童クラブ」ですが、外旭川の現在の人口、子供数考えると必要ないのでは？「住宅展示場」と有りますが、展示場を見た顧客は実際どこに建てるのか？等、民間施設の連動性というか必要性を今一度考えるべきだと考えます。</p> <p>・今回の目的が「人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築」「交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくり人口を増やすこと」とありますが、周辺人口を増やさなければ今回の計画はただの「大規模施設」になってしまう気がします。</p> <p>とりあえず今回の基本計画を進めながら周辺開発のために市街化調整区域を解除して周辺人口増加のための施策も視野に入れるべきと考えます。</p>	<p>外旭川地区におけるモデル地区整備は、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものです。</p> <p>また、地域未来投資促進法を活用し、市街化調整区域の区域区分の変更を行わずにモデル地区を整備することを想定しており、モデル地区内における民間施設については、引き続き検討してまいります。</p>
199	<p>この基本計画案を見ていて、とてもわくわくしました！</p> <p>なんにもない秋田市に、こんなに素晴らしいスタジアムや商業施設ができたら、人がいっぱい集まりますね。</p> <p>絶対あった方が良いでしょう。</p> <p>寒くて寂しい秋田市を元気にしてください。なぜ寒くて寂しいか、しっかり考えてください。</p> <p>面白いこと、してください。</p> <p>若い人の考えと、若い人の意見をしっかり聞いてください。</p> <p>秋田はお年寄りが多いので、新しいことへの反対の意見が多いかもしれません。</p> <p>でも、これからの秋田を創るのは、若い人です。</p> <p>子ども達の将来を考えてください。</p> <p>田んぼしかない秋田。外旭川。それでワクワクしますか？</p> <p>私は外旭川地区まちづくりに基本計画に賛成します。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあっても、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>

200	<p>まちづくりの基本計画案について意見を申し上げます まず、このように街が生き生きとなるような計画案を立てていただきましたことに感謝を申し上げます。</p> <p>人口減少が著しい秋田において今必要なのは、目的にもありました 目的1、人口減少にあっても持続可能な社会基盤の構築 目的2、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくり であることに同意した上で申し上げます。</p> <p>社会基盤を構築する中で、一番大切なのは人が集まるという事、と思います。</p> <p>「人がいる所に人が集まる」というのは基本中の基本ではありますが、その人の集まりを作るのは並大抵ではありません。</p> <p>先日ハピネッツが連勝の中、5千人を集めました。おそらく天気が悪かろうが寒かろうが動員は変わらないと思いました。スポーツの力は凄いと誰もが認識をしていると思います。</p> <p>スタジアムについて思う事は、Jリーグがいかに大きな存在かを考えた時、ブラウブリッツがJ2リーグにいるという意味合いが、とてつもなく大きなものと感じ、それを活かしたい、と切に思う次第です。自分の街にJリーグがあるというだけでも街の価値は変わってきます。学校や仕事で、また生活のために秋田を離れている人もブラウブリッツ秋田を応援しています。そして故郷を思う気持ちを更に大きくしています。</p> <p>秋田の人口は増やせなくとも、秋田を大切に思う人がこれからも増えていきます。</p> <p>それがJリーグなのです。</p> <p>その大切な大きな繋がりのためにも、秋田のサッカーは頑張っていけないといけません。期限があるものは期限に合わせる事が、頑張ってくれている選手やクラブへの最大の応援になると思います。</p> <p>秋田のスポーツ、サッカー、バスケット、ラグビー、それぞれのチームが一生涯懸命です。</p> <p>私はどのスポーツも大好きで応援に行きますが、選手のひたむきな姿に、また必死に応援する熱心な方々の姿にも感銘を受けています。こうして秋田に住む人たちが一つになっているということが嬉しくて仕方ないのです。なので充実した施設を是非よろしくお願いします。</p> <p>社会基盤の大切な部分は、秋田で生活する人達が「秋田が好き」であることです。</p> <p>皆が「社会を良くしよう」という気持ちになること。</p> <p>そのためには、未来の前に現在をもっと充実させたい、今が一番大事だと思います。</p> <p>秋田が好きになるために、今、充実している事、これが持続可能な第一歩ではないでしょうか。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、その要素の一つである新スタジアム整備についても、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
201	是非とも素案通り実行していただきたい。	引き続き、モデル地区整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。
202	<p>官民連携とあるが、主体がイオングループである。初期投資費用を出してくれるとはいえ、長期的に見て県民のお金がイオン本社に流れる、結果秋田市が貧しくなる、という事は想定されないだろうか。</p> <p>地方をより豊かにする（稼ぐための）公民連携に明るいと思われる、NPO法人自治経営、一般社団法人公民連携事業機構、一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス、等をパートナーに加える事はできないだろうか。</p>	<p>モデル地区では、イオングループ以外にも市内外の様々な事業者が参画する予定であり、イオンタウン株式会社は、引き続き、本市と共に公共的な役割を担う代表事業者の立場として関連する民間事業者との調整を行うほか、事業主体としても参画することとしています。</p> <p>また、モデル地区における官民連携による取組を持続させていくため、エリアマネジメントに関する体制として「（仮称）外旭川地区まちづくり協議会」を設立することとしており、イオンタウン株式会社は協議会および参画事業者それぞれの情報を集約し、提供・説明を行うインフォメーションセンターとしての役割を担うことを想定しています。</p>
203	<p>全体 人口減少が進む中で、郊外に新たな箱物はいるのか？ 年を取ると、行政から免許の返納を求められる時代に市街地を広げる必要はあるのか？コンパクトな街づくりを考える</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組む官民連携によるまちづくりのモデル地区整備をしようとするものであり、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
204	<p>全体: 秋田市長と秋田県知事の対談を計画が決まってからではなく、決まる前に実施すべき。市議会、県議会を見ている意見が食い違うことが多々あり早急に意見交換すべき。</p>	<p>県とは、まちづくり基本計画や地域未来基本計画の検討過程において、様々な協議を行っており、内容について多くのご指摘をいただいていることから、まちづくり基本計画の案がまとまった段階で知事との意見交換を行うことを想定しております。</p>

205	<p>基本計画素案を見て素直に感じたこととして、県民への周知が足りなすぎるように感じる。</p> <p>素案にある内容の中には、12PのEVシャトルや13Pの各種健康施設の整備など私自身初めて知ったことも多かった。これでは支持してくれるであろう人にすら届いていないように思う。</p> <p>また、各種計画のスケジュールははっきり言って遅いと言わざるをえない。できる限りの前倒しをしなければ本来望んでいた顧客層は全て県外に移ってしまいかねないと感じた。</p> <p>スタジアムに関しても同様で、町の文化になりえるものにこれ以上の足踏みをさせるのはいかなものか。</p> <p>秋田の悪い文化である広報の下手さと事なかれ主義がはっきりと出ている。</p> <p>外旭川開発に関しては賛成派だからこそ、今までの秋田にない大々的な周知とスピードを持った計画の実現を期待している。裏を返せば、これが出来ないのであればまた失敗に終わるだろうとも思った。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりの目的や方向性等について、より多くの方々にご理解いただけるよう、引き続き丁寧な説明に努めてまいります。</p> <p>また、新スタジアムについては、ブラウブリッツ秋田からの提案を受け、卸売市場の再整備によって生じる余剰地に整備することを県とともに検討しているところであり、引き続き、県やブラウブリッツ秋田とともに、新スタジアム整備の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
206	<p>これからの世代が秋田に希望を持ち、暮らせるようなまちづくりをしていただきたいと思います。</p> <p>秋田の未来を第一に考え、私情は二の次としてお願いいたします。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果も生かし、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備しようとするものです。</p> <p>モデル地区では、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
207	<p>秋田市外旭川地区まちづくり基本計画とあるが、実態は2012年イオンタウンの外旭川への進出がきっかけであり、「イオンによる大型ショッピングセンター又はイオンモールの進出計画とすべき」とすれば、イオンの進出により、秋田市中心市街地の商業が大きく影響を受けることになるため反対である。</p> <p>30年前にイオンが御所野に進出した後、秋田市の商業がどのような悪影響を受けたか検証すべきと思う。</p> <p>2015年に秋田市はイオンが新規出店すれば中心市街地の衰退が予想され都市のコンパクト化に反することや買物弱者が増加するとのことで反対したが、2021年に突然方針を変えた理由が不透明である。</p> <p>市は今まで国の補助を得て「エリアなかいち」「ミルハス」「文化創造館」を整備し、県・民間金融機関・企業が一体となり、駅前・中心市街地を整備して来ましたが、郊外に新たなショッピングモールが出来ると数年後には中心市街地の商業は壊滅的なことになると思う。</p> <p>この計画を進めると秋田市の既存の商店にどれだけ影響があるか十分検証してほしい。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、単なる民間事業者による開発事業ではなく、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が抱える課題の解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、モデル地区整備により、市内の商業施設等においては、売り上げや来店客の減少など、マイナスの影響も懸念されますが、こうした影響を最小限にするため、モデル地区の民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設を中心に検討しており、既存商業施設等との棲み分けや連携を図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p>
208	<p>1章.基本計画の位置付け～7章.事業スケジュールまで24ページに渡って記載されているが、必要なのは、秋田市卸売市場である。これは市として関係する業者の要望等を聞いて責任を持ってやるべきだと思います。商業施設はイオンに任せて市や行政関係の要望を出して可能な限り要望に合わせてイオンで責任持って実行すべきと考えます。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあつて、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果も目指しており、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が掲げる課題を解決するとともに、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p>
209	<p>これまでの検証をすることが先決である。</p> <p>泉外旭川駅の必要性や効果性を建設当時、市長はその理由を説明しているが、市民に説明した通りに現状になっているのか。</p> <p>①1日の利用者数は2,000名以上になって費用対効果十分なのかどうか。</p> <p>②現年度負担や後年度負担は収支のバランスが取れているのか。</p> <p>③地域住民の経済効果が十分果たされているのか。</p> <p>このことは、新市役所の建設効果、ナカイチ、アルヴェ等でも同じであるのでまず市民に当時計画されたとおり公費負担当該年度以外なくて、効果的に運用がなされているのかまず検証してください。市民にも納得いく説明をして下さい。</p>	<p>令和3年3月に開業した泉外旭川駅の1日の利用者数については、令和3年度は約900人、令和4年度は約1,200人と少しずつ増えてきている状況であり、周辺の方々の生活が駅を利用したものに馴染むまでには、ある程度の時間を要するものと捉えております。</p> <p>なお、同駅については、新たな交通結節点としての機能を十分に発揮できるよう、周辺居住地域や学校、総合病院、勤務地等を結ぶバス路線の接続を検討しているところです。</p> <p>同駅に係るランニングコストについては、JR東日本秋田支社と各々の財産区分により施設の維持管理を行う旨の協定を締結しており、本市の負担はありません。</p> <p>経済効果については、周辺住宅地の地価が上昇しているほか、周辺の方々の電車を活用した秋田駅前への外出が促進されるなど、新たな人の動きも出てきているところであり、今後とも、公共交通の再編による利便性向上に努めてまいります。</p>

210	<p>まとめ</p> <p>⑤この計画の売りは何でしょうか。交通・物流機能以外に外旭川地区をアピールできる特性は何でしょうか？</p> <p>地域未来投資促進法の適用を受けるために、“先端技術”“高付加価値”の記載に力を入れてメリハリをつけ、世界にも通じるような構想を描いては如何でしょうか。その際、秋田の特性として“食”が一つのキーワードになるのでは。</p> <p>世界的に食糧危機が叫ばれる昨今、優良農地を潰すのですから、十分な理由づけが必要かと思えます。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、人口減少下にあって、将来を見据えた官民連携によるまちづくりのモデル地区を整備し、持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものです。</p> <p>モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果なども目指しており、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市が掲げる課題を解決するとともに、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性や全市域の充実・発展につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、モデル地区における観光・集客施設については、秋田県が誇る伝統的な発酵食品に焦点を当てたテーマ型体験施設など、食に関連した取組についても検討しています。</p>
211	<p>⑦コンパクトシティの理念は何処に行ったのでしょうか？街づくり、賑わい創出であれば、広小路・大町も寂しいですが、まずは駅前を充実させては如何でしょうか。ロフト横の駐車場は。以前金萬があった土地で、一時ホテルが建つなどの噂があったかと思えますが、県都の正面玄関に大屋根はあるものの、風雪が吹きすさぶ場所では寂しい限りです。また、その近くにある緑色の旧山基ビル。ビル自体も寂しいですが、建設後60年近くになるはずで。危険性はないのでしょうか。</p> <p>賑わい創出には、“集中”と“雑多”がキーワードかと思っております。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものであり、秋田駅周辺をはじめとする中心市街地についても、引き続き活性化に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、モデル地区では、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設整備を一体的に進めることによる相乗効果や、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心とした民間施設の整備により、幅広い方々が来訪し、にぎわいが創出されるよう取り組んでまいります。</p>
212	<p>この事業はあまりにも膨大で長期間の取り組みになっており、市民としては全体としてどうなるかなかなか見えない。したがって気付いた点や意見などは残念ながら思いつかないのが現状です。</p> <p>外旭川地区まちづくりは、この地区の社会基盤の構築をいかに進めるかも大切だが、その前に交流人口の拡大を具体的にどういう計画で確かなものにしていくかが大事だと思う。この素案にはこの点についての計画がとても少ないように思われる。</p> <p>その一つとして、高齢化が進む秋田市において、いかに交流のための足を確保するかが大きな課題と考える。</p> <p>秋田市中心部から離れている外旭川のこのモデル地区にスムーズに足を運べなければ新しい活力や魅力づくりはかなわない事業となってしまうと思われま。</p>	<p>モデル地区における民間施設については、ホテルなど滞在型の観光・集客施設も計画されており、海外からの観光客をはじめ、県内外から多くの人々に足を運んでいただける魅力あるエリアにすることで、そこを起点としながら、市内・県内の周遊にもつなげていきたいと考えています。</p> <p>また、モデル地区には相当数の来場者が訪れると見込んでおり、泉外旭川駅との間でEV自動運転シャトルの運行を検討しているほか、来場者のニーズに応じて、バス路線の変更や増便をはじめ、交通の面でも様々な対応が図られるものと考えています。</p>
213	<p>芸術文化ゾーンがあり、より魅力的になっている、人口が増加している数少ない地域である駅周辺に、もっと活性化を期待したい。空き巣の所有者や予算の問題など、多くの壁があると思いますが、既存に少し工夫を加えればもっともっと多くの年齢層に好まれる駅周辺になりうと思う。地域のために頑張ってください。個人店の方の中には、他の地方都市の事例からみたイベントや運営についてなど、多面的に地域活性化のために勉強や講習を受けている方もいるため、そういった方たちの意見をもっともっと取り入れてもよいのでは、と思う。</p> <p>また、駅周辺なら、郊外よりも、車のない学生や高齢者も行きやすいと思う。大型商業施設となると、秋田県外の企業ばかりに収益がいくため、個人店を応援できるような駅周辺になればとも思う。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、民間事業者の知見や資金を活用して先端的サービスなどを導入し、他地域に先駆けて本市の課題解決に取り組み、得られた成果を他の地域に波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展を目指すものであり、秋田駅周辺をはじめとする中心市街地についても、引き続き活性化に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、モデル地区での民間施設については、交流人口の拡大につながる観光・集客施設などを中心に検討しており、既存商業施設とは一定の棲み分けや連携を図るとともに、モデル地区で創出される新たなにぎわいを中心市街地や他の既存商店街等にも波及させていきたいと考えています。</p>